

がん診療連携拠点病院等 院内がん登録

2015年3年生存率集計 報告書

国立がん研究センター がん対策情報センター
がん登録センター 院内がん登録分析室

令和3(2021)年4月
国立がん研究センター がん対策情報センター

がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 2015 年 3 年生存率集計の公表について

国立がん研究センターでは、がん対策情報センター・がん登録センターを中心に、これまで全国がん登録及び院内がん登録の標準化や体制整備に努めて参りました。院内がん登録は、2007 年診断症例から全国のがん診療連携拠点病院のデータを収集し、院内がん登録全国集計として我が国のがん診療の実態を把握する資料となるよう、毎年、全国集計報告書を公表しています。院内がん登録情報をもととした生存率集計としては 5 年生存率、科学的根拠に基づく情報をより迅速に提供するために 5 年より早い段階での生存率として、3 年生存率を公表して参りました。

この度、がん診療連携拠点病院等をはじめ全国 495 施設から 2015 年診断症例の 3 年予後情報付院内がん情報を提供いただきました。このうち、集計基準である生存状況把握割合が 90%以上であった 399 施設約 46 万件のデータを用いて、集計を行いました。

本報告書の内容のうち、がんや病期、年階級別の生存率の結果詳細については、Web 上の院内がん登録生存率集計結果閲覧システムからご覧いただけます。本集計結果が、がん対策立案やがん患者さんへの情報・資料として活用されることを期待します。

令和 3 年 4 月

国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長

中釜 斉

生存率について

がん医療を評価する重要な一つの指標として、生存率がある。伝統的に、診断後あるいは治療後 5 年経過した時の生存率が治癒の目安とされており、がん(部位)によっては 10 年生存率が治癒の目安とされることもある。この報告書では、がん診療連携拠点病院 2015 年全国集計の結果を踏まえて、2015 年に診断された例の 3 年生存率を集計した。

信頼性の高い生存率を算定するためには、患者の生存確認を行うことが重要であるため、自施設への来院情報だけにたよらずに、患者の生存状況を把握する生存確認調査(いわゆる予後調査)が必須となる。この生存状況の把握が不十分な場合には真の値よりも高い生存率となることが知られている。また、生存率は生存状況把握割合以外にも生存率を算出した対象集団の基礎疾患の頻度や年齢分布などの偏りなどによっても大きな影響が出る。このように生存率の結果の解釈には様々な要因が影響することに留意する必要がある。

1) 生存状況把握割合の意味

生存率の算出において、先行研究における試算では、生存状況把握割合によって院内のデータのみを使って計算した場合、5 年相対生存率が真の値よりも 10~15% 高く推定されてしまうことがあるとの報告がある。そのため、我が国で先行して施設別生存率の公表をしてきた全国がんセンター協議会の集計方法¹⁾を踏まえて、生存状況把握割合が 90%以上であることを基準として、この基準を全がんにおいて達成した施設のデータのみを集計の対象とした。この生存状況把握割合は国際的には 95%以上が望ましいとされており、わが国の院内がん登録でもより高い把握割合をめざすべきであると考えられる。

2) 生存率の種類

生存率には、その算出の仕方によって大きく「実測生存率」、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」に分けられる。

「実測生存率」は、死因に関係なく、全ての死亡を計算に含めた生存率で、診断例に対する～年後の生存患者の割合で示される。計算方法は複数存在するが、Kaplan-Meier 法が頻用され、医療機関の公表する生存率は Kaplan-Meier 法による実測生存率であることが多い。本報告においても、実測生存率については Kaplan-Meier 法を用いて計算している。

一方で、がんによる生存への影響を把握したいときには、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サ

バイバル(Net Survival)」が用いられる。「疾病特異的生存率」は、実測生存率で計算される対象にはがん以外の死因による死亡も死亡の中に含まれるため、がん以外の死因による死亡を、「打ち切り」として計算している。この疾病特異的生存率を正確に推定するためには、がんが死因でないかどうかを判定できなければならない、そのために原死因を用いて判定するか、それ以外の死因も含めて判定するかで結果が変わってくる。現在の日本の現状において、この死因の把握はかなり困難である。

これに対し、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」は、実測生存率を対象と同じ性・年齢・診断年(歴年)の一般の日本人集団で「がんではなかった場合の生存率」という考えによる期待生存率を算出し、それで、実際の生存率を割って算出する方法である。疾患特異的生存率のように個々の死因を把握する必要がないため、国際的によく用いられている。

この期待生存率の算出方法の違いから、Ederer I 法、Ederer II 法、Hakulinen 法などがこれまでに開発されてきており、それぞれ特徴があるが、相対生存率に変わる方法として、「ネット・サバイバル(Net Survival)」が目ざされている。本集計においては、従来からわが国で推奨されてきた Ederer II 法を用いた。

3) 既存の生存率集計

現在までに、原則として全国を対象とし、かつ臓器別ではなく、全がんを対象として公表されてきたがんの 5 年生存率には、地域がん登録によるもの、全国がんセンター協議会によるものがあり、これらは全て相対生存率で算出されている。

本集計は、人口ベースのデータに近い、臓器別の全国データや、都道府県別データであるため、実測生存率とともに、相対生存率を算出した。

4) 生存率をどう解釈するか

本集計による生存率は、既存の地域がん登録や全国がんセンター協議会の集計結果に比べても、より広汎な集計データといえるが、それでも拠点病院と一部の都道府県推薦病院に限ってのデータであることに留意する必要がある。なお、本報告書では、生存率に影響を与えることが想定される情報で、かつ院内がん登録としてデータ収集されている情報として、①性、②年齢、③病期(がんの進行状況)、④観血的治療の有無(手術されたか、されなかったか)などを参考資料として併記して示している。

1) 全がん協調査などでは、消息判明率と呼ばれてきたが、本報告書ではこの呼び方で表記する。

参考資料

- がん登録実務者のためのマニュアル 生存率解析 味木和喜子
2001 年 9 月、大阪府立成人病センター調査部
- がん専門施設における生存率計測の標準化 木下洋子他、
癌の臨床 第 46 巻第 10 号、2000 年 9 月、篠原出版新社

目 次

がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 2015 年 3 年生存率集計の公表について	2
生存率について.....	3
I 2015 年 3 年生存率集計 調査方法	5
1. 収集の対象と方法.....	5
(1) 収集の対象.....	5
(2) 収集方法.....	5
(3) 収集項目と定義.....	5
2. 集計の対象と集計方法.....	6
(1) 集計の対象.....	6
(2) 集計の手順.....	6
(2) 集計項目の定義.....	7
(3) 集計方法.....	8
(4) 公表の対象.....	8
II 2015 年 3 年生存率集計 結果概要	12
1. 調査参加施設と登録数.....	12
2. 集計対象.....	12
3. 相対生存率集計対象者.....	12
III 2015 年 3 年生存率集計 結果詳細(全体) : 悪性新生物<腫瘍>	24
1. 全がん.....	24
2. 胃癌.....	29
3. 大腸癌.....	31
4. 肝細胞癌と肝内胆管癌.....	37
5. 小細胞肺癌と非小細胞肺癌.....	41
6. 女性乳癌.....	45
7. 食道癌.....	46
8. 膵臓癌.....	48
9. 子宮頸癌.....	50
10. 子宮内膜癌.....	51
11. 前立腺癌.....	52
12. 膀胱癌.....	53
13. 喉頭癌.....	55
14. 胆嚢癌.....	57
15. 腎癌.....	59
16. 腎盂尿管癌.....	61
17. 甲状腺癌.....	63
18. 卵巣癌(女).....	69
付表(2015 年 3 年生存率集計).....	71
1. 集計対象施設一覧.....	

I 2015 年 3 年生存率集計 調査方法

1. 収集の対象と方法

(1) 収集の対象

本集計では、2020 年 7 月 10 日時点のがん診療連携拠点病院等 447 施設、小児がん拠点病院 6 施設と 2015 年診断例または 2013 年診断例について院内がん登録全国集計(0 年集計)にデータ提出した都道府県推薦病院 311 施設に調査を依頼した。データ収集に当たっては、院内がん登録 2015 年診断例の通年データを持ち、死亡日、最終生存確認日、生存期間等の生存状況情報を含めたデータ提出が可能と考えられる上記の調査依頼施設に、「予後情報付集計」の名称で、2015 年 3 年予後情報付登録情報の提供を依頼した。調査対象例は、2015 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間に、自施設で診断または他施設で既に診断されて自施設に初診した、全悪性新生物(がん)及び頭蓋内の良性及び良悪性不詳の腫瘍の登録患者*である。これら対象例の 3 年予後情報付の登録情報(以下「予後情報付腫瘍データ」という。)の提供を各施設に依頼した。なお、各施設における登録対象患者は、下記の通りである。

* 各施設における登録患者について

各施設における登録対象は、登録を実施する自施設での新規の診断患者または他施設で診断された初診患者であり、初発例、再発例を含む。また、治療を行わない経過観察例も含まれる。セカンドオピニオンのみを目的とした初診に関しては登録対象としないかどうかは各施設の判断に任されている。1 腫瘍 1 登録の原則に基づき、同一患者に別のがん種と判断されるがんが同時または時間をあけて(異時性に)生じた場合には、多重がんとして登録される。なお、多重がんの判断は各施設に任されている。登録済みの同じがんについて当該施設で治療中に再発した患者については登録対象ではないが、同じ患者が同じがんで複数の病院を受診した場合は、異なる施設において同じ患者の同じがんが登録されている可能性がある。(本全国集計では提供されたデータは匿名化後のデータであるため、重複の整理は行わない。)

(2) 収集方法

2020 年 7 月 10 日に、対象施設に、「院内がん登録予後情報付集計 手順書」を送付し、手順書に従って作成されたデータの提供を依頼した。データは、エラーチェックのための品質管理ツールを用いインターネット(ネットワーク型)を通しての提出を依頼した。データ収集期間は、2020 年 8 月 11 日から 9 月 4 日までとした。

提出においては、「がん診療連携拠点病院院内がん登録標準登録様式登録項目とその定義 2006 年度版修正版」において定義された標準項目(以下「標準項目」と略す。)を満たす腫瘍データを収集した。項目の品質管理(定義通りの項目・区分で登録されているか、関連する項目間の登録内容に矛盾はないか等)については、ネットワーク型ではデータの收受の段階で品質管理を実施し、論理矛盾がない状態でのデータ提供への協力

を依頼した。なお、健総発第 0907001 号「がん診療連携拠点病院で実施する院内がん登録における必須項目の標準登録様式に係る改正等」において定義された必須項目のみでのデータ提供についてはデータ精度管理上の問題から集計対象としなかった。

(3) 収集項目と定義

収集項目は、前述の診断から 3 年後の生存状況の情報を含む標準項目である。また、予後情報付腫瘍データの提出にあたり、下記の計算式に従って、追跡期間(日数)を計算し入力するよう依頼した。

* 追跡期間(日数)の計算方法

追跡期間(日数)とは、起算日から生存最終確認日もしくは死亡日までの日数とする。起算日は、後述する集計用診断日決定のルールに従って決定する。追跡終了日とは、予後調査結果が死亡であり死亡日があれば死亡日、生存の場合は生存最終確認日とする。

$$\text{追跡期間 (日)} = \text{追跡終了日} - \text{起算日} + 1$$

本集計に関連する項目について以下に記述する。その他の標準項目の定義は、2015 年全国集計報告書を参照いただきたい。

i. 診断区分

診断区分は、わが国の地域がん登録との整合性を図るために用いられている分類で、「1:初発(治療開始前)」、「2:治療開始後」に分けられる。この項目は当該腫瘍について自施設に受診する前に他施設において既に治療が開始されていたか否かを区別するもので、この項目が「1:初発(治療開始前)」であったケースでは、自施設で行われた治療は初回治療とみなす。本来であれば、一連の治療方針の下で施設を問わずに初回治療とされるべきであるが、わが国の現状では、施設が異なると、一連の治療であるかないかが判明しないことが多く、そのため、他施設での治療の情報は、初回治療であっても「初回治療なし」とするルールを定めている。

ii. 症例区分

症例区分は生存率の算定等で対象となる患者範囲を決定する重要な区分である。院内がん登録の機能の一つには、各施設の対がん医療活動の評価のための基礎資料を提供することにある。他施設と比較し自施設のがん診療実態を把握するためには、がん対象例を正しく識別する必要がある。この項目では、初回診断(登録施設での診断の有無)と初回治療(登録施設における初回治療の有無)の組み合わせにより患者を分類するための区分を登録している。本集計では、原則として「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が

行われた症例」を分析対象とする。また、施設によっては前述の診断区分のみを入力している施設もあり、本集計では診断区分の組み合わせから症例区分を算出する対応表を用いて集計を行った。

iii. 臨床病期

治療前ステージ

UICC (Union for International Cancer Control) の定める病期の分類方法に基づき、何らかの治療が行われる以前につけられたステージを指す。わが国の一般的な臨床現場で使用される癌取扱い規約に基づくステージとは若干異なる部分がある。胃、乳房、肝臓、大腸、肺についてのみ、標準項目とされているが、他のがんについては任意の登録となっている。肝臓については、取扱い規約のステージも標準項目として登録することになっている。

前医で治療がなされており治療前のステージが不明の場合などは「不明」に分類されるか、空白のままで登録される。わが国の診療情報に関わる施設間の情報交換に関する懸念からこのような方針をとっている。

術後病理学的ステージ

手術が行われた患者に対して、術後に検体が提出され病理学的に算出されたステージを登録する。手術が行われなかった場合には空欄で、術前に化学療法や放射線療法、免疫・内分泌療法などが行われた場合には、手術前の治療の影響が予想されるため、術後病理学的ステージは適応外として登録される。定義上は、原発巣に対する切除術が行われ、断片が陰性であるような治癒的な切除が行われた場合に本ステージが評価できるとされている。術後病理学的ステージは、腫瘍やリンパ節を顕微鏡的に観察して得られるステージであることから、治療前ステージと比較して、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているといえる。

なお、2015年登録対象は UICC TNM 第7版準拠で登録されている。

iv. 治療の有無

院内がん登録において登録される治療は、登録対象となったがんに対する初回治療である。初回治療とは治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、症状・治療の進行に従って後に追加された治療などは含まれない。当初経過観察が計画されていたが、病状が悪化したために治療が行われた場合なども「初回治療なし」となる。また、症状緩和的な目的で行われた手術や放射線治療は、部分的に腫瘍に対する治療であるといえることから登録対象に対する治療の一環に考えるが、腫瘍に影響のない、鎮痛剤や制吐剤などの治療は、「治療あり」としない。

現時点の院内がん登録では、「i 診断区分」で既に述べたとおり、登録施設で行われた治療のみを「初回治療あり」としている。

① 手術・体腔鏡的治療

手術とは一般に外科的治療を指し、体腔鏡とは麻酔下に行われる腹腔鏡、胸腔鏡などの手術を指す。これ

らには、消化管や気管支内視鏡による治療を含めない。

② 内視鏡治療

上記で除外された、消化管、気管支内視鏡などによる治療を指す。

③ 放射線治療

原発巣に対する放射線治療だけではなく転移巣に対する放射線治療も含まれる。小線源療法も放射線治療として登録される。

④ 化学療法、免疫療法・BRM、内分泌療法

症状緩和のための薬物療法(鎮痛剤、制吐剤)などは含まない。また、通常の静注・経口化学療法だけではなく、肝動脈化学塞栓療法(TACE)に含まれる化学療法や動注療法も化学療法に分類される。内分泌療法には前立腺癌における除睾術等も含まれる。

⑤ 外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果

当該のがんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度を登録する。ここでは、初回治療として行った総合的な結果を記載する。つまり、最初内視鏡的な治療を行ったが、その後外科的な追加切除が行われた場合は、外科的切除の根治度を登録する。

2. 集計の対象と集計方法

(1) 集計の対象

生存率集計における集計対象は、2015年に診断された例で次の i から iii を満たす例を集計対象とした。

i. 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を集計対象とした。

ii. 悪性新生物<腫瘍>(一部良性の脳腫瘍)

本集計では、原則として新生物<腫瘍>の性状コード3の「悪性、原発部位(悪性新生物<腫瘍>)」の例を集計対象とした。但し、脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患については、良性、良性又は悪性の別不詳の例を含めて集計対象とした。また、GISTの良性または悪性の別不詳を集計対象に含めた。

iii. 年齢

診断時の年齢が0から99歳までの例を集計対象とした。

(2) 集計の手順

① 集計対象例の選定

提出されたデータから上記の i から iii に該当する例を抽出した。

i 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

集計対象施設から提供されたデータを、表 1-1 集計用診断日の決定のルール、及び表 1-2 集計用症例区分の決定のルールに基づいて、「項目:集計用診断日」、「項目:集計用症例区分」を作成した。その後、集計用

症例区分が2, 3であった例を集計対象とした。

ii 悪性新生物<腫瘍>(一部良性の脳腫瘍)

原則として、「項目:330 組織診断名コード」の新生物<腫瘍>の性状を表す第5桁コードが「3:悪性、原発部位」であった例を集計対象とした。但し、一部の脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患、ICD-O-3 の局在コードが「C70.0, C70.9, C71.0, C71.1, C71.2, C71.3, C71.4, C71.5, C71.6, C71.7, C71.8, C71.9, C72.2, C72.3, C72.4, C72.5, C72.8, C72.9, C75.1, C75.2, C75.3」の場合は、「0:良性」又は「1:良性又は悪性の別不詳」であった場合も集計対象に含めた。また、GISTの良性または悪性の別不詳を集計対象に含めた。

iii 年齢

年齢は、生年月と集計用診断年月を用いて、院内がん登録全国集計と同様に下記の定義で求めた。

診断年月の月>=生年月日の月

⇒診断年月の年-生年

診断年月の月<生年月日の月

⇒診断年月の年-生年-1

上記で求めた年齢が0~99歳までの例を集計対象とした。

上記で選定した例から、下記の⑦~⑩に該当する場合は集計対象から除外した。

⑦性別不詳の場合

半陰陽や性同一性障害による戸籍性別の変更等のため、性別で特有の臓器に発生した腫瘍と戸籍上の性別が矛盾していないかを確認した上で、性別が不詳(項目:性別が9)であった者を除外した。性別で特有の臓器に発生した腫瘍について矛盾があった場合は、臓器に基づいて性別を修正した上で集計した(例:前立腺と登録があった場合に性別が女性として登録されていたら、男性として集計)。

⑧追跡終了日の年月が不明の場合

追跡終了日は、「項目660:予後調査結果」が死亡であった場合は死亡日、生存であった場合は最終生存確認日となる。ただし、死亡例であっても死亡日の年または月が不明の場合は、打ち切り扱いとし、生存最終確認日を追跡終了日とした。追跡終了日の年あるいは月が不明であった場合は、集計対象から除外した。

⑨UICC TNM 分類総合ステージが0期の場合

病期は、患者の予後を予測する上で重要である。院内がん登録では、UICC TNM 分類に基づく治療の選択と評価に不可欠である臨床分類(治療前ステージ)と、術後アジュバント療法の指針となり、予後推定や遠隔成績の計算のための追加情報を提供する術後病理学的分類ステージについて情報を収集している。本集計では、腫瘍切除例(外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果が、1:治癒切除、2:非治癒切除、3:治癒/非治癒の別不詳)については腫瘍の縮小を目的

とした化学療法や放射線療法あるいは免疫・内分泌療法などを施行後の腫瘍切除例(術後病理学的ステージ適応外例)及び術後病理学的ステージが不詳であった例を除き、UICC TNM 分類術後病理学的ステージをより患者の治療前の病期を表すとしてUICC TNM 分類総合ステージとして用いた。腫瘍切除例以外はUICC TNM 分類治療前ステージをUICC TNM 分類総合ステージとして用いた。なお、本集計では総合ステージが0期であった場合は、集計対象から除外した。

⑩追跡期間(日数)の確認

追跡期間(日数)は正確な生存率を算出するために必須の項目である。2015年診断例については、品質管理において、登録された追跡期間の確認を行っている。

⑪集計対象施設の選定

生存率の推定値は、生存状況把握割合に影響を受ける。3年生存率を計算する場合には、対象者全員の3年後の生存状況を把握することが必要となる。これまで、全国がんセンター協議会は、加盟施設の生存率を公表してきた。その中で、がんの生存率は生存状況把握割合を100%に近づけるほど、真の値に近づくとされ、概ね95%以上の生存状況把握割合を維持する必要があるとされている。しかしながら、現在の院内がん登録における生存確認調査の実施においては、障害も多く、調査を実施しても生存状況が確認できず、生存状況把握割合が低い施設も存在する。また全国がんセンター協議会の生存率公表においても、改善が要するとされつつも生存状況把握割合が90%を超えた場合に施設の生存率が公表されてきた。これらの経緯を踏まえ、本集計では前述の集計対象例の生存状況把握割合が90%以上の施設を集計対象とした。具体的には、予後調査結果が生存であるが追跡期間(日数)が3年未満の打ち切り例が施設の生存率集計対象例の10%未満である施設を集計対象施設とした。

生存状況把握割合=(1-打ち切り例数/集計対象例数)×100

(2) 集計項目の定義

● 部位区分

表1-3 部位分類コード対応に基づき、作成した。

● 臨床病期

UICC TNM 分類総合ステージ

2015年診断例では、UICC TNM 分類第7版に準拠してUICC TNM 分類の治療前及び術後病理学的ステージが登録されている。

本集計では、がん患者の予後に影響するステージとして、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表している術後病理学的ステージがある場合(適応外、不詳、空欄を除く)は術後病理学的ステージを、無い場合は治療前ステージを用いて、UICC TNM 分類総合ステージとして集計に用いた。なお、本集計では、各施設で登録されたステージの値を用いて集計をしており、登録

されている TNM 情報からみてステージが UICC TNM 分類のステージと一致しない場合であってもデータに修正は加えていない。

各生存率の集計対象は、表 1-4 の組織形態・局在コードとする。

● 観血的治療

当該のがんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度について、「項目 520:外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果」に登録することとなっている。登録の際には、「1:原発巣-治癒切除」、「2:原発巣-非治癒切除」、「3:原発巣-治癒/非治癒の別不詳」、「4:姑息/対象治療、転移巣切除」、「8:その他」、「9:不詳」の中から一つを選択する。本集計では、観血的治療の有無、外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度別に生存率を集計した。

(3) 集計方法

前述のとおり選定された集計対象例・集計対象施設において、3 年後の生存状況変数を作成し生存率を推定した。追跡期間(日数)が3年未満でかつ予後調査結果が死亡であった場合は、3 年後の生存状況＝死亡(1)とした。各がんの集計では、がん種別に集計している。

生存率は、Kaplan-Meier 法を用いた実測生存率と、国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センターにおいて作成されたコホート生存率表(2016 年版)を用い、Ederer II 法を用いた相対生存率を推定した。なお、本報告書では StataMP 16.0 (Stata Corporation, College Station, TX, USA)を用い、Paul W. Dickmanら

が開発したstrsを用いて相対生存率を推定している。がんごとの集計においては、集計対象定義に基づいて集計を行った。

なお、いわゆる上皮内がん(総合病期0期)については全がんで生存状況把握割合が 90%以上であった集計対象施設のデータを用いて別途生存率を推定した。

(4) 公表の対象

令和 2 年度第 1 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会での検討に基づき、以下の公表基準に沿って、生存率を公表する。

生存率の推定値は、対象例数、死亡者数等の件数に依存する。一般に対象例数が 30 例未満の場合、推定された生存率の信頼性が低くなるため、本集計では対象例数が 30 例未満の場合は、3 年生存率を公表しないこととする。なお、各集計表において、集計値が 10 未満の場合、個人が特定される可能性が高いことから、厚生労働省平成 28 年 8 月 4 日第 8 回がん診療提供体制のあり方に関する検討会での検討に従い 1-3 件、4-6 件、7-9 件といった形で公表する。

なお、都道府県別生存率については、当該都道府県で集計対象が 1 施設となる場合は表示していない。

参考資料

- 1)全国がんセンター協議会. 全がん協加盟施設におけるがん患者生存率公表にあたっての指針(案) 2004/11/25版 厚生労働省がん研究助成金「地域がん専門診療施設におけるソフト面の整備拡充に関する研究」班

表1-1 集計用診断日決定のルール

集計用症例区分	集計用診断日	備考
1:診断のみ	診断日2	
2:自施設診断自施設治療	診断日2	
3:他施設診断自施設治療	当該腫瘍初診日	
4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例	当該腫瘍初診日	*
5:剖検	診断日2	死亡日
8:その他	診断日2、当該腫瘍初診日のいずれか	*

* 優先する集計用診断日となる日付が登録されていない場合、診断日 2、当該腫瘍初診日、診断日 1、入院日の中で、2015 年の日付の項目を用いて作成した。

表 1-2 集計用症例区分の決定のルール

診断区分	診断施設	治療方針	集計用症例区分
1:初発	1:自施設診断	1:自施設で治療	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	3:自施設で経過観察	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	4:他施設へ紹介	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	8:来院中断	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	9:その他	1:診断のみ
1:初発	2:他施設診断	1:自施設で治療	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
1:初発	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
1:初発	2:他施設診断	9:その他	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	1:自施設で治療	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	9:その他	8:その他

症例区分が登録されているケースでは症例区分を優先、症例区分が登録されていない例では、診断区分・診断施設・治療方針から上記のルールで変換した集計用症例区分を用いて集計用症例区分を作成した。

表 1-3 部位分類コード対応

部位名	第 1 段階 ICD-O-3 形態コード	第 2 段階 ICD-O-3 部位コード
口腔・咽頭		C00-C14
食道		C15
胃		C16
結腸		C18
直腸		C19-C20
大腸		C18-C20
肝臓		C22
胆嚢・胆管		C23-C24
膵臓		C25
喉頭		C32
肺		C33-C34
骨・軟部		C40-C41、C47、C49
皮膚(黒色腫を含む)		C44
乳房		C50
子宮頸部		C53
子宮体部		C54
子宮		C55
卵巣		C56
前立腺		C61
膀胱		C67
腎・他の尿路		C64-C66、C68
脳・中枢神経系		C700、C71、C722-C729、C751-C753
甲状腺		C73
悪性リンパ腫	959-972 974-975	
多発性骨髄腫	973、976	
白血病	980-994	
他の造血器腫瘍	995-998	C421
その他		第 1 段階、第 2 段階で変換された以外の症例

※全がんでの集計対象の属性の分類に使用

表 1-4 生存率の集計対象

	局在コード	組織形態コード
胃癌	C160, 161-166, 168, 169	8000-8157 (但し、8153 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8244, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
大腸癌	C180, 182-189, 199, 209	8000-8157 (但し、8153 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
肝癌*		肝細胞癌と肝内胆管癌の合算
肝細胞癌	C220	8170-8175
肝内胆管癌	C221	8013, 8041, 8148, 8160-8161, 8180, 8246, 8980
肺癌*	C340-343, 348, 349	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8972, 8980
小細胞肺癌	C340-343, 348, 349	8041-8045
非小細胞肺癌	C340-343, 348, 349	8000-8157 (但し、8041-8045, 8013/3 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8972, 8980
乳癌	C500-509	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8982
食道癌	C150-155, 158, 159	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8244, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
膵臓癌	C250-253, 257, 259	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8250-8551, 8552, 8560-8576, 8940-8941, 8971
前立腺癌	C619	8000-8157 (但し、8120-8131 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
子宮頸癌	C530-531, 538, 539	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
子宮内膜癌	C540-543, 548, 549	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980
膀胱癌	C670-679	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
甲状腺癌 (乳頭・濾胞癌)	C739	8050, 8230, 8260, 8290, 8330-8332, 8335, 8337, 8340-8344, 8350
甲状腺癌 (未分化癌)	C739	8020, 8021
甲状腺癌 (髄様癌)	C739	8345
胆嚢癌	C23.9	8000-8157, 8160-8163, 8170-8231, 8244, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
喉頭癌	C32.0, 32.1, 32.2, 10.1	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎	C64.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎盂尿管	C65.9, 66.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
卵巣(女)	C56	8000-8157, 8160-8163, 8170-8231, 8246-8248, 8250-8551, 8560-8576, 8600-8670, 8930-8935, 8940-8941, 8950-8973, 8980, 8982-8983, 8990-8991, 9000-9015, 9020, 9040-9044, 9060-9090, 9100-9105, 9110

*生存率集計結果閲覧システムのみ

II 2015年3年生存率集計 結果概要

1. 調査参加施設と登録数

調査を依頼した 764 施設(がん診療連携拠点病院等 447 施設、都道府県推薦病院 311 施設、小児がん拠点 6 施設)のうち、495 施設(がん診療連携拠点病院等 386 施設、都道府県推薦病院 107 施設、小児がん拠点病院 2 施設)から 3 年予後情報付腫瘍データが提供された(協力率 64.8%)。表 2-1-1 に全登録数と集計対象を示す。

2. 集計対象

(1) 集計の対象

① 集計対象例の選定

i 自施設診断・自施設初回治療及び他施設診断・自施設初回治療

提出されたデータ全体で、「自施設診断・自施設初回治療(症例区分 2)」が 456,403 例(60.3%)、「他施設診断・自施設初回治療(症例区分 3)」が 149,142 例(19.7%)であり、全登録数の 80.0%を占めた。

ii 悪性新生物<腫瘍>

症例区分 2, 3(自施設診断・自施設初回治療又は他施設診断・自施設初回治療)のうち悪性新生物<腫瘍>(新生物<腫瘍>の性状コードが 3)は、523,136 例(86.4%)であった。脳腫瘍の良性又は良性・悪性の別不詳を合わせると集計対象腫瘍例は、535,886 例(88.5%)であった。

iii 年齢

診断時の年齢を見ると、100 歳以上が 201 例あり、生存率集計からは除外した。年齢別にみると、70 歳代が 32.6%と最も多く、次いで 60 歳代が 27.3%であった。

上記で選定した例から、性別不詳及び追跡終了日不明または UICC TNM 分類総合ステージ 0 期の例を集

計対象から除外した。

② 追跡期間(日数)の確認

3 年予後情報付データ収集では、品質管理において追跡期間の確認を行った。なお、追跡終了日(死亡例の場合は、死亡日の年月、生存例の場合は、生存最終確認日の年月)が不明の場合は集計対象から除外した。但し、死亡例で死亡日の年月が不明であっても、生存最終確認日の年月が判明している場合は、生存最終確認日を追跡終了日とし、打ち切り例として集計した。

(2) 生存状況把握割合

各施設における集計対象例に対する生存状況把握割合について検討した結果、最も低かった施設の生存状況把握割合は、36.2%で、最も高かった施設は 100.0%であった。都道府県・施設別生存状況把握割合について図 2-1 に示した。以降の集計結果では、生存状況把握割合が 90%以上であった 399 施設(がん診療連携拠点病院等 336 施設、都道府県推薦病院 61 施設、小児がん拠点病院 2 施設)における登録例を集計対象とした。

3. 相対生存率集計対象者

全がんで生存状況把握割合が 90%以上であった 399 施設において集計対象例は、460,092 例であった。なお、各がん別の集計における施設数は、当該腫瘍の集計対象者の登録があった施設数を示す。

表 2-1-1 調査参加施設の全登録数と集計対象

	集計対象外施設		集計対象施設		全体	
	96 施設	(%)	399 施設	(%)	495 施設	(%)
全登録数	108,029	100.0	649,129	100.0	757,158	100.0
症例区分別登録数						
1. 診断のみ	8,091	7.5	37,261	5.7	45,352	6.0
2. 自施設診断・自施設初回治療	67,656	62.6	388,747	59.9	456,403	60.3
3. 他施設診断・自施設初回治療	18,268	16.9	130,874	20.2	149,142	19.7
4. 初回治療開始後・再発	10,829	10.0	65,295	10.1	76,124	10.1
5. 剖検	37	0.0	301	0.0	338	0.0
6. 不明・その他	3,148	2.9	26,651	4.1	29,799	3.9
症例区分(2, 3)(再掲)	85,924	79.5	519,621	80.0	605,545	80.0
症例区分 2, 3のうち						
良性	1,268	1.5	7,527	1.4	8,795	1.5
良性又は悪性の別不詳	559	0.7	3,418	0.7	3,977	0.7
上皮内癌	10,449	12.2	59,188	11.4	69,637	11.5
悪性新生物<腫瘍>	73,648	85.7	449,488	86.5	523,136	86.4
集計対象腫瘍*	75,467	87.8	460,419	88.6	535,886	88.5
症例区分 2, 3、集計対象腫瘍のうち(年齢不詳除く)						
年齢 0~14 歳	298	0.4	1,426	0.3	1,724	0.3
15~39 歳	2,025	2.7	13,093	2.8	15,118	2.8
40 歳代	4,419	5.9	29,061	6.3	33,480	6.2
50 歳代	7,915	10.5	51,852	11.3	59,767	11.2
60 歳代	19,813	26.3	126,470	27.5	146,283	27.3
70 歳代	24,695	32.7	150,046	32.6	174,741	32.6
80-99 歳	16,277	21.6	88,295	19.2	104,572	19.5
100 歳以上	25	0.0	176	0.0	201	0.0
0~99 歳(再掲)	75,442	100.0	460,243	100.0	535,685	100.0
除外対象(以下重複有)						
性別不詳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
追跡終了日不明	(1-3)		17	1.2	18	1.0
総合ステージ 0 期	16	5.4	134	9.4	150	8.7
集計対象例	75,425		460,092		535,517	

*症例区分 2, 3のうち、悪性新生物<腫瘍>、脳・中枢神経系に発生した良性または良性・悪性の別不詳の腫瘍を含む

表 2-2-1 がん診療連携拠点病院等調査参加 386 施設の全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症例 区分 2)	他施設 診断自 施設治 療(症例 区分 3)	自施設 治療(症 例区分 2, 3)登 録割合
総数		336	665,785	395,213	137,924	80.1
北海道	北海道がんセンター	集計対象	2,624	1,231	695	73.4
北海道	JA 北海道厚生連 旭川厚生病院	集計対象	1,491	944	239	79.3
北海道	王子総合病院	集計対象	1,119	795	134	83.0
北海道	市立釧路総合病院		1,210	842	183	84.7
北海道	市立札幌病院		1,500	969	314	85.5
北海道	JA 北海道厚生連帯広厚生病院	集計対象	1,726	1,326	220	89.6
北海道	北見赤十字病院	集計対象	1,581	1,009	263	80.5
北海道	社会医療法人母恋 日鋼記念病院		609	327	122	73.7
北海道	社会福祉法人 函館厚生院 函館五稜郭病院	集計対象	1,752	1,322	261	90.4
北海道	札幌医科大学附属病院		2,211	954	644	72.3
北海道	JA 北海道厚生連 札幌厚生病院	集計対象	1,792	1,171	276	80.7
北海道	手稲溪仁会病院	集計対象	2,394	1,605	382	83.0
北海道	旭川医科大学病院		1,619	874	453	82.0
北海道	小樽市立病院		548	428	27	83.0
青森	青森県立中央病院	集計対象	2,581	1,496	593	80.9
青森	八戸市立市民病院	集計対象	1,577	1,039	329	86.7
岩手	岩手県立中央病院	集計対象	1,998	1,406	386	89.7
岩手	岩手県立二戸病院	集計対象	418	257	42	71.5
岩手	岩手医科大学附属病院	集計対象	3,104	1,369	1,122	80.3
岩手	岩手県立中部病院	集計対象	1,281	732	340	83.7
岩手	岩手県立磐井病院	集計対象	836	404	176	69.4
岩手	岩手県立宮古病院	集計対象	531	335	44	71.4
岩手	岩手県立胆沢病院	集計対象	1,084	750	170	84.9
岩手	岩手県立大船渡病院	集計対象	451	363	46	90.7
岩手	岩手県立久慈病院	集計対象	394	268	36	77.2
岩手	岩手県立釜石病院	集計対象	428	211	69	65.4
宮城	東北大学病院	集計対象	3,516	1,437	1,082	71.6
宮城	宮城県立がんセンター	集計対象	1,786	997	378	77.0
宮城	石巻赤十字病院	集計対象	1,925	1,310	264	81.8
宮城	仙台医療センター	集計対象	1,839	1,117	418	83.5
宮城	大崎市民病院	集計対象	1,954	1,385	358	89.2
宮城	独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院	集計対象	1,011	770	127	88.7
秋田	秋田大学医学部附属病院	集計対象	1,903	946	616	82.1
秋田	JA 秋田厚生連 由利組合総合病院	集計対象	721	497	102	83.1
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療センター	集計対象	897	620	134	84.1
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 平鹿総合病院		950	753	123	92.2
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 能代厚生医療センター	集計対象	650	464	81	83.8
秋田	秋田赤十字病院	集計対象	1,239	911	227	91.8
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 雄勝中央病院		256	170	15	72.3
秋田	大館市立総合病院	集計対象	795	549	100	81.6
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 秋田厚生医療センター	集計対象	1,093	758	171	85.0
山形	山形県立中央病院	集計対象	2,169	1,362	498	85.8
山形	山形大学医学部附属病院	集計対象	2,307	1,086	651	75.3
山形	山形市立病院済生館	集計対象	1,067	803	100	84.6
山形	置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院	集計対象	1,015	762	159	90.7
山形	日本海総合病院		1,720	1,367	225	92.6
福島	労働者健康安全機構福島労災病院	集計対象	1,276	806	248	82.6
福島	坪井病院	集計対象	462	313	68	82.5
福島	福島県立医科大学附属病院	集計対象	2,457	1,147	683	74.5
福島	太田西ノ内病院	集計対象	1,815	1,194	389	87.2
福島	竹田総合病院		1,627	888	272	71.3
福島	総合南東北病院	集計対象	2,109	1,116	490	76.1
福島	会津中央病院	集計対象	638	501	62	88.2
福島	白河厚生総合病院	集計対象	813	545	62	74.7
茨城	茨城県立中央病院	集計対象	1,940	1,224	451	86.3
茨城	筑波メディカルセンター病院・茨城県地域がんセンター	集計対象	1,455	961	191	79.2
茨城	土浦協同病院	集計対象	1,498	1,173	209	92.3

調査結果

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症例 区分2)	他施設 診断自 施設治 療(症例 区分3)	自施設 治療(症 例区分 2,3)登 録割合
茨城	株式会社日立製作所 日立総合病院・茨城県地域がんセンター		1,644	1,216	213	86.9
茨城	東京医科大学茨城医療センター	集計対象	958	702	130	86.8
茨城	友愛記念病院	集計対象	1,005	615	130	74.1
茨城	国立大学法人 筑波大学附属病院	集計対象	3,031	1,330	826	71.1
茨城	国立病院機構水戸医療センター	集計対象	1,197	871	184	88.1
茨城	株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院	集計対象	853	585	114	81.9
茨城	医療法人社団善仁会 小山記念病院		506	305	10	62.3
栃木	地方独立行政法人栃木県立がんセンター	集計対象	1,861	1,008	517	81.9
栃木	自治医科大学附属病院	集計対象	3,903	2,154	924	78.9
栃木	栃木県済生会宇都宮病院	集計対象	1,888	1,436	207	87.0
栃木	獨協医科大学病院	集計対象	2,656	1,684	578	85.2
栃木	那須赤十字病院	集計対象	1,029	689	101	76.8
栃木	足利赤十字病院	集計対象	1,323	940	211	87.0
群馬	伊勢崎市民病院	集計対象	1,457	844	251	75.2
群馬	群馬県立がんセンター	集計対象	2,227	1,072	752	81.9
群馬	群馬大学医学部附属病院	集計対象	3,274	1,508	948	75.0
群馬	独立行政法人国立病院機構渋川医療センター	集計対象	483	332	79	85.1
群馬	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター	集計対象	1,638	1,107	313	86.7
群馬	公立富岡総合病院	集計対象	924	611	125	79.7
群馬	桐生厚生総合病院	集計対象	871	612	69	78.2
群馬	前橋赤十字病院	集計対象	1,657	1,129	275	84.7
埼玉	さいたま赤十字病院	集計対象	1,621	1,106	270	84.9
埼玉	埼玉県立がんセンター	集計対象	3,968	1,988	166	54.3
埼玉	深谷赤十字病院	集計対象	798	604	163	96.1
埼玉	春日部市立医療センター	集計対象	972	630	113	76.4
埼玉	さいたま市立病院	集計対象	1,218	905	180	89.1
埼玉	獨協医科大学埼玉医療センター	集計対象	2,660	1,534	506	76.7
埼玉	川口市立医療センター		1,401	964	171	81.0
埼玉	埼玉医科大学国際医療センター	集計対象	4,751	2,439	1,558	84.1
埼玉	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会川口総合病院	集計対象	1,211	790	147	77.4
埼玉	医療法人社団東光会 戸田中央総合病院	集計対象	1,064	685	112	74.9
埼玉	自治医科大学附属さいたま医療センター	集計対象	2,511	1,276	634	76.1
千葉	国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院	集計対象	6,193	2,205	1,932	66.8
千葉	国保旭中央病院		2,578	2,036	239	88.2
千葉	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	集計対象	3,026	1,939	700	87.2
千葉	国保直営総合病院 君津中央病院	集計対象	1,436	995	132	78.5
千葉	千葉県がんセンター	集計対象	3,727	1,818	969	74.8
千葉	独立行政法人労働者健康安全機構千葉労災病院	集計対象	1,363	923	177	80.7
千葉	船橋市立医療センター	集計対象	1,704	1,007	390	82.0
千葉	千葉大学医学部附属病院	集計対象	3,946	2,123	983	78.7
千葉	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター	集計対象	1,336	816	184	74.9
千葉	東京歯科大学市川総合病院	集計対象	1,474	1,115	114	83.4
千葉	順天堂大学医学部附属浦安病院	集計対象	1,987	1,226	338	78.7
千葉	東京慈恵会医科大学附属柏病院	集計対象	2,330	1,263	542	77.5
千葉	松戸市立総合医療センター	集計対象	1,338	732	113	63.2
千葉	日本医科大学千葉北総病院	集計対象	1,302	924	193	85.8
千葉	さんむ医療センター	集計対象	409	137	33	41.6
東京	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院	集計対象	8,714	3,050	2,232	60.6
東京	東京都立駒込病院	集計対象	5,079	2,314	1,339	71.9
東京	青梅市立総合病院	集計対象	1,199	840	105	78.8
東京	NTT東日本関東病院	集計対象	2,212	1,336	453	80.9
東京	日本赤十字社医療センター	集計対象	2,300	1,000	305	56.7
東京	日本大学医学部附属板橋病院	集計対象	2,615	1,571	376	74.5
東京	武蔵野赤十字病院	集計対象	2,544	1,778	392	85.3
東京	がん研有明病院	集計対象	10,009	3,641	3,109	67.4
東京	国立大学法人 東京大学医学部附属病院	集計対象	3,732	1,891	916	75.2
東京	日本医科大学付属病院	集計対象	3,080	1,765	685	79.5
東京	聖路加国際病院	集計対象	2,570	1,515	652	84.3
東京	帝京大学医学部附属病院	集計対象	2,418	1,341	454	74.2
東京	東京医科大学八王子医療センター	集計対象	1,633	1,013	284	79.4

調査結果

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症例 区分2)	他施設 診断自 施設治 療(症例 区分3)	自施設 治療(症 例区分 2,3)登 録割合
東京	杏林大学医学部付属病院	集計対象	2,817	1,827	575	85.3
東京	順天堂大学医学部附属順天堂医院	集計対象	4,537	2,309	1,074	74.6
東京	昭和大学病院	集計対象	2,665	1,555	601	80.9
東京	慶應義塾大学病院	集計対象	3,914	1,965	777	70.1
東京	東京都立多摩総合医療センター	集計対象	2,841	1,661	720	83.8
東京	公立昭和病院	集計対象	1,673	1,144	272	84.6
東京	虎の門病院	集計対象	4,173	1,819	1,225	72.9
東京	東邦大学医療センター大森病院	集計対象	2,510	1,715	342	82.0
東京	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	集計対象	2,441	1,559	469	83.1
東京	東京医科歯科大学医学部附属病院	集計対象	3,066	1,533	660	71.5
東京	東京都立墨東病院	集計対象	1,512	1,026	194	80.7
東京	独立行政法人国立病院機構 災害医療センター	集計対象	1,234	707	213	74.6
東京	東京女子医科大学東医療センター	集計対象	989	718	204	93.2
神奈川	神奈川県立がんセンター	集計対象	4,491	1,982	1,316	73.4
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	集計対象	2,172	1,562	356	88.3
神奈川	横浜州市市民病院	集計対象	1,889	1,398	226	86.0
神奈川	小田原市立病院	集計対象	904	595	123	79.4
神奈川	川崎市立井田病院	集計対象	1,317	672	130	60.9
神奈川	相模原協同病院	集計対象	1,257	818	156	77.5
神奈川	横浜市立大学附属病院	集計対象	2,645	1,305	777	78.7
神奈川	聖マリアンナ医科大学病院	集計対象	2,979	1,580	782	79.3
神奈川	東海大学医学部付属病院	集計対象	3,553	2,041	735	78.1
神奈川	藤沢市市民病院	集計対象	1,491	1,039	256	86.9
神奈川	北里大学病院	集計対象	4,003	2,088	988	76.8
神奈川	横浜労災病院	集計対象	2,117	1,232	322	73.4
神奈川	昭和大学横浜市北部病院	集計対象	2,084	1,158	439	76.6
神奈川	横浜市立みなと赤十字病院	集計対象	1,659	1,066	228	78.0
神奈川	大和市立病院	集計対象	1,148	842	101	82.1
神奈川	関東労災病院	集計対象	1,129	768	136	80.1
神奈川	恩賜財団 済生会横浜市東部病院	集計対象	2,180	1,406	424	83.9
神奈川	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	集計対象	2,337	1,517	583	89.9
神奈川	湘南鎌倉総合病院	集計対象	1,873	1,293	202	79.8
新潟	新潟県立がんセンター新潟病院	集計対象	3,142	1,848	940	88.7
新潟	新潟県立中央病院	集計対象	1,397	1,043	221	90.5
新潟	新潟市市民病院	集計対象	1,936	1,374	395	91.4
新潟	長岡赤十字病院	集計対象	1,832	1,370	272	89.6
新潟	新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院	集計対象	1,805	1,314	407	95.3
新潟	新潟大学歯学総合病院	集計対象	2,428	1,131	774	78.5
新潟	県立新発田病院	集計対象	1,315	893	237	85.9
富山	富山県立中央病院	集計対象	2,552	1,622	551	85.1
富山	黒部市市民病院	集計対象	651	519	67	90.0
富山	富山大学附属病院	集計対象	1,259	748	263	80.3
富山	厚生連高岡病院	集計対象	1,466	1,047	229	87.0
富山	高岡市市民病院	集計対象	716	576	38	85.8
富山	市立砺波総合病院	集計対象	682	509	50	82.0
石川	国立大学法人金沢大学附属病院	集計対象	2,233	1,134	543	75.1
石川	独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター	集計対象	789	614	77	87.6
石川	石川県立中央病院	集計対象	1,834	1,103	578	91.7
石川	金沢医科大学病院	集計対象	1,227	772	226	81.3
石川	国民健康保険小松	集計対象	868	562	119	78.5
福井	福井県立病院	集計対象	1,629	1,095	260	83.2
福井	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院	集計対象	1,542	1,041	324	88.5
福井	福井赤十字病院	集計対象	1,363	1,068	159	90.0
福井	福井大学医学部附属病院	集計対象	1,390	832	382	87.3
福井	独立行政法人国立病院機構敦賀医療センター	集計対象	182	102	24	69.2
山梨	山梨県立中央病院	集計対象	2,027	1,417	302	84.8
山梨	国立大学法人 山梨大学医学部附属病院	集計対象	1,950	1,140	350	76.4
長野	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院 佐久医療センター	集計対象	1,872	1,150	524	89.4
長野	国立大学法人 信州大学医学部附属病院	集計対象	2,423	1,033	700	71.5

調査結果

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症例 区分2)	他施設 診断自 施設治 療(症例 区分3)	自施設 治療(症 例区分 2,3)登 録割合
長野	諏訪赤十字病院	集計対象	1,316	866	214	82.1
長野	飯田市立病院	集計対象	1,081	695	154	78.5
長野	長野市民病院	集計対象	1,927	1,315	498	94.1
長野	長野赤十字病院	集計対象	1,879	1,150	361	80.4
長野	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院	集計対象	1,491	887	181	71.6
長野	伊那中央病院	集計対象	883	538	190	82.4
長野	長野県立木曾病院	集計対象	190	155	(7-9)	85.8
長野	長野県厚生農業協同組合連合会 北信総合病院	集計対象	635	487	28	81.1
岐阜	岐阜市民病院	集計対象	1,507	1,217	113	88.3
岐阜	国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学医学部附属病院		2,295	1,351	622	86.0
岐阜	高山赤十字病院	集計対象	640	463	53	80.6
岐阜	岐阜県総合医療センター	集計対象	1,926	1,351	351	88.4
岐阜	岐阜県立多治見病院	集計対象	1,687	1,064	291	80.3
岐阜	大垣市民病院	集計対象	2,571	2,086	372	95.6
岐阜	社会医療法人厚生会 木沢記念病院	集計対象	1,142	643	196	73.5
静岡	静岡県立静岡がんセンター	集計対象	7,221	3,138	2,219	74.2
静岡	静岡県立総合病院	集計対象	2,928	1,996	597	88.6
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院	集計対象	1,719	1,122	228	78.5
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院	集計対象	1,995	1,475	334	90.7
静岡	順天堂大学医学部附属静岡病院	集計対象	1,435	1,007	166	81.7
静岡	静岡市立静岡病院	集計対象	1,438	1,176	134	91.1
静岡	藤枝市立総合病院	集計対象	1,155	789	115	78.3
静岡	浜松医科大学医学部附属病院	集計対象	1,545	861	434	83.8
静岡	浜松医療センター	集計対象	1,175	892	110	85.3
静岡	磐田市立総合病院	集計対象	1,391	958	151	79.7
静岡	富士市立中央病院		914	546	106	71.3
静岡	国際医療福祉大学熱海病院		517	328	22	67.7
愛知	愛知県がんセンター	集計対象	3,074	1,131	1,372	81.4
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	集計対象	2,001	1,544	239	89.1
愛知	海南病院	集計対象	1,464	927	197	76.8
愛知	国立病院機構 名古屋医療センター	集計対象	1,872	1,198	256	77.7
愛知	小牧市民病院	集計対象	1,915	1,375	311	88.0
愛知	豊橋市民病院	集計対象	2,372	1,654	430	87.9
愛知	名古屋大学医学部附属病院		3,748	1,699	1,150	76.0
愛知	独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院	集計対象	1,384	924	240	84.1
愛知	一宮市立市民病院	集計対象	1,361	980	221	88.2
愛知	公立陶生病院	集計対象	1,192	951	107	88.8
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	集計対象	1,583	1,203	195	88.3
愛知	名古屋市立大学病院	集計対象	2,066	1,157	545	82.4
愛知	名古屋第一赤十字病院	集計対象	2,534	1,886	310	86.7
愛知	名古屋第二赤十字病院	集計対象	2,355	1,622	327	82.8
愛知	藤田医科大学病院	集計対象	3,300	1,793	973	83.8
愛知	愛知医科大学病院		1,812	1,173	358	84.5
愛知	岡崎市民病院	集計対象	1,311	1,014	88	84.1
三重	伊勢赤十字病院	集計対象	1,865	1,352	352	91.4
三重	松阪中央総合病院	集計対象	904	563	133	77.0
三重	三重大学医学部附属病院		2,736	1,343	602	71.1
三重	三重県厚生農業協同組合連合会鈴鹿中央総合病院		1,399	949	130	77.1
三重	市立四日市病院		1,946	1,285	392	86.2
滋賀	市立長浜病院	集計対象	788	579	60	81.1
滋賀	滋賀県立総合病院	集計対象	1,447	906	215	77.5
滋賀	大津赤十字病院	集計対象	1,491	1,138	184	88.7
滋賀	彦根市立病院	集計対象	788	553	48	76.3
滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院	集計対象	1,560	766	592	87.1
京都	京都府立医科大学附属病院	集計対象	2,871	1,521	701	77.4
京都	京都桂病院		1,470	1,216	135	91.9
京都	京都市立病院	集計対象	1,642	1,100	170	77.3
京都	京都第一赤十字病院	集計対象	1,658	1,247	239	89.6
京都	京都第二赤十字病院	集計対象	1,803	1,247	268	84.0
京都	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター	集計対象	2,139	1,373	345	80.3

調査結果

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症例 区分2)	他施設 診断自 施設治 療(症例 区分3)	自施設 治療(症 例区分 2,3)登 録割合
京都	市立福知山市民病院	集計対象	835	516	107	74.6
京都	京都岡本記念病院		629	414	31	70.7
大阪	大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター	集計対象	2,141	1,462	345	84.4
大阪	市立岸和田市民病院	集計対象	1,433	950	198	80.1
大阪	地方独立行政法人市立東大阪医療センター	集計対象	1,092	921	71	90.8
大阪	市立豊中病院	集計対象	2,097	1,486	262	83.4
大阪	大阪国際がんセンター	集計対象	4,271	1,883	1,836	87.1
大阪	地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター	集計対象	3,043	1,733	717	80.5
大阪	大坂赤十字病院	集計対象	2,640	1,937	379	87.7
大阪	独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター	集計対象	1,014	589	175	75.3
大阪	独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院	集計対象	1,819	1,267	307	86.5
大阪	大阪医科大学附属病院	集計対象	3,138	1,567	950	80.2
大阪	大阪市立大学医学部附属病院	集計対象	3,612	1,541	1,318	79.2
大阪	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター	集計対象	1,554	937	318	80.8
大阪	堺市立総合医療センター	集計対象	1,448	965	198	80.3
大阪	八尾市立病院	集計対象	1,102	816	167	89.2
兵庫	兵庫県立がんセンター	集計対象	3,785	1,658	1,188	75.2
兵庫	神戸大学医学部附属病院	集計対象	3,676	1,636	1,095	74.3
兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院	集計対象	2,971	1,917	516	81.9
兵庫	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院		2,254	1,356	498	82.3
兵庫	公立学校共済組合 近畿中央病院	集計対象	843	587	122	84.1
兵庫	姫路赤十字病院	集計対象	2,013	1,269	526	89.2
兵庫	赤穂市民病院	集計対象	539	399	30	79.6
兵庫	公立豊岡病院組合立豊岡病院	集計対象	1,321	797	137	70.7
兵庫	兵庫県立淡路医療センター	集計対象	1,001	711	115	82.5
兵庫	兵庫医科大学病院	集計対象	2,751	1,475	649	77.2
兵庫	兵庫県立丹波医療センター	集計対象	465	212	79	62.6
兵庫	神戸市立西神戸医療センター	集計対象	1,607	1,099	265	84.9
兵庫	加古川中央市民病院		1,022	560	160	70.5
奈良	奈良県立医科大学附属病院	集計対象	2,739	1,431	785	80.9
奈良	奈良県総合医療センター	集計対象	1,233	719	315	83.9
奈良	天理よろづ相談所病院	集計対象	2,325	1,797	426	95.6
奈良	近畿大学奈良病院	集計対象	1,388	916	228	82.4
奈良	市立奈良病院	集計対象	1,210	839	125	79.7
奈良	南奈良総合医療センター		205	138	20	77.1
和歌山	紀南病院	集計対象	722	467	96	78.0
和歌山	南和歌山医療センター		678	359	125	71.4
和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター	集計対象	2,220	1,660	355	90.8
和歌山	公立那賀病院	集計対象	656	421	67	74.4
鳥取	鳥取県立厚生病院	集計対象	653	440	73	78.6
鳥取	独立行政法人国立病院機構 米子医療センター	集計対象	774	497	76	74.0
鳥取	鳥取県立中央病院	集計対象	968	783	56	86.7
鳥取	鳥取大学医学部附属病院	集計対象	1,828	1,117	489	87.9
島根	松江市立病院	集計対象	880	592	101	78.8
島根	松江赤十字病院		1,208	896	146	86.3
島根	島根大学医学部附属病院	集計対象	1,544	885	438	85.7
島根	島根県立中央病院	集計対象	1,088	858	115	89.4
島根	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター	集計対象	797	492	89	72.9
岡山	岡山済生会総合病院	集計対象	1,537	956	289	81.0
岡山	岡山赤十字病院	集計対象	1,237	847	149	80.5
岡山	岡山大学病院	集計対象	3,397	1,429	1,098	74.4
岡山	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	集計対象	3,497	2,422	488	83.2
岡山	津山中央病院	集計対象	1,392	917	128	75.1
岡山	岡山医療センター	集計対象	1,143	832	141	85.1
岡山	川崎医科大学附属病院	集計対象	1,803	1,114	376	82.6
岡山	金田病院	集計対象	158	50	13	39.9
広島	県立広島病院	集計対象	2,202	1,242	381	73.7
広島	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院	集計対象	3,133	2,012	736	87.7
広島	広島赤十字・原爆病院	集計対象	1,453	1,067	176	85.5

調査結果

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症例 区分2)	他施設 診断自 施設治 療(症例 区分3)	自施設 治療(症 例区分 2,3)登 録割合
広島	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター	集計対象	1,747	991	275	72.5
広島	東広島医療センター	集計対象	1,071	624	150	72.3
広島	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院	集計対象	851	577	208	92.2
広島	福山市民病院	集計対象	1,944	1,201	389	81.8
広島	市立三次中央病院		763	573	78	85.3
山口	地方独立行政法人山口県立病院機構 山口県立総合医療センター	集計対象	906	598	148	82.3
山口	国立病院機構 岩国医療センター	集計対象	1,495	1,042	225	84.7
山口	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院	集計対象	640	459	59	80.9
山口	独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院	集計対象	1,431	989	218	84.3
山口	山口大学医学部附属病院		1,975	1,049	576	82.3
山口	山口県済生会下関総合病院		924	597	158	81.7
徳島	徳島県立中央病院	集計対象	1,363	944	213	84.9
徳島	徳島大学病院	集計対象	1,884	1,056	552	85.4
徳島	徳島赤十字病院	集計対象	1,214	865	173	85.5
香川	香川県立中央病院	集計対象	1,711	1,090	367	85.2
香川	独立行政法人労働者健康安全機構香川労災病院	集計対象	1,300	911	191	84.8
香川	三豊総合病院	集計対象	1,084	745	92	77.2
香川	高松赤十字病院	集計対象	1,405	931	252	84.2
香川	国立大学法人 香川大学医学部附属病院	集計対象	1,623	852	423	78.6
愛媛	市立宇和島病院	集計対象	1,238	847	171	82.2
愛媛	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	集計対象	2,714	1,307	765	76.3
愛媛	住友別子病院	集計対象	594	386	44	72.4
愛媛	愛媛大学医学部附属病院	集計対象	2,280	940	673	70.7
愛媛	愛媛県立中央病院	集計対象	2,557	1,514	548	80.6
愛媛	松山赤十字病院	集計対象	1,725	1,226	197	82.5
愛媛	社会福祉法人恩賜財団 済生会今治病院	集計対象	789	392	115	64.3
高知	国立大学法人 高知大学医学部附属病院	集計対象	1,543	853	435	83.5
高知	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター	集計対象	1,617	951	503	89.9
高知	高知県立幡多けんみん病院	集計対象	673	421	80	74.4
福岡	久留米大学病院	集計対象	3,211	1,557	841	74.7
福岡	公立八女総合病院	集計対象	545	343	85	78.5
福岡	地方独立行政法人大牟田市立病院	集計対象	849	485	147	74.4
福岡	社会保険田川病院	集計対象	579	359	59	72.2
福岡	飯塚病院	集計対象	2,308	1,574	339	82.9
福岡	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター	集計対象	674	484	59	80.6
福岡	北九州市立医療センター	集計対象	2,466	1,539	548	84.6
福岡	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター	集計対象	2,602	1,065	723	68.7
福岡	国立大学法人 九州大学病院	集計対象	4,139	1,991	1,103	74.8
福岡	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	集計対象	2,298	1,271	543	78.9
福岡	福岡県済生会福岡総合病院	集計対象	1,475	904	321	83.1
福岡	福岡大学病院	集計対象	2,095	1,116	591	81.5
福岡	聖マリア病院	集計対象	1,190	823	164	82.9
福岡	独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院	集計対象	2,057	1,378	385	85.7
福岡	産業医科大学病院	集計対象	1,996	1,186	466	82.8
福岡	戸畑共立病院	集計対象	979	397	165	57.4
福岡	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	集計対象	1,380	869	255	81.4
福岡	福岡大学筑紫病院	集計対象	774	449	180	81.3
福岡	一般社団法人朝倉医師会 朝倉医師会病院	集計対象	413	261	39	72.6
佐賀	地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館	集計対象	1,749	995	352	77.0
佐賀	国立大学法人佐賀大学医学部附属病院	集計対象	1,718	830	540	79.7
佐賀	唐津赤十字病院	集計対象	783	526	77	77.0
佐賀	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター	集計対象	913	584	150	80.4
長崎	日本赤十字社 長崎原爆病院	集計対象	1,104	810	191	90.7
長崎	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター	集計対象	1,668	1,256	350	96.3
長崎	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター	集計対象	1,619	965	375	82.8
長崎	長崎みなとメディカルセンター		1,162	739	173	78.5
長崎	国立大学法人 長崎大学病院	集計対象	2,593	1,329	844	83.8
長崎	長崎県島原病院		503	338	98	86.7
熊本	熊本大学病院	集計対象	3,052	1,537	924	80.6

調査結果

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症例 区分2)	他施設 診断自 施設治 療(症例 区分3)	自施設 治療(症 例区分 2,3)登 録割合
熊本	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院	集計対象	669	423	92	77.0
熊本	人吉医療センター	集計対象	785	478	89	72.2
熊本	熊本赤十字病院	集計対象	1,886	1,193	306	79.5
熊本	国立病院機構 熊本医療センター	集計対象	1,739	864	397	72.5
熊本	済生会熊本病院	集計対象	1,886	1,179	366	81.9
熊本	荒尾市民病院	集計対象	434	263	77	78.3
大分	大分県立病院	集計対象	1,408	942	272	86.2
大分	大分赤十字病院	集計対象	943	577	170	79.2
大分	大分大学医学部附属病院	集計対象	1,724	811	537	78.2
大分	独立行政法人国立病院機構別府医療センター	集計対象	760	582	108	90.8
大分	大分県済生会日田病院	集計対象	379	186	61	65.2
大分	中津市立中津市民病院	集計対象	745	476	134	81.9
宮崎	宮崎県立宮崎病院	集計対象	1,303	829	220	80.5
宮崎	国立病院機構 都城医療センター	集計対象	824	453	204	79.7
宮崎	国立大学法人宮崎大学医学部附属病院	集計対象	1,707	764	458	71.6
鹿児島	鹿児島大学病院	集計対象	2,123	833	844	79.0
鹿児島	国立病院機構 鹿児島医療センター	集計対象	1,188	596	348	79.5
鹿児島	鹿児島県立薩南病院	集計対象	219	127	51	81.3
鹿児島	鹿児島県立大島病院	集計対象	301	211	40	83.4
鹿児島	済生会川内病院	集計対象	638	322	109	67.6
鹿児島	独立行政法人国立病院機構 南九州病院	集計対象	455	220	72	64.2
鹿児島	県民健康プラザ鹿屋医療センター	集計対象	511	162	136	58.3
鹿児島	鹿児島市立病院	集計対象	1,266	663	308	76.7
鹿児島	公益社団法人昭和会 今給黎総合病院	集計対象	775	376	189	72.9
鹿児島	出水郡医師会広域医療センター	集計対象	331	162	58	66.5
鹿児島	社会医療法人博愛会 相良病院	集計対象	980	160	555	73.0
沖縄	地方独立行政法人那覇市立病院	集計対象	895	483	175	73.5
沖縄	北部地区医師会病院	集計対象	295	200	14	72.5
沖縄	沖縄県立中部病院	集計対象	1,149	704	168	75.9
沖縄	国立大学法人 琉球大学病院	集計対象	1,697	722	516	73.0
沖縄	沖縄県立宮古病院	集計対象	263	149	17	63.1
沖縄	沖縄県立八重山病院	集計対象	228	131	20	66.2

表 2-2-2 都道府県推薦病院調査参加 107 施設の全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療（症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療（症 例区分 3)	自施設 治療 （症例 区分 2, 3）登録 割合
総数		61	91,164	61,085	11,201	79.3
北海道	斗南病院		960	595	250	88.0
北海道	社会医療法人北楡会 札幌北楡病院		409	249	109	87.5
北海道	社会医療法人 製鉄記念室蘭病院	集計対象	720	634	44	94.2
北海道	苫小牧市立病院	集計対象	674	559	15	85.2
北海道	旭川赤十字病院		984	866	71	95.2
北海道	J A 北海道厚生連遠軽厚生病院	集計対象	352	211	(7-9)	61.9
北海道	JR 札幌病院		345	277	28	88.4
宮城	一般財団法人厚生会 仙台厚生病院		1,490	1,017	280	87.0
秋田	中通総合病院	集計対象	603	475	91	93.9
秋田	市立秋田総合病院	集計対象	916	627	147	84.5
福島	公益財団法人星総合病院		782	456	225	87.1
茨城	水戸赤十字病院		1,367	1,038	156	87.3
栃木	独立行政法人国立病院機構宇都宮病院	集計対象	199	120	17	68.8
群馬	利根保健生活協同組合 利根中央病院		442	360	10	83.7
群馬	群馬中央病院		447	418	(1-3)	94.0
群馬	群馬県済生会前橋病院	集計対象	768	392	194	76.3
埼玉	上尾中央総合病院	集計対象	1,929	1,321	149	76.2
埼玉	埼玉石心会病院	集計対象	1,084	560	83	59.3
埼玉	小川赤十字病院	集計対象	569	325	45	65.0
埼玉	秀和総合病院		572	420	65	84.8
埼玉	社会医療法人さいたま市民医療センター		808	540	91	78.1
千葉	医療法人沖縄徳洲会千葉徳洲会病院		1,169	615	142	64.8
東京	東京女子医科大学病院		2,808	1,241	793	72.4
東京	日本医科大学多摩永山病院	集計対象	1,043	695	157	81.7
東京	国家公務員共済組合連合会立川病院		1,325	705	167	65.8
東京	国際医療福祉大学三田病院		1,362	565	177	54.5
東京	国家公務員共済組合連合会東京共済病院		588	379	106	82.5
東京	J R 東京総合病院		833	529	64	71.2
東京	東京都済生会中央病院	集計対象	1,073	794	71	80.6
東京	社会福祉法人 三井記念病院	集計対象	1,691	1,009	234	73.5
東京	河北総合病院		899	542	36	64.3
東京	社会医療法人財団大和会 東大和病院	集計対象	688	402	77	69.6
東京	東京慈恵会医科大学附属第三病院		1,412	1,022	164	84.0
神奈川	国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院		693	564	57	89.6
神奈川	国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院	集計対象	1,402	1,137	138	90.9
神奈川	済生会横浜市南部病院		1,504	1,108	181	85.7
神奈川	独立行政法人国立病院機構相模原病院		1,046	633	73	67.5
神奈川	昭和大学藤が丘病院	集計対象	1,756	1,085	238	75.3
新潟	済生会新潟病院		1,477	712	118	56.2
富山	富山赤十字病院		940	712	87	85.0
富山	富山県済生会高岡病院	集計対象	191	129	17	76.4
石川	浅ノ川総合病院		530	176	98	51.7
石川	恵寿総合病院	集計対象	508	341	51	77.2
石川	独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院	集計対象	269	196	(7-9)	75.5
石川	公立松任石川中央病院	集計対象	633	539	65	95.4
石川	石川県済生会金沢病院		491	204	49	51.5
岐阜	松波総合病院	集計対象	1,163	1,021	39	91.1
岐阜	朝日大学病院	集計対象	438	363	35	90.9
静岡	沼津市立病院	集計対象	785	498	52	70.1
静岡	焼津市立総合病院	集計対象	1,001	693	130	82.2
静岡	国立病院機構 静岡医療センター		585	311	51	61.9
静岡	市立島田市民病院		956	770	51	85.9
愛知	春日井市民病院	集計対象	1,542	1,191	97	83.5
愛知	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院		1,860	1,353	266	87.0
三重	済生会松阪総合病院		945	505	48	58.5
三重	松阪市民病院		579	514	0	88.8

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療(症 例区分 3)	自施設 治療 (症例 区分2, 3)登録 割合
滋賀	社会医療法人誠光会 草津総合病院	集計対象	744	364	106	63.2
滋賀	近江八幡市立総合医療センター	集計対象	722	560	54	85.0
滋賀	済生会滋賀県病院	集計対象	868	626	79	81.2
京都	社会福祉法人 恩賜財団 済生会京都府病院		305	243	20	86.2
大阪	高槻赤十字病院	集計対象	818	496	76	69.9
大阪	地方独立行政法人市立吹田市民病院		804	623	83	87.8
大阪	箕面市立病院	集計対象	882	651	109	86.2
大阪	社会医療法人 愛仁会 高槻病院		893	636	58	77.7
大阪	Panasonic 健康保険組合 松下記念病院	集計対象	840	683	88	91.8
大阪	医療法人 八尾徳洲会総合病院	集計対象	1,057	712	94	76.3
大阪	社会医療法人生長会 ベルランド総合病院		1,318	946	139	82.3
大阪	府中病院		1,005	736	152	88.4
大阪	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院	集計対象	965	721	78	82.8
大阪	関西電力病院	集計対象	821	601	98	85.1
大阪	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院	集計対象	845	633	134	90.8
大阪	医療法人 警和会 大阪警察病院	集計対象	1,918	1,323	432	91.5
大阪	公益財団法人日本生命済生会付属日生病院	集計対象	528	411	13	80.3
大阪	関西医科大学総合医療センター	集計対象	1,232	766	252	82.6
大阪	社会医療法人美杉会佐藤病院		342	213	23	69.0
大阪	医療法人藤井会石切生喜病院	集計対象	960	749	34	81.6
大阪	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会富田林病院	集計対象	490	342	67	83.5
大阪	PL病院	集計対象	480	365	48	86.0
大阪	財団法人田附興風会 北野病院	集計対象	1,868	1,260	281	82.5
大阪	社会医療法人愛仁会 千船病院		328	248	16	80.5
大阪	市立ひらかた病院	集計対象	786	482	69	70.1
兵庫	神鋼記念病院	集計対象	1,341	926	283	90.2
奈良	大和高田市立病院	集計対象	627	479	36	82.1
奈良	社会福祉法人恩賜財団済生会中和病院		627	427	85	81.7
鳥取	鳥取赤十字病院		676	511	68	85.7
島根	松江医療センター	集計対象	127	111	(7-9)	92.9
岡山	岡山市立市民病院	集計対象	618	448	65	83.0
岡山	一般財団法人 倉敷成人病センター	集計対象	697	476	126	86.4
広島	公立学校共済組合中国中央病院	集計対象	717	556	94	90.7
山口	独立行政法人国立病院機構山口宇部医療センター	集計対象	621	351	49	64.4
高知	高知赤十字病院		927	632	132	82.4
長崎	独立行政法人地域医療機能推進機構 諫早総合病院		1,164	731	171	77.5
長崎	佐世保中央病院	集計対象	687	462	79	78.7
熊本	独立行政法人国立病院機構熊本再春医療センター		191	123	30	80.1
熊本	国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院	集計対象	1,081	693	142	77.2
熊本	大腸肛門病センター高野病院	集計対象	262	200	45	93.5
熊本	天草地域医療センター	集計対象	430	274	51	75.6
熊本	熊本地域医療センター		508	319	103	83.1
大分	独立行政法人国立病院機構大分医療センター	集計対象	577	392	84	82.5
鹿児島	医療法人徳洲会大隅鹿屋病院	集計対象	235	151	34	78.7
鹿児島	公益社団法人鹿児島共済会南風病院	集計対象	844	480	197	80.2
鹿児島	鹿児島市医師会病院	集計対象	503	186	161	69.0
鹿児島	今村総合病院		756	372	154	69.6
沖縄	社会医療法人敬愛会 中頭病院		1,221	932	58	81.1
沖縄	沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院	集計対象	273	225	11	86.4
沖縄	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	集計対象	592	403	35	74.0
沖縄	国立病院機構 沖縄病院	集計対象	438	122	83	46.8

表 2-2-3 小児がん拠点病院調査参加 2 施設の全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2, 3) 登録 割合
総数		2	209	105	17	58.4
東京	国立成育医療研究センター	集計対象	135	50	16	48.9
神奈川	神奈川県立こども医療センター	集計対象	74	55	(1-3)	75.7

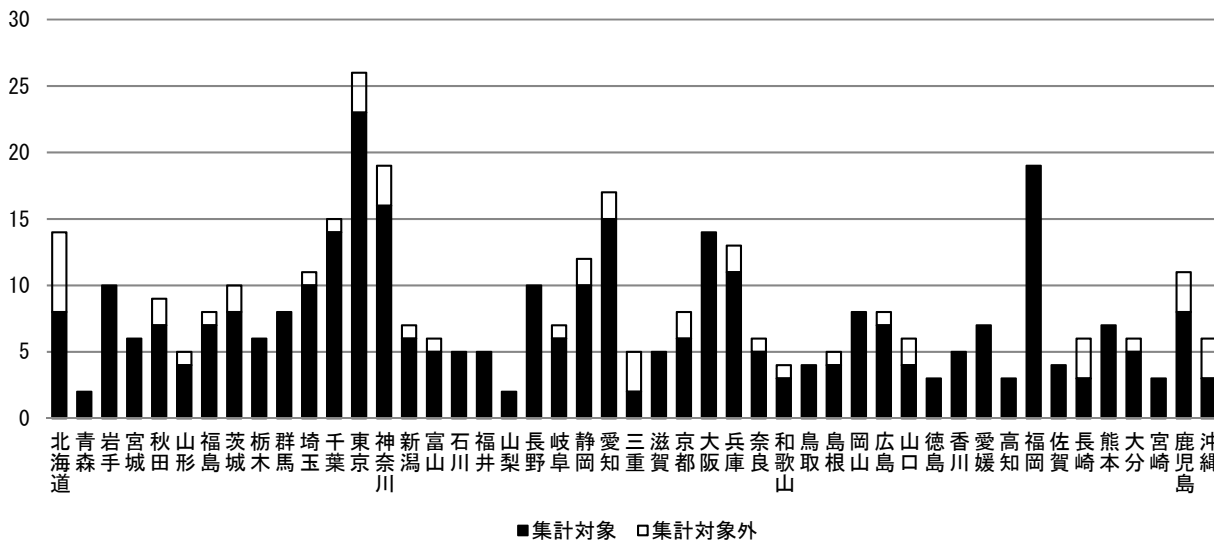


図 2-1 がん診療連携拠点病院等における都道府県・施設別生存状況把握割合(都道府県推薦/小児拠点を除く)

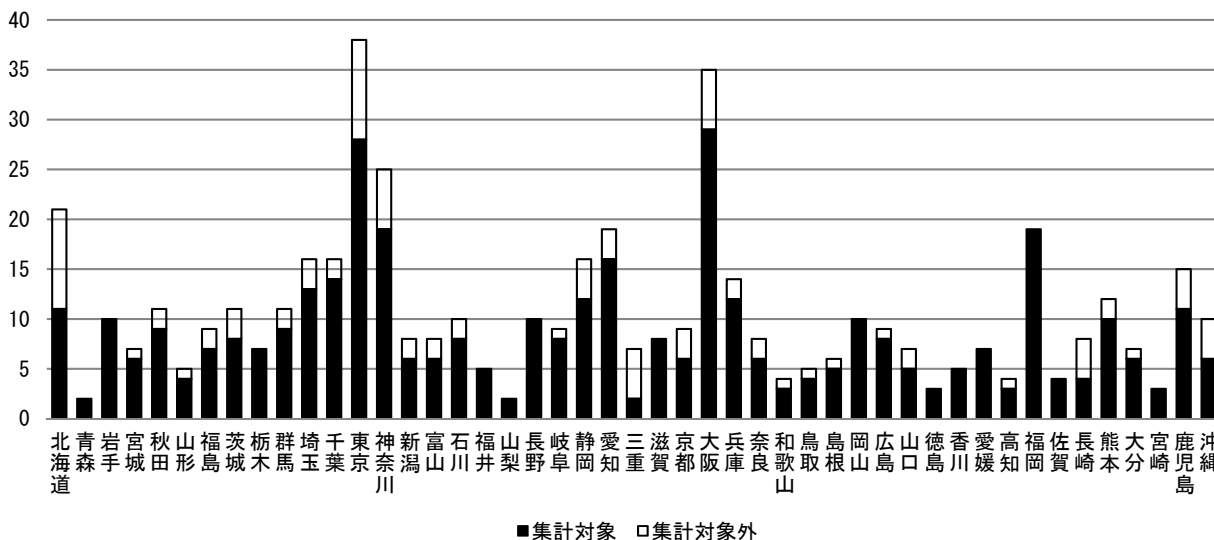


図 2-1 参考 調査参加施設における都道府県・施設別生存状況把握割合

Ⅲ 2015年3年生存率集計 結果詳細(全体) : 悪性新生物<腫瘍>

1. 全がん

	集計対象 施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	399	460,092	143,612	98.1	68.3

(0) 全がんの生存率集計値

全がんでの生存率集計値の算定に当たり、特性が異なるがんの生存率算定の意義について疑問を呈する声もあったが、先行する地域がん登録、全国がんセンター協議会加盟施設における既存生存率集計と比較するため、ここでは院内がん登録3年生存率集計においても全がんでの生存率集計結果について提示する。

(1) 生存状況把握割合

対象者は460,092例で、その内3年以内に死亡していた者は143,612例、打ち切りが8,733例であった。全体として、生存状況把握割合は98.1%であった。

(2) 対象者の属性

本集計対象者の属性を表3-1-1に示す。男性が57.5%、女性が42.5%とやや男性が多かった。診断時の年齢は、男女とも70歳代が最も多く、次いで60歳代となっており、60歳代、70歳代で全体の60.1%を占めた。60.1%の対象者に観血的治療が実施されており、53.5%が原発巣・治癒切除であった。発見経緯別にみると、その他・不明が半数以上であった。部位別にみると、男性では胃、肺、前立腺が、女性では乳房、大腸が多かった。

表 3-1-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	264,676	100.0	195,416	100.0	460,092	100.0
拠点病院等	244,187	92.3	181,122	92.7	425,309	92.4
都道府県推薦病院・小児がん拠点	20,489	7.7	14,294	7.3	34,783	7.6
年齢						
平均年齢(SD)	69.8	11.7	66.2	15.0	68.3	13.3
0-14歳	778	0.3	648	0.3	1,426	0.3
15-39歳	4,457	1.7	8,627	4.4	13,084	2.8
40歳代	8,582	3.2	20,467	10.5	29,049	6.3
50歳代	24,203	9.1	27,630	14.1	51,833	11.3
60歳代	78,575	29.7	47,855	24.5	126,430	27.5
70歳代	97,858	37.0	52,149	26.7	150,007	32.6
80歳以上	50,223	19.0	38,040	19.5	88,263	19.2
観血的治療						
有	144,184	54.5	132,501	67.8	276,685	60.1
原発巣・治癒切除	127,523	48.2	118,723	60.8	246,246	53.5
原発巣・非治癒切除	12,890	4.9	10,429	5.3	23,319	5.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	3,771	1.4	3,349	1.7	7,120	1.5
無	120,492	45.5	62,915	32.2	183,407	39.9
発見経緯						
がん検診	17,655	6.7	17,019	8.7	34,674	7.5
健康診断・人間ドック	24,729	9.3	12,546	6.4	37,275	8.1
他疾患経過観察中	93,927	35.5	51,491	26.3	145,418	31.6
その他・不明	128,365	48.5	114,360	58.5	242,725	52.8
部位						
口腔咽頭	9,179	3.5	3,580	1.8	12,759	2.8
食道	12,031	4.5	2,230	1.1	14,261	3.1
胃	44,238	16.7	18,717	9.6	62,955	13.7
結腸	20,892	7.9	17,369	8.9	38,261	8.3
直腸	13,509	5.1	7,402	3.8	20,911	4.5
大腸(再掲)	34,401	13.0	24,771	12.7	59,172	12.9
肝臓	11,807	4.5	5,236	2.7	17,043	3.7
胆嚢胆管	5,123	1.9	4,033	2.1	9,156	2.0
膵臓	9,174	3.5	7,415	3.8	16,589	3.6
喉頭	3,307	1.2	283	0.1	3,590	0.8
肺	39,017	14.7	18,736	9.6	57,753	12.6
骨軟部	1,283	0.5	961	0.5	2,244	0.5
皮膚	6,330	2.4	5,900	3.0	12,230	2.7
乳房	278	0.1	43,065	22.0	43,343	9.4
子宮頸部	-		7,006	3.6	7,006	1.5
子宮体部	-		9,473	4.8	9,473	2.1
子宮	-		18	0.0	18	0.0
卵巣	-		5,722	2.9	5,722	1.2
前立腺	38,931	14.7	-		38,931	8.5
膀胱	6,786	2.6	2,025	1.0	8,811	1.9
腎尿路	9,625	3.6	4,218	2.2	13,843	3.0
脳神経	4825	1.8	6,418	3.3	11,243	2.4
甲状腺	2,225	0.8	5,707	2.9	7,932	1.7
悪性リンパ腫	9,197	3.5	7,880	4.0	17,077	3.7
多発性骨髄腫	1952	0.7	1,703	0.9	3,655	0.8
白血病	3792	1.4	2,539	1.3	6,331	1.4
その他の血液	3944	1.5	2,407	1.2	6,351	1.4
その他	7,231	2.7	5,373	2.7	12,604	2.7

参考 対象者の属性(がん診療連携拠点病院等)

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	244,187	100.0	181,122	100.0	425,309	100.0
年齢						
平均年齢(SD)	69.7	11.7	66.1	14.9	68.2	13.3
0-14歳	698	0.3	570	0.3	1,268	0.3
15-39歳	4,216	1.7	8,155	4.5	12,371	2.9
40歳代	8,091	3.3	19,160	10.6	27,251	6.4
50歳代	22,629	9.3	25,865	14.3	48,494	11.4
60歳代	72,911	29.9	44,697	24.7	117,608	27.7
70歳代	90,094	36.9	48,052	26.5	138,146	32.5
80歳以上	45,548	18.7	34,623	19.1	80,171	18.9
観血的治療						
有	133,484	54.7	123,135	68.0	256,619	60.3
原発巣・治癒切除	117,955	48.3	110,204	60.8	228,159	53.6
原発巣・非治癒切除	12,019	4.9	9,778	5.4	21,797	5.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	3,510	1.4	3,153	1.7	6,663	1.6
無	110,703	45.3	57,987	32.0	168,690	39.7
発見経緯						
がん検診	16,571	6.8	16,004	8.8	32,575	7.7
健康診断・人間ドック	22,891	9.4	11,703	6.5	34,594	8.1
他疾患経過観察中	86,631	35.5	47,654	26.3	134,285	31.6
その他・不明	118,094	48.4	105,761	58.4	223,855	52.6
部位						
口腔咽頭	8,914	3.7	3,485	1.9	12,399	2.9
食道	11,512	4.7	2,130	1.2	13,642	3.2
胃	40,658	16.7	17,227	9.5	57,885	13.6
結腸	18,716	7.7	15,603	8.6	34,319	8.1
直腸	12,204	5.0	6,714	3.7	18,918	4.4
大腸(再掲)	30,920	12.7	22,317	12.3	53,237	12.5
肝臓	10,818	4.4	4,799	2.6	15,617	3.7
胆嚢胆管	4,602	1.9	3,645	2.0	8,247	1.9
膵臓	8,474	3.5	6,792	3.7	15,266	3.6
喉頭	3,179	1.3	270	0.1	3,449	0.8
肺	36,111	14.8	17,416	9.6	53,527	12.6
骨軟部	1,247	0.5	941	0.5	2,188	0.5
皮膚	6,004	2.5	5,603	3.1	11,607	2.7
乳房	248	0.1	39,810	22.0	40,058	9.4
子宮頸部	-		6,692	3.7	6,692	1.6
子宮体部	-		8,921	4.9	8,921	2.1
子宮	-		17	0.0	17	0.0
卵巣	-		5,377	3.0	5,377	1.3
前立腺	35,558	14.6	-		35,558	8.4
膀胱	6,127	2.5	1,814	1.0	7,941	1.9
腎尿路	8,939	3.7	3,893	2.1	12,832	3.0
脳神経	4,549	1.9	6,086	3.4	10,635	2.5
甲状腺	2,088	0.9	5,321	2.9	7,409	1.7
悪性リンパ腫	8,570	3.5	7,383	4.1	15,953	3.8
多発性骨髄腫	1,791	0.7	1,571	0.9	3,362	0.8
白血病	3,493	1.4	2,333	1.3	5,826	1.4
その他の血液	3,636	1.5	2,248	1.2	5,884	1.4
その他	6,749	2.8	5,031	2.8	11,780	2.8

参考 対象者の属性(都道府県推薦病院と小児がん拠点病院)

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	20,489	100.0	14,297	100.0	34,786	100.0
年齢						
平均年齢	71.2	11.5	68.1	15.1	69.9	13.2
0-14歳	80	0.4	78	0.5	158	0.5
15-39歳	241	1.2	472	3.3	713	2.0
40歳代	491	2.4	1,307	9.1	1,798	5.2
50歳代	1,574	7.7	1,765	12.3	3,339	9.6
60歳代	5,664	27.6	3,158	22.1	8,822	25.4
70歳代	7,764	37.9	4,097	28.7	11,861	34.1
80歳以上	4,675	22.8	3,417	23.9	8,092	23.3
観血的治療						
有	10,700	52.2	9,366	65.5	20,066	57.7
原発巣・治癒切除	9,568	46.7	8,519	59.6	18,087	52.0
原発巣・非治癒切除	871	4.3	651	4.6	1,522	4.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	261	1.3	196	1.4	457	1.3
無	9,789	47.8	4,928	34.5	14,717	42.3
発見経緯						
がん検診	1,084	5.3	1,015	7.1	2,099	6.0
健康診断・人間ドック	1,838	9.0	843	5.9	2,681	7.7
他疾患経過観察中	7,296	35.6	3,837	26.8	11,133	32.0
その他・不明	10,271	50.1	8,599	60.1	18,870	54.2
部位						
口腔咽頭	265	1.3	95	0.7	360	1.0
食道	519	2.5	100	0.7	619	1.8
胃	3,580	17.5	1,490	10.4	5,070	14.6
結腸	2,176	10.6	1,766	12.4	3,942	11.3
直腸	1,305	6.4	688	4.8	1,993	5.7
大腸(再掲)	3,481	17.0	2,454	17.2	5,935	17.1
肝臓	989	4.8	437	3.1	1,426	4.1
胆嚢胆管	521	2.5	388	2.7	909	2.6
膵臓	700	3.4	623	4.4	1,323	3.8
喉頭	128	0.6	13	0.1	141	0.4
肺	2,906	14.2	1,320	9.2	4,226	12.1
骨軟部	36	0.2	20	0.1	56	0.2
皮膚	326	1.6	297	2.1	623	1.8
乳房	30	0.1	3,255	22.8	3,285	9.4
子宮頸部	-		314	2.2	314	0.9
子宮体部	-		552	3.9	552	1.6
子宮	-		(1-3)		(1-3)	
卵巣	-		345	2.4	345	1.0
前立腺	3,373	16.5	-		3,373	9.7
膀胱	659	3.2	211	1.5	870	2.5
腎尿路	686	3.3	325	2.3	1,011	2.9
脳神経	276	1.3	332	2.3	608	1.7
甲状腺	137	0.7	386	2.7	523	1.5
悪性リンパ腫	627	3.1	497	3.5	1,124	3.2
多発性骨髄腫	161	0.8	132	0.9	293	0.8
白血病	299	1.5	206	1.4	505	1.5
その他の血液	308	1.5	159	1.1	467	1.3
その他	482	2.4	342	2.4	824	2.4

(3)3年生存率

表 3-1-2 に、実測生存率及び相対生存率を示す。年齢が高いほど実測生存率と相対生存率との乖離が大きくなっているが、これは若年者と比較して高齢者ではがん以外の要因で死亡する例が多くなることが影響していると考えられる。観血的治療の実施別にみると、男女ともに観血的治療有、特に原発巣・治癒切除例において生存率が高くなっていた。

表 3-1-2 属性別 3 年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間
全体	64.5	70.7	70.5 70.9	73.9	77.4	77.2 77.6	68.5	73.6	73.4 73.7
拠点病院等	64.7	70.9	70.7 71.1	74.2	77.7	77.4 77.9	68.8	73.8	73.7 74.0
都道府県推薦病院	61.7	68.3	67.6 69.1	70.2	74.0	73.2 74.8	65.2	70.7	70.2 71.2
年齢									
0-14 歳	88.6	88.6	86.2 90.7	84.4	84.4	81.3 87.0	86.7	86.7	84.8 88.4
15-39 歳	84.1	84.3	83.1 85.3	89.7	89.9	89.2 90.5	87.8	88.0	87.4 88.5
40 歳代	77.9	78.4	77.4 79.2	90.2	90.5	90.0 90.9	86.6	86.9	86.5 87.3
50 歳代	73.9	75.0	74.4 75.5	85.1	85.7	85.3 86.1	79.9	80.7	80.4 81.1
60 歳代	70.3	73.0	72.7 73.3	78.7	79.9	79.6 80.3	73.5	75.7	75.4 75.9
70 歳代	54.8	70.9	70.6 71.2	70.7	73.7	73.3 74.1	66.9	71.9	71.6 72.2
80 歳以上	45.9	60.8	60.2 61.4	51.6	62.0	61.4 62.6	48.4	61.3	60.9 61.8
観血的治療									
有	81.4	88.5	88.3 88.7	88.3	91.9	91.7 92.0	84.7	90.1	90.0 90.3
原発巣・治癒切除	84.0	91.3	91.1 91.5	90.7	94.4	94.2 94.6	87.2	92.8	92.7 93.0
原発巣・非治癒切除	58.6	63.4	62.5 64.3	63.3	65.8	64.8 66.7	60.7	64.5	63.8 65.1
原発巣・治癒/非治癒の別	72.5	79.2	77.6 80.7	80.4	83.5	82.1 84.9	76.2	81.3	80.2 82.3
不詳									
無	44.2	49.1	48.8 49.4	43.5	46.3	45.9 49.7	44.0	48.1	47.9 48.4

2. 胃癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	396	60,756	18,015	98.1	71.4
I期	394	38,823	4,192	97.9	71.6
II期	392	5,348	1,595	98.3	71.5
III期	392	6,053	3,031	98.6	71.2
IV期	394	9,605	8,465	98.7	70.2

(1) 生存状況把握割合

集計対象者は、60,756例で、3年以内に死亡していた者は18,015例、打ち切りが1,144例で、生存状況把握割合は、全体で98.1%であった。

(2) 対象者の属性

胃の集計対象者の属性を表3-2-1に示す。性別にみると、男性が7割以上を占めた。診断時の年齢は、

70歳代が最も多く、次いで60歳代となっており、60歳代・70歳代で全体の約6割以上を占めた。UICC TNM分類総合ステージを見ると、I期が約6割、次いでIV期が15.8%を占めた。79.7%において観血的治療が実施されており、74.4%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が34.7%であった。

表3-2-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	43,045	100.0	17,711	100.0	60,756	100.0
拠点病院等	39,559	91.9	16,294	92.0	55,853	91.9
都道府県推薦病院	3,486	8.1	1,417	8.0	4,903	8.1
年齢						
平均年齢 (SD)	71.4	9.8	71.6	12.0	71.4	10.5
15-39歳	250	0.6	303	1.7	553	0.9
40歳代	902	2.1	731	4.1	1,633	2.7
50歳代	3,419	7.9	1,435	8.1	4,854	8.0
60歳代	12,473	29.0	4,226	23.9	16,699	27.5
70歳代	17,106	39.7	6,222	35.1	23,328	38.4
80歳以上	8,895	20.7	4,794	27.1	13,689	22.5
UICC TNM分類総合ステージ						
I期	27,903	64.8	10,920	61.7	38,823	63.9
II期	3,723	8.6	1,625	9.2	5,348	8.8
III期	4,226	9.8	1,827	10.3	6,053	10.0
IV期	6,540	15.2	3,065	17.3	9,605	15.8
不詳	653	1.5	274	1.5	927	1.5
観血的治療						
有	34,512	80.2	13,905	78.5	48,417	79.7
原発巣・治癒切除	32,192	74.8	12,983	73.3	45,175	74.4
原発巣・非治癒切除	1,950	4.5	811	4.6	2,761	4.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	370	0.9	111	0.6	481	0.8
無	8,533	19.8	3,806	21.5	12,339	20.3
発見経緯						
がん検診	4,026	9.4	1,571	8.9	5,597	9.2
健康診断・人間ドック	5,697	13.2	1,714	9.7	7,411	12.2
他疾患経過観察中	15,675	36.4	5,404	30.5	21,079	34.7
その他・不明	17,647	41.0	9,022	50.9	26,669	43.9

(3)3年生存率

男女別にみた3年相対生存率はほぼ同様であった。年代別にみると、80歳以上では相対生存率と実測生存率の差が広がる傾向があった。また、観血治療を受けた者では、相対生存率は全体で90%以上であった。

表 3-2-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	69.8	77.0	76.5	77.5	70.8	75.3	74.6	76.0	70.1	76.5	76.1	76.9
拠点病院等	70.2	77.4	76.9	77.9	71.3	75.7	75.0	76.5	70.5	76.9	76.5	77.3
都道府県推薦病院	65.3	72.5	70.7	74.3	65.0	70.0	67.3	72.7	65.2	71.8	70.3	73.3
年齢												
15-39歳	68.7	68.9	62.6	74.3	64.2	64.3	58.6	69.5	66.2	66.3	62.1	70.1
40歳代	75.0	75.5	72.5	78.2	73.9	74.1	70.7	77.2	74.5	74.9	72.7	76.9
50歳代	79.3	80.5	79.1	81.9	75.5	76.1	73.7	78.2	78.2	79.2	78.0	80.3
60歳代	76.5	79.5	78.7	80.2	76.3	77.5	76.2	78.8	76.5	79.0	78.3	79.6
70歳代	71.1	77.9	77.1	78.6	75.5	78.7	77.6	79.8	72.2	78.1	77.5	78.7
80歳以上	53.7	70.6	69.2	72.0	58.4	69.3	67.6	70.9	55.3	70.1	69.1	71.2
UICC TNM 総合ステージ												
I期	87.9	97.1	96.7	97.5	92.2	98.0	97.4	98.5	89.1	97.4	97.0	97.7
II期	69.0	76.3	74.6	77.9	72.0	76.8	74.4	79.0	69.9	76.4	75.1	77.8
III期	49.0	53.6	51.9	55.3	50.8	53.6	51.2	56.0	49.5	53.6	52.2	55.0
IV期	11.2	12.2	11.4	13.0	10.5	11.0	9.9	12.2	11.0	11.8	11.1	12.5
不詳	20.1	24.1	20.5	28.0	18.3	22.1	16.8	28.0	19.6	23.5	20.5	26.7
観血的治療												
有	83.4	91.7	91.3	92.2	86.6	91.5	90.9	92.1	84.3	91.7	91.3	92.0
原発巣・治癒切除	85.9	94.3	93.9	94.7	89.4	94.4	93.8	95.0	86.9	94.3	94.0	94.7
原発巣・非治癒切除	46.6	52.4	49.9	54.9	44.1	47.3	43.6	50.9	45.9	50.9	48.8	52.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	66.4	74.1	68.4	79.3	72.1	76.5	66.6	84.4	67.7	74.7	69.9	79.1
無	14.2	16.2	15.3	17.0	12.7	14.1	12.9	15.3	13.8	15.5	14.8	16.2

3. 大腸癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	396	57,128	15,315	98.3	70.1
0期*	394	21,759	1,622	96.2	68.3
I期	395	15,663	1,670	98.2	69.7
II期	393	14,664	2,245	98.2	71.5
III期	394	14,974	3,059	98.4	69.3
IV期	395	10,936	7,675	98.5	69.3

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

集計対象 57,128 例のうち、3 年以内に死亡していた者は 15,315 例、打ち切りが 983 例で、全体として生存状況把握割合は 98.3%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-3①-1 に示す。性別にみると、女性より男性がやや多く男性が約 58%を占めた。診断時の

年齢は、男女ともに 70 歳代が最も多く、次いで 60 歳代が多くなっていた。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体では I、II、III 期ともに 25%前後にばらついていた。85.3%の対象者がなんらかの観血的治療を受けており、77.2%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が 24.4%、がん検診が 10.4%、健康診断・人間ドックが 8.6%であった。

表 3-3①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	33,237	100.0	23,891	100.0	57,128	100.0
拠点病院等	29,874	89.9	21,522	90.1	51,396	90.0
都道府県推薦病院	3,363	10.1	2,369	9.9	5,732	10.0
年齢						
平均年齢 (SD)	69.6	11.0	70.8	12.4	70.1	11.6
0-14 歳	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
15-39 歳	365	1.1	323	1.4	688	1.2
40 歳代	1,315	4.0	1,154	4.8	2,469	4.3
50 歳代	3,663	11.0	2,609	10.9	6,272	11.0
60 歳代	10,191	30.7	6,043	25.3	16,234	28.4
70 歳代	11,544	34.7	7,406	31.0	18,950	33.2
80 歳以上	6,158	18.5	6,356	26.6	12,514	21.9
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期*	14,257	-	7,502	-	21,759	-
I期	9,544	28.7	6,119	25.6	15,663	27.4
II期	8,536	25.7	6,128	25.6	14,664	25.7
III期	8,409	25.3	6,565	27.5	14,974	26.2
IV期	6,247	18.8	4,689	19.6	10,936	19.1
不詳	501	1.5	390	1.6	891	1.6
観血的治療						
有	28,359	85.3	20,387	85.3	48,746	85.3
原発巣・治癒切除	25,647	77.2	18,430	77.1	44,077	77.2
原発巣・非治癒切除	2,315	7.0	1,677	7.0	3,992	7.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	397	1.2	280	1.2	677	1.2
無	4,878	14.7	3,504	14.7	8,382	14.7
発見経緯						
がん検診	3,313	10.0	2,643	11.1	5,956	10.4
健康診断・人間ドック	3,050	9.2	1,860	7.8	4,910	8.6
他疾患経過観察中	8,608	25.9	5,345	22.4	13,953	24.4
その他・不明	18,266	55.0	14,043	58.8	32,309	56.6

*全体集計対象には含まれていない

(3)3年生存率

3年生存率を表3-3①-2に示す。3年相対生存率は、男女ともほぼ同様であり全体では約79%であった。他の部位と同様、年代が高くなるほど、実測生存率と相対生存率の差が大きくなるが、これは高齢者ほど他疾患で亡くなる例が少なくないためと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に相対生存率をみると、I期では約96%、II期では約92%であった。観血的治療を受けたものは、相対生存率は88.9%であり、原発巣・治癒切除例においては92.7%であった。

表3-3①-2 属性別3年生存率

	男性			女性			全体					
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間			
全体	72.3	79.2	78.6	79.7	73.9	78.5	77.9	79.1	73.0	78.9	78.5	79.3
拠点病院等	72.4	79.2	78.7	79.8	74.1	78.6	78.0	79.3	73.1	79.0	78.6	79.4
都道府県推薦病院	71.4	78.7	76.9	80.3	72.2	77.2	75.2	79.1	71.7	78.1	76.8	79.3
年齢												
15-39歳	84.0	84.2	80.0	87.6	79.8	79.9	75.0	83.9	82.0	82.2	79.1	84.9
40歳代	82.7	83.2	81.0	85.2	81.9	82.1	79.8	84.3	82.3	82.7	81.1	84.2
50歳代	81.1	82.3	81.0	83.5	83.9	84.5	83.1	85.9	82.3	83.2	82.2	84.2
60歳代	78.3	81.3	80.5	82.2	81.7	83.0	82.0	84.0	79.6	82.0	81.3	82.6
70歳代	72.2	79.0	78.1	79.9	77.4	80.7	79.7	81.7	74.2	79.7	79.0	80.3
80歳以上	54.4	72.3	70.7	74.0	56.3	67.7	66.2	69.1	55.3	69.9	68.8	71.0
UICC TNM 総合ステージ												
0期*	91.1	98.5	97.9	99.0	94.9	99.2	98.7	99.7	92.4	98.7	98.3	99.1
I期	87.4	95.6	94.8	96.3	92.1	97.1	96.4	97.8	89.2	96.2	95.7	96.7
II期	83.1	92.2	91.3	93.1	86.6	93.0	92.1	93.9	84.6	92.6	91.9	93.2
III期	78.6	85.5	84.5	86.4	80.4	85.3	84.2	86.3	79.4	85.4	84.7	86.1
IV期	29.5	31.8	30.6	33.0	28.6	30.0	28.6	31.4	29.1	31.0	30.1	31.9
不詳	26.2	30.7	26.2	35.3	20.2	23.8	19.2	28.8	23.6	27.7	24.4	31.1
観血的治療												
有	81.5	89.0	88.5	89.5	83.7	88.6	88.0	89.1	82.4	88.9	88.5	89.2
原発巣・治癒切除	85.0	92.9	92.4	93.3	87.5	92.6	92.1	93.1	86.0	92.7	92.4	93.1
原発巣・非治癒切除	45.9	49.8	47.6	52.0	44.9	47.2	44.7	49.7	45.5	48.7	47.0	50.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	65.6	71.7	66.3	76.6	69.6	74.2	68.0	79.5	67.2	72.7	68.8	76.4
無	18.4	20.5	19.3	21.7	16.0	17.7	16.3	19.1	17.4	19.3	18.4	20.2

*全体集計には含まれていない

結腸癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	395	37,654	10,465	98.2	71.3
0期*	393	16,232	1,230	96.3	68.7
I期	392	10,424	1,154	98.1	70.7
II期	393	10,269	1,640	98.0	72.5
III期	394	9,179	1,923	98.3	70.8
IV期	395	7,177	5,292	98.6	70.5

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

対象数は、37,654例、うち死亡数が10,465例、打ち切り数が672例で生存状況把握割合は98.2%であった。

(2) 対象者の属性

男性が約55%、女性が約45%を占め、平均年齢は、71.3歳であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I～III期が約25%前後であった。約86%になんらかの観血的治療が実施されていた。

表 3-3②-1 結腸 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	20,612	100.0	17,042	100.0	37,654	100.0
拠点病院等	18,474	89.6	15,321	89.9	33,795	89.8
都道府県推薦病院	2,138	10.4	1,721	10.1	3,859	10.2
年齢						
平均年齢 (SD)	70.9	10.8	71.9	12.2	71.3	11.5
0-14歳	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
15-39歳	191	0.9	212	1.2	403	1.1
40歳代	667	3.2	724	4.2	1,391	3.7
50歳代	1,862	9.0	1,558	9.1	3,420	9.1
60歳代	5,805	28.2	4,096	24.0	9,901	26.3
70歳代	7,587	36.8	5,421	31.8	13,008	34.5
80歳以上	4,499	21.8	5,031	29.5	9,530	25.3
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	10,561	-	5,671	-	16,232	-
I期	6,253	30.3	4,171	24.5	10,424	27.7
II期	5,542	26.9	4,727	27.7	10,269	27.3
III期	4,728	22.9	4,451	26.1	9,179	24.4
IV期	3,767	18.3	3,410	20.0	7,177	19.1
不詳	322	1.6	283	1.7	605	1.6
観血的治療						
有	17,849	86.6	14,594	85.6	32,443	86.2
原発巣・治癒切除	16,193	78.6	13,185	77.4	29,378	78.0
原発巣・非治癒切除	1,419	6.9	1,218	7.1	2,637	7.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	237	1.1	191	1.1	428	1.1
無	2,763	13.4	2,448	14.4	5,211	13.8
発見経緯						
がん検診	2,182	10.6	1,996	11.7	4,178	11.1
健康診断・人間ドック	1,890	9.2	1,365	8.0	3,255	8.6
他疾患経過観察中	6,259	30.4	4,285	25.1	10,544	28.0
その他・不明	10,281	49.9	9,396	55.1	19,677	52.3

*全体集計には含まれていない

(3)3年生存率

表 3-3②-2 結腸に、属性別 3 年実測生存率と相対生存率を示す。年齢が高くなるほど実測生存率と相対生存率の差に乖離が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなることが影響していると考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に見ると、I 期、II 期では相対生存率は 90%以上であった。

表 3-3②-2 結腸 属性別 3 年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間
全体	71.5	79.0	78.4 79.7	72.6	77.6	76.8 78.3	72.0	78.4	77.9 78.9
拠点病院等	71.6	79.1	78.4 79.8	72.8	77.7	76.9 78.5	72.1	78.5	77.9 79.0
都道府県推薦病院	70.6	78.6	76.4 80.7	70.7	76.2	73.8 78.4	70.6	77.5	75.9 79.1
年齢									
15-39 歳	82.9	83.1	76.8 87.8	75.9	76.0	69.5 81.3	79.2	79.3	75.0 83.0
40 歳代	80.3	80.7	77.4 83.6	80.0	80.3	77.1 83.0	80.1	80.5	78.3 82.5
50 歳代	80.3	81.5	79.6 83.3	81.9	82.5	80.5 84.3	81.0	81.9	80.6 83.2
60 歳代	78.8	81.8	80.7 82.9	80.4	81.6	80.4 82.8	79.4	81.7	80.9 82.5
70 歳代	72.5	79.4	78.3 80.5	77.2	80.5	79.3 81.6	74.4	79.9	79.0 80.7
80 歳以上	54.8	73.0	71.0 74.9	57.0	68.6	67.0 70.3	55.9	70.6	69.4 71.9
UICC TNM 総合ステージ									
0 期*	91.0	98.6	98.0 99.2	94.6	98.9	98.2 99.5	92.3	98.7	98.3 99.1
I 期	86.9	95.5	94.6 96.4	91.7	97.2	96.3 98.1	88.8	96.2	95.5 96.9
II 期	81.9	91.9	90.8 93.0	86.2	93.1	92.0 94.1	83.9	92.5	91.7 93.2
III 期	78.1	86.0	84.7 87.3	79.7	85.1	83.8 86.3	78.9	85.6	84.6 86.5
IV 期	26.2	28.5	27.0 30.0	24.9	26.2	24.7 27.8	25.6	27.4	26.3 28.5
不詳	23.8	28.3	22.8 34.0	22.1	26.0	20.5 32.0	23.0	27.2	23.3 31.3
観血的治療									
有	80.4	88.7	88.0 89.3	82.3	87.7	87.0 88.3	81.3	88.2	87.7 88.7
原発巣・治癒切除	84.1	92.8	92.2 93.4	86.4	92.0	91.4 92.6	85.1	92.5	92.0 92.9
原発巣・非治癒切除	41.4	45.3	42.5 48.1	40.8	43.0	40.1 45.9	41.1	44.2	42.2 46.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	57.6	63.5	56.2 70.2	67.0	71.8	64.1 78.4	61.8	67.3	62.1 72.1
無	13.4	15.2	13.7 16.7	13.8	15.3	13.8 16.9	13.6	15.2	14.2 16.3

*全体集計には含まれていない

直腸癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	396	19,474	4,850	98.4	67.8
0期*	388	5,527	392	96.0	67.4
I期	393	5,239	516	98.5	67.7
II期	390	4,395	605	98.5	69.0
III期	391	5,795	1,136	98.4	67.0
IV期	390	3,759	2,383	98.3	67.0

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

対象数は、19,474例、うち死亡数が4,850例、打ち切り数が311例で生存状況把握割合は98.4%であった。

(2) 対象者の属性

男性が約65%、女性が約35%を占め、平均年齢は、67.8歳であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、III期が約35%であった。約99%に
なんらかの観血的治療が実施されていた。

表 3-3③-1 直腸 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	12,625	100.0	6,849	100.0	19,474	100.0
拠点病院等	11,400	90.3	6,201	161.1	17,601	106.8
都道府県推薦病院	1,225	9.7	648	16.8	1,873	11.4
年齢						
平均年齢 (SD)	67.5	11.1	68.2	12.5	67.8	11.6
15-39歳	174	1.4	111	2.9	285	1.7
40歳代	648	5.1	430	11.2	1,078	6.5
50歳代	1,801	14.3	1,051	27.3	2,852	17.3
60歳代	4,386	34.7	1,947	50.6	6,333	38.4
70歳代	3,957	31.3	1,985	51.6	5,942	36.1
80歳以上	1,659	13.1	1,325	34.4	2,984	18.1
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期*	3,696	-	1,831	-	5,527	-
I期	3,291	26.1	1,948	50.6	5,239	31.8
II期	2,994	23.7	1,401	36.4	4,395	26.7
III期	3,681	29.2	2,114	54.9	5,795	35.2
IV期	2,480	19.6	1,279	33.2	3,759	22.8
不詳	179	1.4	107	2.8	286	1.7
観血的治療						
有	10,510	83.2	5,793	150.5	16,303	99.0
原発巣・治癒切除	9,454	74.9	5,245	136.3	14,699	89.2
原発巣・非治癒切除	896	7.1	459	11.9	1,355	8.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	160	1.3	89	2.3	249	1.5
無	2,115	16.8	1,056	27.4	3,171	19.2
発見経緯						
がん検診	1,131	9.0	647	16.8	1,778	10.8
健康診断・人間ドック	1,160	9.2	495	12.9	1,655	10.0
他疾患経過観察中	2,349	18.6	1,060	27.5	3,409	20.7
その他・不明	7,985	63.2	4,647	120.7	12,632	76.7

*全体集計には含まれていない

(3)3年生存率

表 3-3③-2 直腸に、属性別 3 年実測生存率と相対生存率を示す。年齢が高くなるほど実測生存率と相対生存率の差に乖離が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなることが影響していると考えらる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体ではⅠ期、Ⅱ期では相対性生存率は 90%以上であった。

表 3-3③-2 直腸 属性別 3 年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間
全体	73.7	79.4	78.6 80.2	77.1	80.8	79.8 81.9	74.9	79.9	79.3 80.6
拠点病院等	73.8	79.5	78.6 80.3	77.3	80.9	79.8 82.0	75.0	80.0	79.3 80.7
都道府県推薦病院	72.8	78.8	76.0 81.4	76.1	80.0	76.3 83.3	73.9	79.2	77.0 81.3
年齢									
15-39 歳	85.3	85.5	79.2 90.0	87.2	87.3	79.5 92.4	86.0	86.2	81.6 89.8
40 歳代	85.3	85.8	82.8 88.3	85.0	85.3	81.5 88.3	85.2	85.6	83.3 87.6
50 歳代	81.9	83.1	81.2 84.9	87.0	87.6	85.4 89.5	83.8	84.8	83.3 86.1
60 歳代	77.8	80.7	79.4 82.0	84.6	85.9	84.1 87.4	79.9	82.3	81.3 83.3
70 歳代	71.5	78.1	76.6 79.7	78.0	81.3	79.3 83.2	73.7	79.2	78.0 80.4
80 歳以上	53.3	70.6	67.4 73.8	53.5	64.0	60.7 67.2	53.3	67.6	65.3 69.9
UICC TNM 総合ステージ									
0 期*	91.2	98.0	96.9 98.9	95.9	100.0	99.2 100.0	92.8	98.7	98.0 99.4
Ⅰ期	88.5	95.7	94.4 96.8	92.8	96.9	95.6 98.0	90.1	96.1	95.2 97.0
Ⅱ期	85.3	92.8	91.4 94.2	87.8	93.0	91.0 94.7	86.1	92.9	91.7 93.9
Ⅲ期	79.2	84.8	83.4 86.2	82.0	85.7	83.9 87.3	80.2	85.1	84.0 86.2
Ⅳ期	34.6	36.8	34.8 38.8	38.5	39.9	37.1 42.7	35.9	37.9	36.3 39.5
不詳	30.5	34.9	27.3 42.8	15.1	17.9	10.6 27.0	24.8	28.7	23.0 34.7
観血的治療									
有	83.4	89.7	88.9 90.4	87.1	90.92	89.99 91.8	84.7	90.1	89.5 90.7
原発巣・治癒切除	86.4	92.9	92.1 93.6	90.1	94.0	93.1 94.8	87.7	93.3	92.7 93.9
原発巣・非治癒切除	53.0	56.8	53.2 60.2	55.9	58.0	53.2 62.6	54.0	57.2	54.3 60.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	77.3	83.6	75.7 89.8	75.0	79.2	68.2 87.4	76.5	82.0	75.8 87.1
無	24.9	27.2	25.2 29.3	21.3	23.1	20.4 25.9	23.7	25.9	24.2 27.5

*全体集計には含まれていない

4. 肝細胞癌と肝内胆管癌

肝細胞癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	395	14,431	6,359	98.2	72.0
I期	382	6,669	1,834	98.1	72.3
II期	379	4,137	1,624	98.3	71.8
III期	360	2,307	1,721	98.1	72.2
IV期	330	1,056	968	98.0	70.3

(1) 生存状況把握割合

対象者は、14,431例で、そのうち3年以内に死亡していたのは、6,359例、打ち切りが265例であった。全体として、生存状況把握割合は98.2%であった。

男性が約71%を占めた。年代をみると、70歳代が最も多く男性で37.7%、女性は41.1%を占めた。UICC TNM総合ステージ別にみると、全体でI期が46.2%、II期が28.7%、III期が16.0%となっていた。28.1%に観血的治療が実施されていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が約71%を占めた。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-4①-1に示す。性別にみると、

表3-4①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	10,220	100.0	4,211	100.0	14,431	100.0
拠点病院等	9,359	91.6	3,854	91.5	13,213	91.6
都道府県推薦病院	861	8.4	357	8.5	1,218	8.4
年齢						
平均年齢 (SD)	70.9	9.9	74.8	9.3	72.0	9.9
0-15歳	0	0.0	(1-3)		(1-3)	
15-39歳	39	0.4	18	0.4	57	0.4
40歳代	256	2.5	53	1.3	309	2.1
50歳代	989	9.7	170	4.0	1,159	8.0
60歳代	2,973	29.1	817	19.4	3,790	26.3
70歳代	3,858	37.7	1,731	41.1	5,589	38.7
80歳以上	2,105	20.6	1,421	33.7	3,526	24.4
UICC TNM分類総合ステージ						
I期	4,472	43.8	2,197	52.2	6,669	46.2
II期	2,964	29.0	1,173	27.9	4,137	28.7
III期	1,799	17.6	508	12.1	2,307	16.0
IV期	811	7.9	245	5.8	1,056	7.3
不詳	174	1.7	88	2.1	262	1.8
取扱い規約治療前ステージ						
I期	1,987	19.4	1,237	29.4	3,224	22.3
II期	3,765	36.8	1,573	37.4	5,338	37.0
III期	2,468	24.1	773	18.4	3,241	22.5
IV期	1,652	16.2	478	11.4	2,130	14.8
不詳	278	2.7	108	2.6	386	2.7
空欄	70	0.7	42	1.0	112	0.8
観血的治療						
有	3,133	30.7	916	21.8	4,049	28.1
原発巣・治癒切除	2,885	28.2	837	19.9	3,722	25.8
原発巣・非治癒切除	181	1.8	57	1.4	238	1.6
原発巣・治癒/非治癒	67	0.7	22	0.5	89	0.6
の別不詳						
無	7,087	69.3	3,295	78.2	10,382	71.9
発見経緯						
がん検診	48	0.5	11	0.3	59	0.4
健康診断・人間ドック	423	4.1	78	1.9	501	3.5
他疾患経過観察中	7,065	69.1	3,150	74.8	10,215	70.8
その他・不明	2,684	26.3	972	23.1	3,656	25.3

(3)3年生存率

3年生存率を表3-4①-2に示す。全体として、相対生存率は男女ともに約60%とほぼ同様であった。他の部位と比較して、80歳以上を除き年代による実測生存率と相対生存率の差はやや小さくなっており、予後があまり良くないことを示唆している。UICC TNM分類別にみると、I期では相対生存率は全体で約79%である。観血的治療を受けたものの割合は約3割であるが、観血的治療を受けたものの相対生存率は約85%であった。

表3-4①-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	54.6	60.1	59.0	61.1	57.7	61.8	60.2	63.4	55.5	60.6	59.7	61.4
拠点病院等	55.0	60.5	59.3	61.6	58.2	62.3	60.6	63.9	55.9	61.0	60.1	61.9
都道府県推薦病院	49.9	55.6	51.8	59.3	52.9	56.7	51.0	62.2	50.8	55.9	52.8	59.0
年齢												
15-39歳	56.7	56.8	39.4	71.0	-	-			58.2	58.4	44.2	70.1
40歳代	59.2	59.5	53.2	65.3	75.1	75.4	61.3	85.0	61.9	62.3	56.5	67.5
50歳代	61.2	62.1	58.9	65.1	69.7	70.3	62.7	76.6	62.4	63.3	60.4	66.1
60歳代	59.4	61.6	59.7	63.4	64.9	66.0	62.5	69.2	60.6	62.6	60.9	64.2
70歳代	55.4	60.8	59.1	62.5	60.6	63.3	60.8	65.6	57.0	61.6	60.1	63.0
80歳以上	42.6	55.1	52.3	57.8	47.9	55.6	52.6	58.6	44.8	55.3	53.3	57.3
UICC TNM 総合ステージ												
I期	72.8	80.3	78.8	81.7	71.1	76.0	73.9	78.0	72.2	78.9	77.7	80.0
II期	59.9	65.5	63.5	67.4	61.8	66.1	63.0	69.0	60.4	65.7	64.0	67.3
III期	25.2	27.8	25.6	30.0	21.4	23.0	19.3	27.0	24.4	26.7	24.8	28.7
IV期	7.2	7.8	6.0	9.9	6.7	7.1	4.2	10.9	7.1	7.6	6.0	9.4
不詳	18.1	20.3	14.3	27.2	17.2	19.4	11.3	29.3	17.8	20.0	15.0	25.6
取扱い規約治療前ステージ												
I期	77.0	83.8	81.7	85.8	79.0	83.8	81.2	86.1	77.7	83.8	82.2	85.3
II期	67.9	75.1	73.4	76.7	63.0	67.6	65.0	70.1	66.4	72.9	71.4	74.2
III期	45.4	50.0	47.8	52.1	45.9	49.4	45.5	53.1	45.5	49.8	47.9	51.7
IV期	13.3	14.4	12.7	16.3	11.4	12.2	9.3	15.5	12.8	13.9	12.4	15.5
不詳	38.1	42.3	35.9	48.6	23.4	25.5	17.2	34.7	34.0	37.6	32.4	42.9
観血的治療												
有	79.5	86.0	84.4	87.5	79.5	83.5	80.6	86.1	79.5	85.4	84.1	86.8
原発巣・治癒切除	81.1	87.9	86.3	89.4	80.9	84.9	82.0	87.6	81.0	87.2	85.8	88.5
原発巣・非治癒切除	56.9	61.1	52.9	68.5	60.3	63.1	48.3	75.1	57.8	61.5	54.5	68.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	70.1	74.5	61.2	84.6	-	-			71.8	76.0	64.8	84.7
無	43.5	48.3	47.0	49.6	51.7	55.6	53.8	57.5	46.1	50.7	49.6	51.7

肝内胆管癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	368	2,120	1,541	98.3	71.2
I期	171	302	95	98.7	71.3
II期	192	371	207	97.8	71.5
III期	89	121	69	98.3	69.9
IV期	331	1,240	1,097	98.2	70.9

(1) 生存状況把握割合

対象者は、2,120例で、そのうち3年以内に死亡していたのは、1,541例、打ち切りが36例であった。全体として、生存状況把握割合は98.3%であった。

男性が約60%を占めた。年代をみると、70歳代が最も多く37.5%を占めた。UICC TNM総合ステージ別にみると、全体でI期が約14%、II期が約18%、III期が約6%、IV期が約59%と半数以上をIV期が占めた。35.2%に観血的治療が実施されていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が約46%を占めた。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-4②-1に示す。性別にみると、

表3-4②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,278	100.0	842	100.0	2,120	100.0
拠点病院等	1,191	93.2	778	92.4	1,969	92.9
都道府県推薦病院	87	6.8	64	7.6	151	7.1
年齢						
平均年齢 (SD)	70.5	10.1	72.3	11.3	71.2	10.6
15-39歳	(7-9)		11	1.3	18	0.8
40歳代	31	2.4	23	2.7	54	2.5
50歳代	125	9.8	65	7.7	190	9.0
60歳代	399	31.2	200	23.8	599	28.3
70歳代	473	37.0	321	38.1	794	37.5
80歳以上	243	19.0	222	26.4	465	21.9
UICC TNM分類総合ステージ						
I期	191	14.9	111	13.2	302	14.2
II期	239	18.7	132	15.7	371	17.5
III期	66	5.2	55	6.5	121	5.7
IV期	726	56.8	514	61.0	1,240	58.5
不詳	56	4.4	30	3.6	86	4.1
取り扱い規約治療前ステージ						
I期	69	5.4	33	3.9	102	4.8
II期	220	17.2	121	14.4	341	16.1
III期	198	15.5	130	15.4	328	15.5
IV期	611	47.8	437	51.9	1,048	49.4
不詳	108	8.5	66	7.8	174	8.2
空欄	72	5.6	55	6.5	127	6.0
観血的治療						
有	452	35.4	295	35.0	747	35.2
原発巣・治癒切除	381	29.8	247	29.3	628	29.6
原発巣・非治癒切除	57	4.5	40	4.8	97	4.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	14	1.1	(7-9)		22	1.0
無	826	64.6	547	65.0	1,373	64.8
発見経緯						
がん検診	14	1.1	(7-9)		22	1.0
健康診断・人間ドック	100	7.8	53	6.3	153	7.2
他疾患経過観察中	608	47.6	356	42.3	964	45.5
その他・不明	556	43.5	425	50.5	981	46.3

(3)3年生存率

3年生存率を表3-4②-2に示す。全体として、IV期が半数以上を占めていることから相対生存率は男女ともに約28～29%であった。他の部位と比較して、年代による実測生存率と相対生存率の差はやや小さくなっており、予後があまり良くないことを示唆している。UICC TNM 分類別にみると、I期では相対生存率は全体で約73%である。観血的治療を受けたものの割合は約3割であるが、観血的治療を受けたものの相対生存率は約64%であった。

表3-4②-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	26.5	28.8	26.2	31.5	26.5	28.0	24.8	31.2	26.5	28.5	26.5	30.5
拠点病院等	27.4	29.7	27.0	32.5	26.6	28.0	24.7	31.3	27.0	29.0	26.9	31.1
都道府県推薦病院	14.9	16.7	9.4	26.0	26.6	28.4	17.3	40.8	19.5	21.4	14.9	28.9
年齢												
15-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	41.4	41.6	24.2	58.2	-	-			36.5	36.7	24.0	49.4
50歳代	26.9	27.3	19.7	35.4	45.5	45.9	33.1	57.7	33.2	33.6	26.8	40.4
60歳代	34.1	35.4	30.6	40.3	31.2	31.7	25.3	38.3	33.2	34.2	30.3	38.1
70歳代	24.7	27.0	22.9	31.4	27.8	29.0	24.0	34.2	25.9	27.8	24.6	31.2
80歳以上	15.2	19.7	14.2	26.0	14.8	17.3	12.1	23.4	15.0	18.5	14.7	22.8
UICC TNM 総合ステージ												
I期	70.7	76.7	69.1	83.1	64.5	67.8	57.6	76.4	68.4	73.4	67.4	78.7
II期	40.8	44.5	37.6	51.2	48.4	51.1	41.8	59.9	43.5	46.9	41.3	52.3
III期	35.5	38.0	25.9	50.3	50.7	53.1	38.6	66.0	42.5	45.0	35.5	54.1
IV期	9.8	10.6	8.4	13.1	10.9	11.5	8.8	14.6	10.3	11.0	9.2	12.9
不詳	17.9	20.5	10.5	33.1	10.0	10.8	2.8	25.5	15.1	17.0	9.6	26.4
取扱い規約治療前ステージ												
I期	65.2	70.1	56.7	80.8	78.8	82.3	63.3	93.2	69.6	74.1	63.6	82.6
II期	53.7	58.5	51.0	65.4	56.8	60.3	50.3	69.2	54.8	59.1	53.2	64.7
III期	30.3	33.0	26.1	40.1	42.5	44.9	35.8	53.7	35.1	37.7	32.2	43.3
IV期	7.6	8.2	6.1	10.7	9.4	9.9	7.2	13.0	8.4	8.9	7.2	10.8
不詳	40.7	44.7	34.5	54.7	25.5	26.9	16.6	38.4	35.0	37.9	30.3	45.6
観血的治療												
有	60.4	64.9	59.9	69.6	60.5	63.0	56.9	68.6	60.4	64.1	60.3	67.8
原発巣・治癒切除	65.6	70.6	65.2	75.5	62.9	65.7	59.0	71.6	64.6	68.6	64.5	72.5
原発巣・非治癒切除	29.8	31.8	19.9	44.7	44.7	46.5	30.1	61.6	35.9	37.9	28.0	47.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-			-	-			-	-		
無	7.7	8.5	6.6	10.7	7.8	8.3	6.0	10.9	7.7	8.4	6.9	10.1

5. 小細胞肺癌と非小細胞肺癌

小細胞肺癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	372	4,902	4,042	98.9	70.9
I期	200	397	191	99.2	72.4
II期	195	359	212	99.4	71.3
III期	324	1,329	979	98.6	69.8
IV期	361	2,762	2,613	98.9	71.2

(1) 生存状況把握割合

対象者は、4,902例で、そのうち3年以内に死亡していた者は、4,042例、打ち切りが55例で、全体として生存状況把握割合は98.9%であった。

TNM分類総合ステージ別にみると、全体としてIV期が約56%、次いでIII期が約27%であった。病期分布に男女でほぼ同様であった。観血的治療実施を受けた者の割合は、非小細胞肺癌と比較して低く、約10%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約31%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-5①-1に示す。対象者は、男性が80.6%を占め、70歳代が最も多かった。UICC

表3-5①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	3,949	100.0	953	100.0	4,902	100.0
拠点病院等	3,623	91.7	876	91.9	4,499	91.8
都道府県推薦病院	326	8.3	77	8.1	403	8.2
年齢						
平均年齢 (SD)	71.0	8.4	70.8	8.5	70.9	8.4
15-39歳	(1-3)		(1-3)		(4-6)	
40歳代	43	1.1	13	1.4	56	1.1
50歳代	292	7.4	64	6.7	356	7.3
60歳代	1,309	33.1	330	34.6	1,639	33.4
70歳代	1,667	42.2	395	41.4	2,062	42.1
80歳以上	635	16.1	148	15.5	783	16.0
UICC TNM 分類総合ステージ						
I期	334	8.5	63	6.6	397	8.1
II期	285	7.2	74	7.8	359	7.3
III期	1,065	27.0	264	27.7	1,329	27.1
IV期	2,221	56.2	541	56.8	2,762	56.3
不詳	44	1.1	11	1.2	55	1.1
観血的治療						
有	398	10.1	85	8.9	483	9.9
原発巣・治癒切除	362	9.2	78	8.2	440	9.0
原発巣・非治癒切除	22	0.6	(4-6)		27	0.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	14	0.4	(1-3)		16	0.3
無	3,551	89.9	868	91.1	4,419	90.1
発見経緯						
がん検診	171	4.3	25	2.6	196	4.0
健康診断・人間ドック	398	10.1	59	6.2	457	9.3
他疾患経過観察中	1,257	31.8	272	28.5	1,529	31.2
その他・不明	2,123	53.8	597	62.6	2,720	55.5

(3)3年生存率

3年生存率を表3-5①-2に示す。全体での3年相対生存率は、IV期が半数以上を占めることから低く約18%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期では相対生存率が50%を超えていた。観血的治療を受けた者の割合は少ないが、相対生存率は55.2%であった。

表3-5①-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	15.7	17.0	15.8	18.2	21.7	22.5	19.8	25.3	16.9	18.1	17.0	19.2
拠点病院等	16.3	17.6	16.4	19.0	21.5	22.3	19.5	25.2	17.3	18.6	17.4	19.8
都道府県推薦病院	8.8	9.7	6.6	13.4	23.8	24.6	15.5	34.9	11.7	12.6	9.5	16.3
年齢												
15-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	21.6	21.7	10.8	35.2	-	-			27.4	27.5	16.5	39.7
50歳代	24.8	25.2	20.3	30.5	32.8	33.1	21.9	44.6	26.3	26.7	22.1	31.4
60歳代	19.6	20.3	18.1	22.6	25.3	25.7	21.0	30.6	20.7	21.4	19.4	23.5
70歳代	14.4	15.8	14.0	17.7	19.8	20.6	16.7	24.9	15.5	16.7	15.1	18.5
80歳以上	6.4	8.2	6.0	10.9	10.8	12.4	7.4	18.8	7.2	9.0	6.9	11.5
UICC TNM 総合ステージ												
I期	50.6	56.0	49.9	61.8	57.1	60.0	46.3	71.7	51.7	56.7	51.1	61.9
II期	37.5	40.6	34.5	46.6	53.7	56.3	43.7	67.4	40.8	43.8	38.3	49.3
III期	23.6	25.4	22.6	28.2	33.8	34.9	29.1	40.9	25.6	27.3	24.8	29.8
IV期	3.8	4.1	3.3	5.0	7.4	7.7	5.6	10.2	4.5	4.8	4.0	5.7
不詳	14.1	15.3	6.2	28.4	-	-			13.1	14.1	6.2	25.3
観血的治療												
有	48.6	52.7	47.2	57.9	63.5	66.3	54.7	76.0	51.3	55.2	50.2	59.9
原発巣・治癒切除	51.3	55.5	49.8	61.0	65.4	68.4	56.2	78.2	53.8	57.8	52.7	62.7
原発巣・非治癒切除	-	-			-	-			-	-		
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-			-	-			-	-		
無	12.0	13.0	11.8	14.2	17.5	18.2	15.6	20.9	13.1	14.0	13.0	15.1

非小細胞肺癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	397	52,180	24,094	98.5	71.1
0期*	98	287	20	98.6	67.1
I期	383	22,339	3,535	98.5	71.0
II期	367	4,546	1,701	98.4	71.5
III期	383	8,502	5,033	98.6	70.2
IV期	395	15,938	13,148	98.4	71.1

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

対象者は、52,180例で、そのうち3年以内に死亡していた者は、24,094例、打ち切りが791例で、全体として生存状況把握割合は98.5%であった。

TNM分類総合ステージ別にみると、全体としてI期が約43%、次いでIV期が約31%であった。病期分布にやや女性でI期の割合が男性より多かった。観血的治療を受けた者の割合は、小細胞肺癌と比較して多く、48.5%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約42%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-5②-1に示す。対象者は、男性が66.2%を占め、70歳代が最も多かった。UICC

表3-5②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	34,518	100.0	17,662	100.0	52,180	100.0
拠点病院等	31,975	92.6	16,424	93.0	48,399	92.8
都道府県推薦病院	2,543	7.4	1,238	7.0	3,781	7.2
年齢						
平均年齢 (SD)	71.3	9.8	70.7	10.7	71.1	10.1
0-14歳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
15-39歳	166	0.5	162	0.9	328	0.6
40歳代	767	2.2	570	3.2	1,337	2.6
50歳代	2,675	7.7	1,646	9.3	4,321	8.3
60歳代	10,421	30.2	5,138	29.1	15,559	29.8
70歳代	13,417	38.9	6,528	37.0	19,945	38.2
80歳以上	7,071	20.5	3,617	20.5	10,688	20.5
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期*	132	-	155	-	287	-
I期	13,036	37.8	9,303	52.7	22,339	42.8
II期	3,398	9.8	1,148	6.5	4,546	8.7
III期	6,508	18.9	1,994	11.3	8,502	16.3
IV期	10,950	31.7	4,988	28.2	15,938	30.5
不詳	626	1.8	229	1.3	855	1.6
観血的治療						
有	15,199	44.0	10,092	57.1	25,291	48.5
原発巣・治癒切除	14,302	41.4	9,726	55.1	24,028	46.0
原発巣・非治癒切除	697	2.0	293	1.7	990	1.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	200	0.6	73	0.4	273	0.5
無	19,319	56.0	7,570	42.9	26,889	51.5
発見経緯						
がん検診	2,088	6.0	1,521	8.6	3,609	6.9
健康診断・人間ドック	4,342	12.6	2,420	13.7	6,762	13.0
他疾患経過観察中	14,527	42.1	7,620	43.1	22,147	42.4
その他・不明	13,561	39.3	6,101	34.5	19,662	37.7

*全体集計には含まれていない

(3)3年生存率

3年生存率を表3-5②-2に示す。全体での3年相対生存率は、男性が50.9%、女性が70.6%と女性でやや高かった。UICC TNM分類総合ステージ別にみても、やや男性より女性で相対生存率が高い傾向にあった。観血的治療を受けた者(原発巣・治癒切除)では相対生存率は男女とも80%を超えていた。

表3-5②-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	46.4	50.9	50.3	51.5	67.3	70.6	69.8	71.3	53.5	57.7	57.2	58.1
拠点病院等	47.1	51.6	51.0	52.2	68.0	71.3	70.5	72.0	54.2	58.4	57.9	58.9
都道府県推薦病院	37.8	41.8	39.7	43.9	58.0	61.3	58.3	64.1	44.4	48.3	46.6	50.0
年齢												
15-39歳	60.1	60.2	52.2	67.3	73.1	73.2	65.4	79.4	66.5	66.6	61.1	71.5
40歳代	58.3	58.7	55.1	62.1	76.8	77.1	73.4	80.4	66.3	66.6	63.9	69.0
50歳代	58.9	59.7	57.8	61.6	78.3	78.8	76.8	80.8	66.3	67.1	65.6	68.5
60歳代	53.1	55.1	54.1	56.1	75.1	76.3	75.0	77.5	60.3	62.2	61.4	63.0
70歳代	46.9	51.3	50.4	52.2	68.8	71.7	70.5	72.8	54.1	58.1	57.3	58.8
80歳以上	29.1	38.1	36.7	39.5	46.8	54.4	52.5	56.3	35.1	43.8	42.7	45.0
UICC TNM 総合ステージ												
0期*	88.6	94.3	87.0	98.9	96.8	99.5	95.0	100.0	93.0	97.1	93.3	99.7
I期	78.1	86.1	85.3	86.9	92.4	96.6	96.0	97.2	84.1	90.6	90.1	91.1
II期	58.5	64.3	62.4	66.1	73.3	77.1	74.3	79.7	62.2	67.6	66.0	69.1
III期	36.0	38.9	37.7	40.2	54.4	56.7	54.3	58.9	40.3	43.1	42.0	44.3
IV期	12.5	13.5	12.9	14.2	25.6	26.9	25.6	28.2	16.6	17.8	17.1	18.4
不詳	16.8	20.3	16.9	24.0	28.4	32.1	25.6	38.9	19.9	23.6	20.5	26.8
観血的治療												
有	78.8	85.3	84.6	86.0	92.6	96.0	95.5	96.5	84.3	89.6	89.2	90.1
原発巣・治癒切除	80.4	87.0	86.3	87.7	93.2	96.7	96.1	97.2	85.6	91.0	90.5	91.5
原発巣・非治癒切除	50.5	54.4	50.3	58.4	71.2	73.9	68.1	79.0	56.6	60.3	56.9	63.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	63.6	68.8	61.1	75.6	91.6	95.1	85.4	99.8	71.1	76.0	69.7	81.3
無	20.7	23.1	22.5	23.8	33.3	35.7	34.5	36.8	24.2	26.7	26.1	27.3

*全体集計には含まれていない

6. 女性乳癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	393	42,939	2,990	98.4	60.3
0期*	369	6,343	114	98.2	57.3
I期	389	19,704	480	98.5	60.3
II期	391	15,611	719	98.4	60.0
III期	383	4,950	654	98.0	60.8
IV期	373	2,478	1,068	97.8	60.8

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、42,939例で、3年以内に亡くなっていたのが2,990例、打ち切りが701例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は98.4%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-6-1に示す。診断時の年齢をみると、60歳代が最も多く、次いで40、50歳代であった。また、35歳未満は、721例であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期が最も多く約46%、次いでII期が約36%であった。観血的治療の実施割合は、約88%であった。発見経緯を見ると、大腸や肺と比較してがん検診がやや多かった。

表3-6-1 対象者の属性

	対象数	(%)
全体	42,939	100.0
拠点病院等	39,686	92.4
都道府県推薦病院	3,253	7.6
年齢		
平均年齢 (SD)	60.3	13.9
15-39歳	2,226	5.2
40歳代	9,317	21.7
50歳代	8,730	20.3
60歳代	10,722	25.0
70歳代	8,016	18.7
80歳以上	3,928	9.1
35歳未満 (再掲)	721	1.7
UICC TNM 分類総合ステージ		
0期*	6,343	-
I期	19,704	45.9
II期	15,611	36.4
III期	4,950	11.5
IV期	2,478	5.8
不詳	196	0.5
観血的治療		
有	37,669	87.7
原発巣・治癒切除	35,179	81.9
原発巣・非治癒切除	1,835	4.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	655	1.5
無	5,270	12.3
発見経緯		
がん検診	8,648	20.1
健康診断・人間ドック	2,253	5.2
他疾患経過観察中	6,298	14.7
その他・不明	25,740	59.9

*全体集計には含まれていない

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-6-2に示す。全体として、相対生存率は95.7%であり、どの年代においても相対生存率は90%を超えていた。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期、II期では相対生存率は95%以上であるが、IV期では約58%にとどまった。なお、観血的治療実施を受けた者では、治癒切除・非治癒切除に関わらず相対生存率は95%を超えていた。

表3-6-2 属性別3年相対生存率

	女性			
	実測	相対	95%信頼区間	
全体	93.0	95.7	95.4	95.9
拠点病院等	93.0	95.7	95.4	95.9
都道府県推薦病院	92.4	95.6	94.6	96.5
年齢				
15-39歳	94.5	94.6	93.6	95.5
40歳代	96.7	97.1	96.7	97.4
50歳代	94.8	95.5	95.0	95.9
60歳代	93.8	95.2	94.7	95.6
70歳代	91.5	95.2	94.6	95.9
80歳以上	79.8	95.6	94.0	97.1
35歳未満 (再掲)	92.5	92.6	90.4	94.3
UICC TNM 総合ステージ				
0期*	98.2	100.0	99.8	100.0
I期	97.5	100.0	99.9	100.0
II期	95.4	98.2	97.8	98.5
III期	86.6	89.5	88.5	90.5
IV期	56.3	57.8	55.7	59.8
不詳	64.2	73.0	64.8	80.2
観血的治療				
有				
原発巣・治癒切除	96.5	98.9	98.8	99.1
原発巣・非治癒切除	96.7	99.2	99.0	99.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	92.6	95.2	93.9	96.3
無	93.2	96.1	93.8	97.9
無	67.6	71.5	70.1	72.8

*全体集計には含まれていない

7. 食道癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	392	14,166	6,692	98.2	69.6
0期*	305	1,990	246	98.0	70.0
I期	368	5,932	1,101	98.0	69.7
II期	325	1,643	747	99.1	69.8
III期	365	3,903	2,593	98.3	69.5
IV期	350	2,392	2,046	98.2	68.9

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、14,166例で、3年以内に亡くなっていたのが6,692例、打ち切りが248例であった。全体として生存状況把握割合は、98.2%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-7-1に示す。集計対象のうち男性が約84%、女性が約16%であった。年齢分布をみると、60歳代が34.2%、70歳代が37.5%と多かった。UICC TNM分類総合ステージをみると、I期が最も多く約42%、次いでIII期が約28%、IV期が約17%、II期が約12%であった。観血的治療の実施割合は全体で約52%であり、約47%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約29%であった。

表3-7-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	11,963	100.0	2,203	100.0	14,166	100.0
拠点病院等	11,446	95.7	2,104	95.5	13,550	95.7
都道府県推薦病院	517	4.3	99	4.5	616	4.3
年齢						
平均年齢 (SD)	69.7	9.0	69.1	11.1	69.6	9.4
15-39歳	17	0.1	12	0.5	29	0.2
40歳代	225	1.9	99	4.5	324	2.3
50歳代	1,294	10.8	292	13.3	1,586	11.2
60歳代	4,154	34.7	696	31.6	4,850	34.2
70歳代	4,606	38.5	711	32.3	5,317	37.5
80歳以上	1,667	13.9	393	17.8	2,060	14.5
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	1,641	-	349	-	1,990	-
I期	5,081	42.5	851	38.6	5,932	41.9
II期	1,369	11.4	274	12.4	1,643	11.6
III期	3,231	27.0	672	30.5	3,903	27.6
IV期	2,035	17.0	357	16.2	2,392	16.9
不詳	247	2.1	49	2.2	296	2.1
観血的治療						
有	6,197	51.8	1,179	53.5	7,376	52.1
原発巣・治癒切除	5,535	46.3	1,067	48.4	6,602	46.6
原発巣・非治癒切除	516	4.3	88	4.0	604	4.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	146	1.2	24	1.1	170	1.2
無	5,766	48.2	1,024	46.5	6,790	47.9
発見経緯						
がん検診	458	3.8	73	3.3	531	3.7
健康診断・人間ドック	1,136	9.5	148	6.7	1,284	9.1
他疾患経過観察中	3,594	30.0	510	23.2	4,104	29.0
その他・不明	6,775	56.6	1,472	66.8	8,247	58.2

*全体集計には含まれていない

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-7-2に示す。全体での相対生存率は、56.3%であり、男性が約56%、女性が約60%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、3年相対生存率はⅠ期が約88%、Ⅱ期が約58%、Ⅲ期が約35%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約81%であり、その内原発巣・治癒切除例の相対生存率は約83%であった。男女における併存症など対象者の個人属性の違いが定かではないが、UICC TNM分類総合ステージ別にみると男性より女性で若干相対生存率が高い傾向が認められた。

表3-7-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	51.4	55.6	54.6	56.5	57.4	59.9	57.7	62.1	52.3	56.3	55.4	57.1
拠点病院等	51.8	56.0	55.0	57.0	58.0	60.5	58.3	62.7	52.7	56.7	55.8	57.6
都道府県推薦病院	42.8	46.6	41.9	51.2	44.5	46.9	36.3	56.9	43.0	46.6	42.3	50.9
年齢												
15-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	59.4	59.8	53.0	65.9	61.8	62.0	51.5	70.9	60.1	60.4	54.8	65.6
50歳代	59.2	60.1	57.3	62.8	62.7	63.1	57.2	68.4	59.8	60.6	58.1	63.1
60歳代	55.4	57.5	55.9	59.1	64.3	65.3	61.5	68.8	56.6	58.6	57.2	60.1
70歳代	51.1	55.7	54.1	57.3	58.7	61.1	57.2	64.8	52.1	56.4	55.0	57.9
80歳以上	35.2	45.5	42.5	48.5	37.8	44.6	38.8	50.3	35.7	45.3	42.7	48.0
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	86.0	93.5	91.6	95.3	94.5	98.3	95.2	100.0	87.5	94.4	92.7	95.9
Ⅰ期	80.4	87.3	86.1	88.5	86.0	89.7	87.1	92.0	81.2	87.6	86.5	88.7
Ⅱ期	52.7	56.9	54.0	59.7	62.2	65.0	58.6	70.7	54.3	58.2	55.6	60.8
Ⅲ期	31.0	33.3	31.6	35.1	41.7	43.5	39.6	47.4	32.8	35.1	33.5	36.7
Ⅳ期	12.4	13.3	11.8	14.9	19.0	19.7	15.6	24.2	13.4	14.2	12.8	15.8
不詳	31.2	34.8	28.5	41.4	24.5	27.4	15.2	41.4	30.1	33.6	27.8	39.5
観血的治療												
有	75.9	81.2	80.1	82.4	80.5	83.2	80.7	85.4	76.7	81.6	80.5	82.6
原発巣・治癒切除	77.6	83.0	81.8	84.2	82.1	84.8	82.2	87.0	78.4	83.3	82.2	84.3
原発巣・非治癒切除	60.7	65.4	60.7	69.8	63.0	65.4	53.9	74.9	61.1	65.4	61.1	69.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	64.0	69.3	60.2	77.1	-	-			65.6	70.5	62.2	77.6
無	24.8	27.3	26.1	28.6	30.2	32.1	29.0	35.1	25.6	28.1	26.9	29.2

*全体集計には含まれていない

8. 膵臓癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	394	16,390	13,291	98.6	71.2
0期*	141	324	29	97.8	70.0
I期	327	1,241	497	98.3	71.3
II期	384	4,976	3,334	98.5	71.4
III期	363	2,087	1,769	98.4	70.9
IV期	390	7,622	7,281	98.9	70.8

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、16,390例で、3年以内に亡くなっていたのが13,291例、打ち切りが222例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は98.6%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-8-1に示す。集計対象者は、男性が約55%、女性が約45%であった。診断時の年齢分布は、70歳代が約36%と最も多く、次いで60歳代が約29%、80歳以上が約22%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、IV期が最も多く46.5%、次いでII期が30.4%、III期が12.7%であった。観血的治療の実施割合は、男女ともに28~29%であった。全体で24.0%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約31%であった。

表3-8-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	9,086	100.0	7,304	100.0	16,390	100.0
拠点病院等	8,392	92.4	6,691	91.6	15,083	92.0
都道府県推薦病院	694	7.6	613	8.4	1,307	8.0
年齢						
平均年齢 (SD)	70.3	10.3	72.3	10.7	71.2	10.5
0-14歳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
15-39歳	54	0.6	42	0.6	96	0.6
40歳代	265	2.9	180	2.5	445	2.7
50歳代	936	10.3	596	8.2	1,532	9.3
60歳代	2,847	31.3	1,877	25.7	4,724	28.8
70歳代	3,266	35.9	2,695	36.9	5,961	36.4
80歳以上	1,716	18.9	1,913	26.2	3,629	22.1
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	218	-	106	-	324	-
I期	634	7.0	607	8.3	1,241	7.6
II期	2,762	30.4	2,214	30.3	4,976	30.4
III期	1,146	12.6	941	12.9	2,087	12.7
IV期	4,299	47.3	3,323	45.5	7,622	46.5
不詳	245	2.7	219	3.0	464	2.8
観血的治療						
有	2,653	29.2	2,102	28.8	4,755	29.0
原発巣・治癒切除	2,174	23.9	1,757	24.1	3,931	24.0
原発巣・非治癒切除	405	4.5	284	3.9	689	4.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	74	0.8	61	0.8	135	0.8
無	6,433	70.8	5,202	71.2	11,635	71.0
発見経緯						
がん検診	52	0.6	41	0.6	93	0.6
健康診断・人間ドック	461	5.1	292	4.0	753	4.6
他疾患経過観察中	2,950	32.5	2,103	28.8	5,053	30.8
その他・不明	5,623	61.9	4,868	66.6	10,491	64.0

*全体集計には含まれていない

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-8-2に示す。3年相対生存率は、全体で約19%であった。肝や肺と同様、実測生存率と相対生存率の差は他の部位と比較して小さく、予後があまり良くないがんと考えられる。年代別にみても、実測生存率、相対生存率はほぼ同程度であった。但し、15-39歳では対象者数がやや少なく95%信頼区間の幅が広がっている点に留意する必要がある。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、相対生存率はI期が約64%、II期が約35%、III期が約13%、IV期が約3%であった。観血治療を受けた者の相対生存率は約51%であり、原発巣・治癒切除例のみをみても相対生存率は約56%にとどまった。

表3-8-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	17.7	19.1	18.3	20.0	18.7	19.7	18.7	20.6	18.1	19.4	18.8	20.0
拠点病院等	17.9	19.4	18.5	20.3	19.2	20.1	19.1	21.1	18.5	19.7	19.1	20.4
都道府県推薦病院	14.5	15.8	13.0	18.8	13.9	14.8	12.0	17.9	14.2	15.3	13.3	17.5
年齢												
15-39歳	42.0	42.1	28.7	54.8	60.9	61.0	44.3	74.1	50.0	50.1	39.6	59.8
40歳代	28.6	28.8	23.4	34.4	38.6	38.7	31.6	45.8	32.7	32.9	28.5	37.3
50歳代	22.0	22.3	19.6	25.1	27.1	27.2	23.7	30.9	23.9	24.2	22.1	26.4
60歳代	20.8	21.6	20.0	23.1	24.4	24.8	22.8	26.8	22.2	22.9	21.6	24.1
70歳代	18.1	19.8	18.4	21.3	18.5	19.2	17.7	20.8	18.3	19.5	18.5	20.6
80歳以上	6.7	8.7	7.3	10.4	8.1	9.5	8.1	11.1	7.4	9.2	8.1	10.3
UICC TNM 分類総合ステージ												
0期*	91.6	98.8	93.8	100.0	89.6	93.5	85.5	98.1	91.0	97.0	93.0	99.8
I期	57.5	63.6	59.2	67.8	61.8	65.3	61.0	69.2	59.6	64.4	61.4	67.3
II期	32.4	35.1	33.2	37.0	32.3	33.9	31.8	36.0	32.3	34.6	33.2	36.0
III期	14.6	15.7	13.6	18.0	13.3	13.9	11.7	16.3	14.0	14.9	13.3	16.5
IV期	3.5	3.7	3.1	4.3	3.7	3.8	3.2	4.5	3.6	3.8	3.3	4.2
不詳	8.8	10.0	6.4	14.6	12.7	14.0	9.5	19.4	10.7	11.9	9.0	15.3
観血的治療												
有	46.8	50.2	48.1	52.2	50.5	52.4	50.1	54.6	48.5	51.2	49.7	52.7
原発巣・治癒切除	51.6	55.3	53.0	57.5	53.8	55.8	53.3	58.2	52.6	55.5	53.9	57.2
原発巣・非治癒切除	21.7	23.2	19.0	27.6	30.1	31.3	25.9	37.0	25.2	26.6	23.2	30.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	44.0	46.9	34.6	58.6	49.6	51.8	38.0	64.2	46.5	49.1	40.0	57.8
無	5.5	6.0	5.4	6.6	5.7	6.1	5.4	6.8	5.6	6.0	5.6	6.5

*全体集計には含まれていない

9. 子宮頸癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	342	6,968	1,490	97.1	54.8
0期*	351	13,008	45	88.7	40.5
I期	329	3,078	121	96.4	48.9
II期	246	1,142	185	98.2	60.2
III期	256	1,641	485	97.7	57.9
IV期	249	1,023	660	97.5	60.3

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、6,968例で、3年以内に亡くなっていたのは1,490例、打ち切りが202例であった。全体の生存状況把握割合は約97%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-9-1に示す。診断時の年齢を見ると、40歳代が多かった。UICC TNM分類総合ステージは、I期が約44%と最も多く、次いでIII期が約23%、II期が約16%であった。観血的治療の実施割合は約56%であった。発見経緯を見ると、がん検診が約15%であった。

表3-9-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	6,968	100.0
拠点病院等	6,654	95.5
都道府県推薦病院	314	4.5
年齢		
平均年齢 (SD)	54.8	15.9
15-39歳	1,334	19.1
40歳代	1,701	24.4
50歳代	1,251	18.0
60歳代	1,273	18.3
70歳代	856	12.3
80歳以上	553	7.9
UICC TNM分類総合ステージ		
0期*	13,008	-
I期	3,078	44.2
II期	1,142	16.4
III期	1,641	23.6
IV期	1,023	14.7
不詳	84	1.2
観血的治療		
有	3,893	55.9
原発巣・治癒切除	3,431	49.2
原発巣・非治癒切除	366	5.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	96	1.4
無	3,075	44.1
発見経緯		
がん検診	1,024	14.7
健康診断・人間ドック	239	3.4
他疾患経過観察中	853	12.2
その他・不明	4,852	69.6

*全体集計には含まれていない

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-9-2に示す。全体として、実測生存率が約78%、相対生存率が約80%であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、I期が約97%、II期が約86%、III期が約72%、IV期が約35%であった。0期では生存状況把握割合がやや低いいため生存率が過大評価されている可能性がある。観血的治療を受けた者の相対生存率は約94%であり、その内、原発巣・治癒切除例では約95%であった。

表3-9-2 属性別3年生存率

	女性			
	実測	相対	95%信頼区間	
全体	78.3	80.0	78.9	80.9
拠点病院等	78.3	80.0	78.9	81.0
都道府県推薦病院	78.5	80.0	74.8	84.3
年齢				
15-39歳	90.5	90.6	88.9	92.1
40歳代	84.8	85.1	83.2	86.7
50歳代	77.8	78.4	75.9	80.6
60歳代	78.3	79.5	77.1	81.7
70歳代	68.1	70.9	67.5	74.1
80歳以上	45.3	54.4	49.3	59.4
UICC TNM分類総合ステージ				
0期*	99.6	100.0	99.9	100.0
I期	96.0	97.2	96.4	97.8
II期	83.7	86.2	83.8	88.3
III期	70.1	72.1	69.7	74.3
IV期	34.4	35.3	32.3	38.3
不詳	51.7	55.3	43.1	66.2
観血的治療				
有	92.8	93.6	92.7	94.3
原発巣・治癒切除	94.6	95.3	94.5	96.0
原発巣・非治癒切除	77.2	78.0	73.3	82.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	89.6	90.4	82.2	95.1
無	59.8	62.3	60.5	64.1

*全体集計には含まれていない

10. 子宮内膜癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	354	9,038	1,374	98.7	60.1
I期	347	6,294	321	98.7	59.4
II期	215	557	65	98.4	59.9
III期	280	1,177	322	98.6	61.0
IV期	269	845	601	98.6	63.5

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、9,038例で、3年以内に亡くなっていたのが1,374例、打ち切りが122例であった。生存状況把握割合は98.7%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-10-1に示す。診断時の年齢を見ると、50歳代が約3割と最も多かった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が約70%を占めた。観血的治療の実施割合は、約91%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約16%であった。

表3-10-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	9,038	100.0
拠点病院等	8,512	94.2
都道府県推薦病院	526	5.8
年齢		
平均年齢 (SD)	60.1	12.5
15-39歳	386	4.3
40歳代	1,398	15.5
50歳代	2,698	29.9
60歳代	2,460	27.2
70歳代	1,478	16.4
80歳以上	618	6.8
UICC TNM分類総合ステージ		
I期	6,294	69.6
II期	557	6.2
III期	1,177	13.0
IV期	845	9.3
不詳	165	1.8
観血的治療		
有	8,175	90.5
原発巣・治癒切除	7,516	83.2
原発巣・非治癒切除	411	4.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	248	2.7
無	863	9.5
発見経緯		
がん検診	596	6.6
健康診断・人間ドック	199	2.2
他疾患経過観察中	1,473	16.3
その他・不明	6,770	74.9

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-10-2に示す。全体での3年実測生存率は約85%、相対生存率が約87%であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、I期が約97%、II期が約91%、III期が約74%、IV期が約29%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約92%であり、原発巣・治癒切除例では約94%であった。

表3-10-2 属性別3年生存率

	全体			
	実測	相対	95%信頼区間	
全体	84.7	86.6	85.8	87.3
拠点病院等	84.8	86.7	85.9	87.4
都道府県推薦病院	83.1	85.0	81.4	88.0
年齢				
15-39歳	95.8	95.9	93.4	97.5
40歳代	94.0	94.3	92.9	95.5
50歳代	90.9	91.5	90.3	92.5
60歳代	83.0	84.2	82.6	85.6
70歳代	76.0	79.0	76.7	81.2
80歳以上	57.3	67.1	62.3	71.5
UICC TNM分類総合ステージ				
I期	94.9	96.8	96.2	97.4
II期	88.2	90.7	87.6	93.2
III期	72.5	74.1	71.3	76.6
IV期	28.2	28.8	25.7	32.0
不詳	60.3	62.6	54.4	69.9
観血的治療				
有	89.9	91.6	90.9	92.3
原発巣・治癒切除	92.4	94.2	93.6	94.8
原発巣・非治癒切除	46.6	47.6	42.6	52.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	83.8	85.9	80.5	90.0
無	35.4	37.4	34.0	40.8

11. 前立腺癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	389	38,907	3,721	98.3	71.7
I期	383	14,982	824	98.3	71.6
II期	371	11,634	512	98.5	70.3
III期	365	5,847	392	98.4	71.4
IV期	377	5,711	1,809	98.2	74.3

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、38,907例で、3年以内に亡くなっていたのが3,721例、打ち切りが649例であった。生存状況把握割合は98.3%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-11-1に示す。診断時の年齢は、70歳代が約45%、80歳以上が約16%で、70歳以上が半数以上を占めた。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が最も多く約39%であった。観血的治療の実施割合は、33.0%であった。発見経緯を見ると、がん検診が約17%、健康診断・人間ドックが約11%であった。

表3-11-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	38,907	100.0
拠点病院等	35,536	91.3
都道府県推薦病院	3,371	8.7
年齢		
平均年齢 (SD)	71.7	7.8
15-39歳	(1-3)	
40歳代	98	0.3
50歳代	2,118	5.4
60歳代	12,879	33.1
70歳代	17,625	45.3
80歳以上	6,185	15.9
UICC TNM 分類総合ステージ		
I期	14,982	38.5
II期	11,634	29.9
III期	5,847	15.0
IV期	5,711	14.7
不詳	733	1.9
観血的治療		
有	12,840	33.0
原発巣・治癒切除	10,443	26.8
原発巣・非治癒切除	1,964	5.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	433	1.1
無	26,067	67.0
発見経緯		
がん検診	6,729	17.3
健康診断・人間ドック	4,600	11.8
他疾患経過観察中	15,994	41.1
その他・不明	11,584	29.8

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-11-2に示す。全体として、3年実測生存率は、約90%、相対生存率が約99%であった。年代が高くなるほど、実測生存率と相対生存率の差が大きくなり、高齢になるほど前立腺がん以外の要因で死亡させている例が多いと考えられた。3年相対生存率は、どの年代も95%以上と高い。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期からIII期では、相対生存率は100%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、治癒切除、非治癒切除例に関わらず100%であった。

表3-11-2 属性別3年生存率

	全体			
	実測	相対	95%信頼区間	
全体	90.4	99.2	98.9	99.5
拠点病院等	90.4	99.2	98.8	99.5
都道府県推薦病院	89.5	99.7	98.5	100.0
年齢				
15-39歳				
40歳代	96.8	97.4	90.9	99.6
50歳代	97.1	98.6	97.8	99.3
60歳代	95.8	99.6	99.2	99.9
70歳代	91.7	100.0	99.7	100.0
80歳以上	72.8	95.5	94.0	96.9
UICC TNM 総合ステージ				
I期	94.5	100.0	100.0	100.0
II期	95.6	100.0	100.0	100.0
III期	93.2	100.0	100.0	100.0
IV期	68.0	77.0	75.6	78.4
不詳	74.5	89.4	85.4	93.1
観血的治療				
有	97.6	100.0	100.0	100.0
原発巣・治癒切除	97.8	100.0	100.0	100.0
原発巣・非治癒切除	97.5	100.0	100.0	100.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	93.2	100.0	98.4	100.0
無	86.8	97.2	96.7	97.7

12. 膀胱癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	381	8,791	3,103	98.1	74.0
0期*	368	8,919	1,000	97.8	71.8
I期	363	4,796	866	98.0	73.4
II期	343	1,707	730	98.0	75.1
III期	297	863	489	98.8	74.6
IV期	328	1,072	814	98.8	72.6

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、8,791例で、3年以内に亡くなっていた者が3,103例、打ち切りが169例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.1%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-12-1に示す。性別で見ると、男性が約77%、女性が約23%であった。診断時の年齢分布をみると、70歳代が最も多く約35%、80歳以上が約34%、6割以上が70歳以上であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が約55%と半数以上を占めた。観血的治療の実施割合は、約85%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約24%であった。

表3-12-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	6,773	100.0	2,018	100.0	8,791	100.0
拠点病院等	6,116	90.3	1,808	89.6	7,924	90.1
都道府県推薦病院	657	9.7	210	10.4	867	9.9
年齢						
平均年齢 (SD)	73.3	10.3	76.4	10.9	74.0	10.5
15-39歳	30	0.4	(4-9)		37	0.4
40歳代	104	1.5	35	1.7	139	1.6
50歳代	483	7.1	105	5.2	588	6.7
60歳代	1,659	24.5	341	16.9	2,000	22.8
70歳代	2,459	36.3	618	30.6	3,077	35.0
80歳以上	2,038	30.1	912	45.2	2,950	33.6
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	7,253	-	1,666	-	8,919	-
I期	3,866	57.1	930	46.1	4,796	54.6
II期	1,286	19.0	421	20.9	1,707	19.4
III期	589	8.7	274	13.6	863	9.8
IV期	785	11.6	287	14.2	1,072	12.2
不詳	247	3.6	106	5.3	353	4.0
観血的治療						
有	5,861	86.5	1,615	80.0	7,476	85.0
原発巣・治癒切除	4,397	64.9	1,154	57.2	5,551	63.1
原発巣・非治癒切除	813	12.0	285	14.1	1,098	12.5
原発巣・治癒/非治癒	651	9.6	176	8.7	827	9.4
の別不詳						
無	912	13.5	403	20.0	1,315	15.0
発見経緯						
がん検診	44	0.6	(7-9)		53	0.6
健康診断・人間ドック	207	3.1	32	1.6	239	2.7
他疾患経過観察中	1,673	24.7	471	23.3	2,144	24.4
その他・不明	4,849	71.6	1,506	74.6	6,355	72.3

*全体集計には含まれていない

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-12-2に示す。全体の3年実測生存率は約64%、相対生存率が約73%であった。70歳以上では、実測生存率と相対生存率の差がやや大きくなっていった。年代別にみた相対生存率は、全体としては60歳代まで80%以上であるが、80歳以上では約60%であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でⅠ期が約92%、Ⅱ期が約64%、Ⅲ期が約48%、Ⅳ期が約25%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は約80%で、その内原発巣・治癒切除例では約86%であった。

表3-12-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	66.8	75.7	74.4	77.0	56.1	61.9	59.4	64.2	64.4	72.5	71.4	73.6
拠点病院等	66.7	75.5	74.1	76.8	55.4	61.2	58.6	63.7	64.1	72.2	71.0	73.4
都道府県推薦病院	68.3	77.8	73.5	81.7	61.9	67.5	59.9	74.3	66.8	75.3	71.6	78.7
年齢												
15-39歳	79.5	79.7	60.0	90.4	-	-			80.7	80.9	63.9	90.5
40歳代	89.2	89.7	81.9	94.4	62.9	63.1	44.9	76.7	82.5	83.0	75.5	88.4
50歳代	86.3	87.7	84.2	90.5	77.9	78.5	69.2	85.4	84.8	86.0	82.8	88.7
60歳代	79.1	82.2	80.0	84.1	74.1	75.3	70.2	79.7	78.3	81.0	79.0	82.8
70歳代	69.9	76.7	74.6	78.6	62.8	65.6	61.4	69.4	68.5	74.4	72.6	76.2
80歳以上	47.1	64.2	61.2	67.1	41.6	51.2	47.2	55.1	45.4	60.0	57.6	62.4
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	88.3	99.0	98.2	99.8	90.1	96.8	95.1	98.3	88.7	98.6	97.9	99.3
Ⅰ期	82.0	92.73	91.3	94.07	80.8	88.89	85.92	91.53	81.8	92.0	90.7	93.2
Ⅱ期	59.0	67.08	63.9	70.09	50.1	55.93	50.45	61.17	56.8	64.3	61.6	66.9
Ⅲ期	46.7	52.85	48.2	57.36	34.7	37.67	31.55	43.85	42.9	48.0	44.3	51.7
Ⅳ期	26.5	28.96	25.6	32.4	14.9	15.91	11.79	20.6	23.4	25.4	22.7	28.2
不詳	45.7	56.34	48.5	63.94	29.7	34.91	24.93	45.43	40.9	49.9	43.5	56.1
観血的治療												
有	73.0	82.1	80.8	83.4	65.8	72.0	69.4	74.5	71.4	79.9	78.7	81.0
原発巣・治癒切除	77.4	86.6	85.2	87.9	73.7	80.3	77.4	83.0	83.8	85.9	80.5	90.0
原発巣・非治癒切除	51.0	58.6	54.6	62.5	35.1	39.1	32.9	45.3	76.6	85.3	84.0	86.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	70.4	80.3	76.1	84.2	63.9	70.1	61.8	77.4	46.8	53.5	50.0	56.8
無	27.1	32.8	29.3	36.3	16.7	19.4	15.3	23.9	24.0	28.6	25.9	31.5

*全体集計には含まれていない

13. 喉頭癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	316	3,572	728	97.8	70.9
0期*	138	231	28	97.8	68.7
I期	291	1,490	143	97.6	70.7
II期	243	858	142	98.6	71.1
III期	202	552	148	97.5	71.4
IV期	202	623	276	97.6	70.6

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、3,572例で、3年以内に亡くなっていたのが728例、打ち切りが79例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、97.8%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-13-1に示す。性別で見ると、男性が約92%を占めた。診断時の年齢分布を見ると、70歳代・60歳代で約7割を占めた。UICC TNM分類総合ステージの分布を見ると、I期が約42%を占めた。観血的治療の実施割合は、約29%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約16%であった。

表3-13-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	3,291	100.0	281	100.0	3,572	100.0
拠点病院等	3,163	96.1	268	95.4	3,431	96.1
都道府県推薦病院	128	3.9	13	4.6	141	3.9
年齢						
平均年齢 (SD)	71.0	9.2	70.3	10.8	70.9	9.3
15-39歳	(4-6)		(1-3)		(7-9)	
40歳代	44	1.3	11	3.9	55	1.5
50歳代	279	8.5	25	8.9	304	8.5
60歳代	1,100	33.4	84	29.9	1,184	33.1
70歳代	1,263	38.4	105	37.4	1,368	38.3
80歳以上	599	18.2	54	19.2	653	18.3
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	210	-	21	-	231	-
I期	1,370	41.6	120	42.7	1,490	41.7
II期	798	24.2	60	21.4	858	24.0
III期	501	15.2	51	18.1	552	15.5
IV期	576	17.5	47	16.7	623	17.4
不詳	46	1.4	(1-3)		49	1.4
観血的治療						
有	935	28.4	88	31.3	1,023	28.6
原発巣・治癒切除	764	23.2	73	26.0	837	23.4
原発巣・非治癒切除	97	2.9	11	3.9	108	3.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	74	2.2	(4-6)		78	2.2
無	2,356	71.6	193	68.7	2,549	71.4
発見経緯						
がん検診	(4-6)		0	0.0	(4-6)	
健康診断・人間ドック	37	1.1	0	0.0	37	1.0
他疾患経過観察中	537	16.3	40	14.2	577	16.2
その他・不明	2,711	82.4	241	85.8	2,952	82.6

*全体集計には含まれていない

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-13-2に示す。全体の3年実測生存率は約79%、相対生存率が約87%であった。70歳代以上では、実測生存率と相対生存率の差が大きくなっていた。年代別にみた相対生存率は、80歳以上を除き、どの年代においても80%以上であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でⅠ期が約99%、Ⅱ期が約92%、Ⅲ期が約80%、Ⅳ期が約60%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約90%であった。

表3-13-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	79.3	87.1	85.5	88.5	80.8	85.1	79.6	89.5	79.4	86.9	85.4	88.3
拠点病院等	79.4	87.2	85.6	88.7	79.9	84.2	78.5	88.8	79.4	86.9	85.4	88.4
都道府県推薦病院	76.9	84.2	75.0	91.3	-	-			79.0	86.1	77.6	92.5
年齢												
40歳代	86.4	86.9	72.6	94.2	-	-			87.3	87.7	75.6	94.2
50歳代	89.8	91.1	86.8	94.2	-	-			88.9	90.2	86.0	93.3
60歳代	87.6	91.0	88.8	92.9	82.8	84.1	73.8	90.9	87.3	90.5	88.4	92.4
70歳代	79.4	86.7	84.2	89.1	86.4	89.9	81.3	95.4	79.9	87.0	84.6	89.2
80歳以上	57.9	77.1	71.6	82.2	66.0	79.3	62.0	92.6	58.6	77.3	72.1	82.2
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	86.5	93.4	87.5	97.7	-	-			87.7	94.3	88.9	98.2
Ⅰ期	90.1	98.7	96.8	100.0	92.3	96.8	89.9	100.0	90.3	98.6	96.8	100.0
Ⅱ期	83.2	92.0	88.9	94.7	84.8	90.4	77.6	97.9	83.3	91.9	88.9	94.5
Ⅲ期	72.7	79.8	75.2	83.9	74.1	77.7	62.5	88.1	72.8	79.6	75.3	83.5
Ⅳ期	55.1	60.2	55.6	64.6	54.5	57.4	41.3	71.2	55.1	60.0	55.6	64.2
不詳	59.5	66.5	48.8	80.7	-	-			60.0	66.9	49.8	80.6
観血的治療												
有	81.9	89.9	87.0	92.5	82.6	87.1	76.8	94.0	82.0	89.7	86.9	92.1
原発巣・治癒切除	82.5	90.7	87.5	93.4	84.5	89.4	78.1	96.4	82.7	90.5	87.5	93.2
原発巣・非治癒切除	75.9	83.3	72.5	91.4	63.6	66.3	31.0	88.1	74.6	81.4	71.2	89.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	83.5	90.9	79.3	98.3	-	-			84.4	91.6	80.5	98.6
無	78.2	85.9	84.0	87.7	79.9	84.2	77.4	89.5	78.3	85.8	84.0	87.5

*全体集計には含まれていない

14. 胆嚢癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	390	3,158	2,158	98.4	74.1
0期*	80	110	(4-6)	99.1	70.8
I期	230	391	56	99.2	71.3
II期	259	483	105	98.6	74.6
III期	282	641	450	97.5	75.7
IV期	359	1,531	1,453	98.5	73.6

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、3,158例で、3年以内に亡くなっていたのが2,158例、打ち切りが50例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.4%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-14-1に示す。性別で見ると、男性が約45%、女性が約55%であった。診断時の年齢分布をみると、70歳代・80歳以上が6割以上を占めた。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、IV期が約49%を占めた。観血的治療の実施割合は、約43%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約39%であった。

表3-14-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,411	100.0	1,747	100.0	3,158	100.0
拠点病院等	1,261	89.4	1,586	90.8	2,847	90.2
都道府県推薦病院	150	10.6	161	9.2	311	9.8
年齢						
平均年齢 (SD)	73.4	10.4	74.6	10.5	74.1	10.5
15-39歳	(7-9)		(1-3)		11	0.3
40歳代	25	1.8	23	1.3	48	1.5
50歳代	102	7.2	123	7.0	225	7.1
60歳代	320	22.7	387	22.2	707	22.4
70歳代	531	37.6	593	33.9	1,124	35.6
80歳以上	425	30.1	618	35.4	1,043	33.0
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	56	-	54	-	110	-
I期	188	13.3	203	11.6	391	12.4
II期	221	15.7	262	15.0	483	15.3
III期	294	20.8	347	19.9	641	20.3
IV期	652	46.2	879	50.3	1,531	48.5
不詳	56	4.0	56	3.2	112	3.5
観血的治療						
有	620	43.9	718	41.1	1,338	42.4
原発巣・治癒切除	511	36.2	610	34.9	1,121	35.5
原発巣・非治癒切除	85	6.0	83	4.8	168	5.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	24	1.7	25	1.4	49	1.6
無	791	56.1	1,029	58.9	1,820	57.6
発見経緯						
がん検診	(7-9)		(7-9)		16	0.5
健康診断・人間ドック	95	6.7	66	3.8	161	5.1
他疾患経過観察中	604	42.8	638	36.5	1,242	39.3
その他・不明	704	49.9	1,035	59.2	1,739	55.1

*全体集計には含まれていない

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-14-2に示す。全体の3年実測生存率はⅣ期が約半数を占めたことから約31%、相対生存率が約34%であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でⅠ期が約93%、Ⅱ期が約86%、Ⅲ期が約32%、Ⅳ期が約4%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約73%で、その内原発巣・治癒切除例では約81%であった。

表3-14-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	31.0	35.0	32.3	37.8	31.0	33.3	31.0	35.7	31.0	34.1	32.3	35.9
拠点病院等	30.4	34.3	31.4	37.2	31.1	33.4	30.9	35.9	30.8	33.8	31.9	35.7
都道府県推薦病院	36.0	41.3	32.6	50.1	30.0	32.7	25.1	40.6	32.9	36.8	31.0	42.7
年齢												
15-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	-	-			-	-			42.9	43.1	28.8	56.6
50歳代	39.5	40.1	30.4	49.6	37.8	38.1	29.5	46.7	38.6	39.0	32.6	45.4
60歳代	31.3	32.5	27.2	37.9	34.4	35.0	30.2	39.8	33.0	33.9	30.3	37.5
70歳代	33.6	37.0	32.5	41.4	34.5	36.0	32.0	40.0	34.1	36.4	33.5	39.4
80歳以上	24.1	32.3	27.0	37.8	24.1	28.8	24.8	33.0	24.1	30.2	27.0	33.5
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	92.8	100.0	100.0	100.0	98.2	100.0	92.4	100.0	95.5	100.0	96.5	100.0
Ⅰ期	85.0	94.8	88.1	99.7	86.2	91.8	85.9	96.2	85.6	93.2	89.0	96.6
Ⅱ期	76.3	86.6	79.6	92.4	79.7	85.5	79.7	90.3	78.1	86.0	81.7	89.8
Ⅲ期	26.5	30.2	24.6	36.1	30.4	32.7	27.5	38.1	28.6	31.6	27.7	35.5
Ⅳ期	3.1	3.3	2.1	5.0	4.4	4.7	3.3	6.3	3.8	4.1	3.1	5.3
不詳	16.1	19.7	9.7	32.9	14.7	16.9	7.9	29.1	15.4	18.3	11.2	27.0
観血的治療												
有	65.1	72.9	68.5	76.9	69.1	73.5	69.7	76.9	67.3	73.2	70.3	75.8
原発巣・治癒切除	73.2	81.9	77.3	86.0	76.3	81.0	77.2	84.3	74.9	81.3	78.5	84.0
原発巣・非治癒切除	19.1	21.5	13.0	31.7	22.9	24.7	15.7	34.9	21.0	23.1	16.7	30.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-			-	-			50.8	55.9	39.7	70.1
無	4.0	4.5	3.1	6.3	3.5	3.9	2.8	5.3	3.7	4.2	3.3	5.3

*全体集計には含まれていない

15. 腎癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	383	9,754	1,737	97.9	66.2
I期	367	6,641	463	98.0	65.5
II期	246	481	49	97.1	63.9
III期	301	1,195	230	97.6	67.8
IV期	324	1,252	918	98.3	69.0

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、9,754例で、3年以内に亡くなっていたのが1,737例、打ち切りが200例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、97.9%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-15-1に示す。性別で見ると、男性が約71%を占めた。診断時の年齢分布を見ると、60歳代が約32%、70歳代が約29%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布を見ると、I期が約68%を占めた。観血的治療の実施割合は、約82%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約53%であった。

表3-15-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	6,894	100.0	2,860	100.0	9,754	100.0
拠点病院等	6,429	93.3	2,665	93.2	9,094	93.2
都道府県推薦病院	465	6.7	195	6.8	660	6.8
年齢						
平均年齢 (SD)	65.7	11.9	67.4	12.5	66.2	12.1
0-14歳	0	0.0	(1-3)		(1-3)	
15-39歳	159	2.3	71	2.5	230	2.4
40歳代	573	8.3	206	7.2	779	8.0
50歳代	1,137	16.5	403	14.1	1,540	15.8
60歳代	2,252	32.7	830	29.0	3,082	31.6
70歳代	1,964	28.5	859	30.0	2,823	28.9
80歳以上	809	11.7	490	17.1	1,299	13.3
UICC TNM分類総合ステージ						
I期	4,690	68.0	1,951	68.2	6,641	68.1
II期	311	4.5	170	5.9	481	4.9
III期	845	12.3	350	12.2	1,195	12.3
IV期	915	13.3	337	11.8	1,252	12.8
不詳	133	1.9	52	1.8	185	1.9
観血的治療						
有	5,675	82.3	2,347	82.1	8,022	82.2
原発巣・治癒切除	5,273	76.5	2,228	77.9	7,501	76.9
原発巣・非治癒切除	282	4.1	81	2.8	363	3.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	120	1.7	38	1.3	158	1.6
無	1,219	17.7	513	17.9	1,732	17.8
発見経緯						
がん検診	107	1.6	22	0.8	129	1.3
健康診断・人間ドック	1,018	14.8	329	11.5	1,347	13.8
他疾患経過観察中	3,632	52.7	1,485	51.9	5,117	52.5
その他・不明	2,137	31.0	1,024	35.8	3,161	32.4

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-15-2に示す。全体の3年実測生存率は約82%、相対生存率が約87%であった。年代別にみた相対生存率は、80歳以上を除き80%以上であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でⅠ期が約98%、Ⅱ期が約94%、Ⅲ期が約86%、Ⅳ期が約28%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約95%で、その内原発巣・治癒切除例では約97%であった。

表3-15-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	81.7	87.4	86.4	88.4	82.8	86.2	84.7	87.6	82.0	87.0	86.2	87.8
拠点病院等	81.7	87.3	86.3	88.3	83.0	86.4	84.9	87.9	82.1	87.1	86.2	87.9
都道府県推薦病院	81.9	88.0	83.9	91.5	79.9	83.2	76.6	88.4	81.3	86.6	83.2	89.6
年齢												
15-39歳	91.1	91.3	85.7	94.9	92.9	93.0	83.8	97.1	91.7	91.9	87.4	94.8
40歳代	91.5	92.0	89.4	94.1	95.1	95.4	91.3	97.6	92.5	92.9	90.8	94.6
50歳代	88.9	90.1	88.1	91.9	88.5	89.1	85.5	91.9	88.8	89.9	88.2	91.4
60歳代	84.2	87.3	85.7	88.9	87.4	88.7	86.2	90.8	85.0	87.7	86.4	89.0
70歳代	78.5	85.9	83.9	87.9	81.9	85.4	82.5	87.9	79.6	85.8	84.1	87.3
80歳以上	63.8	82.6	78.1	86.7	65.5	75.8	70.7	80.5	64.5	79.9	76.6	83.1
UICC TNM分類総合ステージ												
Ⅰ期	92.6	98.9	98.0	99.6	93.8	97.4	96.2	98.4	93.0	98.4	97.7	99.1
Ⅱ期	89.5	94.9	90.6	98.0	89.8	92.9	87.0	96.8	89.6	94.2	90.9	96.7
Ⅲ期	80.2	86.4	83.3	89.2	81.2	85.0	80.3	89.0	80.5	86.0	83.5	88.3
Ⅳ期	27.4	29.5	26.4	32.7	21.4	22.5	18.0	27.3	25.8	27.6	25.0	30.2
不詳	59.7	65.3	55.5	73.8	53.9	57.5	42.1	70.7	58.0	63.1	54.9	70.4
観血的治療												
有	89.9	95.2	94.4	96.0	92.1	95.2	94.0	96.2	90.5	95.2	94.5	95.9
原発巣・治癒切除	92.1	97.6	96.8	98.4	93.9	97.0	95.9	98.0	92.6	97.4	96.8	98.0
原発巣・非治癒切除	52.0	55.1	48.7	61.2	48.7	50.8	39.0	61.7	51.2	54.1	48.5	59.5
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	79.8	85.0	76.0	91.6	79.0	81.3	64.2	91.5	79.6	84.1	76.5	89.9
無	43.4	49.4	46.2	52.6	40.0	43.7	39.0	48.3	42.4	47.7	45.1	50.3

16. 腎盂尿管癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	372	3,874	1,908	98.0	74.4
0期*	294	986	123	98.3	72.7
I期	290	744	162	98.1	74.1
II期	260	574	171	98.8	75.0
III期	317	1,049	393	97.7	73.7
IV期	339	1,271	1,035	98.3	73.9

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、3,874例で、3年以内に亡くなっていたのが1,908例、打ち切りが77例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.0%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-16-1に示す。性別で見ると、男性が約67%、女性が約33%であった。診断時の年齢分布をみると、70歳代が最も多く約38%、80歳以上が約33%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、IV期が約33%を占めた。観血的治療の実施割合は、約65%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約36%であった。

表3-16-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	2,603	100.0	1,271	100.0	3,874	100.0
拠点病院等	2,394	92.0	1,144	90.0	3,538	91.3
都道府県推薦病院	209	8.0	127	10.0	336	8.7
年齢						
平均年齢 (SD)	73.5	9.4	76.4	9.2	74.4	9.5
15-39歳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
40歳代	35	1.3	11	0.9	46	1.2
50歳代	156	6.0	41	3.2	197	5.1
60歳代	653	25.1	221	17.4	874	22.6
70歳代	1,008	38.7	475	37.4	1,483	38.3
80歳以上	749	28.8	522	41.1	1,271	32.8
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	755	-	231	-	986	-
I期	524	20.1	220	17.3	744	19.2
II期	397	15.3	177	13.9	574	14.8
III期	708	27.2	341	26.8	1,049	27.1
IV期	826	31.7	445	35.0	1,271	32.8
不詳	148	5.7	88	6.9	236	6.1
観血的治療						
有	1,733	66.6	786	61.8	2,519	65.0
原発巣・治癒切除	1,529	58.7	673	53.0	2,202	56.8
原発巣・非治癒切除	151	5.8	89	7.0	240	6.2
原発巣・治癒/非治癒	53	2.0	24	1.9	77	2.0
の別不詳						
無	870	33.4	485	38.2	1,355	35.0
発見経緯						
がん検診	11	0.4	(1-3)		12	0.3
健康診断・人間ドック	87	3.3	28	2.2	115	3.0
他疾患経過観察中	959	36.8	423	33.3	1,382	35.7
その他・不明	1,546	59.4	819	64.4	2,365	61.0

*全体集計には含まれていない

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-16-2に示す。全体の3年実測生存率は約50%、相対生存率が約56%であった。年代別にみた相対生存率は、全体で40歳代が75%以上、50～60歳代では60%台、70歳代は50%台であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でI期が約87%、II期が約79%、III期が約69%、IV期が約19%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約75%で、その内原発巣・治癒切除例では約78%であった。

表3-16-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	51.7	58.4	56.2	60.6	47.1	51.5	48.4	54.5	50.2	56.1	54.3	57.9
拠点病院等	51.6	58.2	55.9	60.4	48.0	52.3	49.1	55.5	50.4	56.3	54.4	58.1
都道府県推薦病院	53.4	61.2	53.1	68.7	39.0	43.6	34.0	53.0	48.0	54.5	48.2	60.5
年齢												
15-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	76.7	77.2	59.1	88.2	-	-	-	-	75.7	76.2	60.8	86.2
50歳代	68.7	69.8	61.7	76.6	67.7	68.2	51.3	80.4	68.5	69.5	62.3	75.6
60歳代	60.4	62.8	58.8	66.6	60.4	61.4	54.5	67.6	60.4	62.4	59.0	65.7
70歳代	53.7	58.8	55.4	62.2	48.3	50.5	45.7	55.1	52.0	56.1	53.3	58.8
80歳以上	36.8	49.5	44.9	54.2	37.9	45.6	40.6	50.7	37.3	47.9	44.4	51.3
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	86.1	95.9	92.9	98.5	91.7	98.2	93.5	100.0	87.4	96.5	94.0	98.6
I期	77.2	87.4	83.0	91.2	79.8	87.0	80.5	92.1	78.0	87.3	83.7	90.4
II期	71.1	81.2	75.8	86.0	67.4	73.8	65.6	80.8	70.0	78.9	74.4	82.9
III期	63.4	70.8	66.6	74.6	59.4	64.1	58.2	69.6	62.1	68.6	65.2	71.8
IV期	18.5	20.5	17.6	23.5	16.0	17.3	13.7	21.1	17.6	19.3	17.1	21.7
不詳	37.7	46.6	36.8	56.3	32.4	40.3	28.2	52.9	35.8	44.3	36.6	52.0
観血的治療												
有	69.1	76.8	74.3	79.2	67.0	71.8	68.1	75.2	68.5	75.2	73.2	77.2
原発巣・治癒切除	74.0	82.2	79.6	84.6	70.8	75.9	72.0	79.4	73.0	80.2	78.1	82.2
原発巣・非治癒切除	27.9	31.0	23.3	39.2	39.2	42.4	31.3	53.3	32.1	35.2	28.8	41.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	46.3	51.7	36.2	66.0	-	-	-	-	51.5	56.7	43.7	68.2
無	16.9	20.2	17.3	23.4	14.6	17.0	13.5	20.9	16.0	19.1	16.8	21.5

*全体集計には含まれていない

17. 甲状腺癌

甲状腺乳頭濾胞癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	357	7,364	321	97.0	57.9
I期	323	3,064	74	95.5	49.4
II期	197	360	15	97.5	62.6
III期	318	2,298	58	97.9	63.1
IV期	295	1,523	158	98.6	65.6

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、7,364例で、3年以内に亡くなっていたのが321例、打ち切りが223例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、97.0%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-17①-1に示す。性別で見ると、男性が約27%、女性が約73%であった。診断時の年齢分布を見ると、60歳代が最も多く約26%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布を見ると、I期が約42%を占めた。観血的治療の実施割合は、約90%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が46.0%であった。

表3-17①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	2,013	100.0	5,351	100.0	7,364	100.0
拠点病院等	1,889	93.8	4,993	93.3	6,882	93.5
都道府県推薦病院	124	6.2	358	6.7	482	6.5
年齢						
平均年齢 (SD)	58.7	15.5	57.6	15.9	57.9	15.8
0-14歳	(4-6)		16	0.3	22	0.3
15-39歳	246	12.2	749	14.0	995	13.5
40歳代	313	15.5	884	16.5	1,197	16.3
50歳代	338	16.8	985	18.4	1,323	18.0
60歳代	554	27.5	1,377	25.7	1,931	26.2
70歳代	443	22.0	987	18.4	1,430	19.4
80歳以上	113	5.6	353	6.6	466	6.3
UICC TNM分類総合ステージ						
I期	705	35.0	2,359	44.1	3,064	41.6
II期	113	5.6	247	4.6	360	4.9
III期	580	28.8	1,718	32.1	2,298	31.2
IV期	567	28.2	956	17.9	1,523	20.7
不詳	48	2.4	71	1.3	119	1.6
観血的治療						
有	1,796	89.2	4,843	90.5	6,639	90.2
原発巣・治癒切除	1,518	75.4	4,245	79.3	5,763	78.3
原発巣・非治癒切除	193	9.6	420	7.8	613	8.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	85	4.2	178	3.3	263	3.6
無	217	10.8	508	9.5	725	9.8
発見経緯						
がん検診	39	1.9	135	2.5	174	2.4
健康診断・人間ドック	403	20.0	806	15.1	1,209	16.4
他疾患経過観察中	879	43.7	2,509	46.9	3,388	46.0
その他・不明	692	34.4	1,901	35.5	2,593	35.2

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-17①-2に示す。全体の3年実測生存率は約96%、相対生存率が約98%であった。年代別にみた相対生存率は、全年代で90%台であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でI期が約99%、II、III期が100.0%、IV期が約94%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、100.0%であった。

表3-17①-2 属性別3年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間
全体	92.4	96.7	95.3 97.8	96.8	98.9	98.4 99.4	95.6	98.3	97.8 98.8
拠点病院等	92.0	96.3	94.9 97.5	96.7	98.8	98.3 99.3	95.4	98.2	97.6 98.6
都道府県推薦病院	98.4	100.0	97.3 100.0	97.7	100.0	98.1 100.0	97.9	100.0	99.0 100.0
年齢									
0-14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15-39歳	99.2	99.4	96.9 100.0	99.5	99.6	98.7 99.9	99.4	99.5	98.8 99.9
40歳代	98.7	99.2	97.0 100.0	99.5	99.9	99.1 100.0	99.3	99.7	99.0 100.0
50歳代	96.7	98.1	95.5 99.6	98.7	99.3	98.4 99.9	98.2	99.0	98.1 99.6
60歳代	92.8	96.2	93.6 98.2	96.9	98.3	97.2 99.1	95.7	97.7	96.7 98.6
70歳代	87.5	95.5	91.7 98.5	94.8	98.5	96.9 99.8	92.5	97.6	96.0 98.9
80歳以上	65.2	84.6	72.2 95.0	84.3	97.8	92.8 100.0	79.7	94.7	90.0 98.8
UICC TNM分類総合ステージ									
I期	95.1	97.3	95.4 98.7	98.3	99.5	98.9 100.0	97.5	99.0	98.4 99.5
II期	92.8	99.3	92.1 100.0	97.1	100.0	97.4 100.0	95.8	100.0	97.4 100.0
III期	96.5	100.0	99.5 100.0	97.8	100.0	99.4 100.0	97.5	100.0	99.8 100.0
IV期	86.2	91.6	88.3 94.4	91.6	94.9	92.9 96.6	89.6	93.7	92.0 95.2
不詳	77.1	82.9	67.2 93.1	92.7	95.1	85.6 99.4	86.3	90.1	82.1 95.5
観血的治療									
有	95.9	99.8	98.8 100.0	98.4	100.3	99.8 100.0	97.7	100.0	99.7 100.0
原発巣・治癒切除	96.6	100.0	99.2 100.0	98.6	100.0	100.0 100.0	69.0	78.1	74.4 81.6
原発巣・非治癒切除	91.7	96.6	91.4 99.9	96.2	98.7	96.3 100.0	98.1	100.0	100.0 100.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	94.1	98.9	90.8 100.0	98.3	100.0	96.7 100.0	94.8	98.0	95.9 99.6
無	63.4	69.7	62.2 76.3	81.3	86.0	82.1 89.4	75.9	81.2	77.6 84.4

甲状腺未分化癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	109	167	153	100.0	73.7
IV期	108	164	151	100.0	73.5

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、167例で、3年以内に亡くなっていたのが153例、打ち切りが0例未満であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、100.0%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-17②-1に示す。性別で見ると、女性が約61%を占めた。診断時の年齢分布を見ると、70歳代が最も多く約38%であった。観血的治療の実施割合は、約43%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約15%であった。

表3-17②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	65	100.0	102	100.0	167	100.0
拠点病院等	63	96.9	94	92.2	157	94.0
都道府県推薦病院	(1-3)		(7-9)		10	6.0
年齢						
平均年齢 (SD)	70.8	10.1	75.5	10.7	73.7	10.7
40歳代	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
50歳代	(4-6)		(7-9)		13	7.8
60歳代	17	26.2	21	20.6	38	22.8
70歳代	30	46.2	33	32.4	63	37.7
80歳以上	10	15.4	40	39.2	50	29.9
UICC TNM 分類総合ステージ						
IV期	65	100.0	99	97.1	164	98.2
不詳	0	0.0	(1-3)		(1-3)	
観血的治療						
有	26	40.0	46	45.1	72	43.1
原発巣・治癒切除	10	15.4	24	23.5	34	20.4
原発巣・非治癒切除	15	23.1	19	18.6	34	20.4
原発巣・治癒/非治癒 の別不詳	(1-3)		(1-3)		(4-6)	
無	39	60.0	56	54.9	95	56.9
発見経緯						
がん検診	0	0.0	0	0.0	0	0.0
健康診断・人間ドック	0	0.0	(1-3)		(1-3)	
他疾患経過観察中	13	20.0	12	11.8	25	15.0
その他・不明	52	80.0	88	86.3	140	83.8

※病期登録では若干名 I～III 期の登録あり

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-17②-2に示す。全体の3年実測生存率、相対生存率ともに10%未満であった。対象数が限られるため生存率値の解釈には留意が必要である。

表3-17②-2 属性別3年生存率

	全体			
	実測	相対	95%信頼区間	
全体	8.4	8.9	5.1	14.1
拠点病院等	8.3	8.8	4.9	14.1
都道府県推薦病院	-	-		
年齢				
40歳代	-	-		
50歳代	-	-		
60歳代	5.3	5.4	1.0	15.9
70歳代	9.5	10.1	4.1	19.4
80歳以上	2.0	2.5	0.2	11.3
UICC TNM分類総合ステージ				
IV期	7.9	8.4	4.7	13.5
不詳				
観血的治療				
有	16.7	17.7	9.7	27.7
原発巣・治癒切除	97.0	99.8	96.8	100.0
原発巣・非治癒切除	23.5	24.9	11.7	40.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	8.8	9.3	2.4	22.3
無	2.1	2.2	0.4	7.1

甲状腺髄様癌

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	57	75	(1-3)	97.3	56.3
I 期	25	28	(1-3)	96.4	48.2
II 期	12	12	0	100.0	53.9
III 期	10	10	0	100.0	58.7
IV 期	20	24	(1-3)	95.8	65.5

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、75 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、97.3%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-17③-1 に示す。対象数が限られるため全体でのみ示す。男性が 36%、女性が 64%であった。診断時の平均年齢は 56.3 歳であった。観血的治療を受けた者が 69 名であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が 44 名であった。

表 3-17③-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	75	100.0
拠点病院等	72	96.0
都道府県推薦病院	(1-3)	
年齢		
平均年齢 (SD)	56.3	16.5
0-14 歳	(1-3)	
15-39 歳	(7-9)	
40 歳代	12	16.0
50 歳代	15	20.0
60 歳代	23	30.7
70 歳代	12	16.0
80 歳以上	(1-3)	
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	28	37.3
II 期	12	16.0
III 期	10	13.3
IV 期	24	32.0
不詳	(1-3)	
観血的治療		
有	69	92.0
原発巣・治癒切除	68	90.7
原発巣・非治癒切除	(1-3)	
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	0	0.0
無	(7-9)	
発見経緯		
がん検診	(1-3)	
健康診断・人間ドック	(7-9)	
他疾患経過観察中	44	58.7
その他・不明	23	30.7

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-17③-2に示す。全体の3年実測生存率が96.0%、相対生存率が98.2%であった。対象数が限られるため生存率値の解釈には留意が必要である。

表3-17③-2 属性別3年生存率

	全体			
	実測	相対	95%信頼区間	
全体	96.0	98.2	90.0	100.0
拠点病院等	95.8	98.0	89.6	100.0
都道府県推薦病院	-	-		
観血的治療				
有	98.5	100.0	91.9	100.0
無	66.7	69.1	20.2	93.8

18. 卵巣癌(女)

	集計対象施設数	集計対象	死亡数	生存状況把握割合 (%)	平均年齢
2015	366	6,483	1,869	98.4	58.8
I期	331	2,496	185	97.8	54.3
II期	229	525	106	99.0	58.6
III期	313	1,814	707	98.7	60.3
IV期	296	949	521	99.1	63.8

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、6,483例で、3年以内に亡くなっていた者が1,869例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.4%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-18-1に示す。診断時の年齢分布をみると、60歳代が最も多く約27%、次いで50歳代が約23%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が約39%を占めた。観血的治療の実施割合は、82.0%であった。

表3-18-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	6,483	100.0
拠点病院等	3,100	47.8
都道府県推薦病院	383	5.9
年齢		
平均年齢 (SD)	58.8	14.7
0-14歳	30	0.5
15-39歳	546	8.4
40歳代	1,099	17.0
50歳代	1,498	23.1
60歳代	1,772	27.3
70歳代	1,080	16.7
80歳以上	458	7.1
UICC TNM分類総合ステージ		
I期	2,496	38.5
II期	525	8.1
III期	1,814	28.0
IV期	949	14.6
不詳	699	10.8
観血的治療		
有	5,318	82.0
原発巣・治癒切除	3,614	55.7
原発巣・非治癒切除	1,219	18.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	485	7.5
無	1,165	18.0
発見経緯		
がん検診	232	3.6
健康診断・人間ドック	239	3.7
他疾患経過観察中	1,321	20.4
その他・不明	4,691	72.4

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-18-2に示す。全体の3年実測生存率は約71%、相対生存率が約72%であった。実測生存率と相対生存率の差は他のがんと比較して大きくはなかった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でI期が約94%、II期が約81%、III期が約62%、IV期が約46%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は約81%で、その内原発巣・治癒切除例では約88%であった。

表3-18-2 属性別3年生存率

	実測	女性		
		相対	95%信頼区間	
全体	70.9	72.3	71.2	73.5
拠点病院等	71.0	72.4	71.2	73.5
都道府県推薦病院	70.1	71.6	66.6	76.0
年齢				
0-14歳	96.7	96.7	78.6	99.6
15-39歳	89.5	89.6	86.7	91.9
40歳代	80.2	80.5	78.0	82.8
50歳代	78.8	79.3	77.1	81.3
60歳代	70.0	71.0	68.8	73.2
70歳代	58.5	60.8	57.7	63.8
80歳以上	32.2	37.4	32.5	42.5
UICC TNM分類総合ステージ				
I期	92.5	93.9	92.8	94.9
II期	79.7	81.3	77.5	84.6
III期	60.7	61.9	59.6	64.2
IV期	44.8	46.1	42.8	49.3
不詳	49.3	50.8	46.9	54.6
観血的治療				
有	80.1	81.4	80.3	82.5
原発巣・治癒切除	86.6	88.0	86.8	89.1
原発巣・非治癒切除	61.3	62.5	59.6	65.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	78.9	80.3	76.3	83.8
無	28.8	30.0	27.3	32.7

付表一覽

1.集計対象施設一覽

付表 1 集計対象施設

都道府県	施設名
北海道	北海道がんセンター
北海道	JA北海道厚生連 旭川厚生病院
北海道	王子総合病院
北海道	JA北海道厚生連帯広厚生病院
北海道	北見赤十字病院
北海道	社会福祉法人 函館厚生院 函館五稜郭病院
北海道	JA北海道厚生連 札幌厚生病院
北海道	手稲溪仁会病院
青森	青森県立中央病院
青森	八戸市立市民病院
岩手	岩手県立中央病院
岩手	岩手県立二戸病院
岩手	岩手医科大学附属病院
岩手	岩手県立中部病院
岩手	岩手県立磐井病院
岩手	岩手県立宮古病院
岩手	岩手県立胆沢病院
岩手	岩手県立大船渡病院
岩手	岩手県立久慈病院
岩手	岩手県立釜石病院
宮城	東北大学病院
宮城	宮城県立がんセンター
宮城	石巻赤十字病院
宮城	仙台医療センター
宮城	大崎市民病院
宮城	独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院
秋田	秋田大学医学部附属病院
秋田	JA秋田厚生連 由利組合総合病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療センター
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 能代厚生医療センター
秋田	秋田赤十字病院
秋田	大館市立総合病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 秋田厚生医療センター
山形	山形県立中央病院
山形	山形大学医学部附属病院
山形	山形市立病院済生館
山形	置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院
福島	労働者健康安全機構福島労災病院
福島	坪井病院
福島	福島県立医科大学附属病院
福島	太田西ノ内病院
福島	総合南東北病院
福島	会津中央病院
福島	白河厚生総合病院
茨城	茨城県立中央病院
茨城	筑波メディカルセンター病院・茨城県地域がんセンター
茨城	土浦協同病院
茨城	東京医科大学茨城医療センター
茨城	友愛記念病院
茨城	国立大学法人 筑波大学附属病院
茨城	国立病院機構水戸医療センター
茨城	株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院
栃木	地方独立行政法人栃木県立がんセンター
栃木	自治医科大学附属病院
栃木	栃木県済生会宇都宮病院
栃木	獨協医科大学病院
栃木	那須赤十字病院
栃木	足利赤十字病院
群馬	伊勢崎市民病院
群馬	群馬県立がんセンター
群馬	群馬大学医学部附属病院
群馬	独立行政法人国立病院機構 渋川医療センター
群馬	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター
群馬	公立富岡総合病院
群馬	桐生厚生総合病院
群馬	前橋赤十字病院
埼玉	さいたま赤十字病院
埼玉	埼玉県立がんセンター
埼玉	深谷赤十字病院
埼玉	春日部市立医療センター
埼玉	さいたま市立病院
埼玉	獨協医科大学埼玉医療センター
埼玉	埼玉医科大学国際医療センター
埼玉	社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会 川口総合病院
埼玉	医療法人社団 東光会 戸田中央総合病院
埼玉	自治医科大学附属さいたま医療センター
千葉	国立研究開発法人 国立がん研究センター 東病院
千葉	医療法人 鉄蕉会 亀田総合病院
千葉	国保直営総合病院 君津中央病院
千葉	千葉県がんセンター
千葉	独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院

都道府県	施設名
千葉	船橋市立医療センター
千葉	千葉大学医学部附属病院
千葉	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター
千葉	東京歯科大学市川総合病院
千葉	順天堂大学医学部附属浦安病院
千葉	東京慈恵会医科大学附属柏病院
千葉	松戸市立総合医療センター
千葉	日本医科大学千葉北総病院
千葉	さんむ医療センター
東京	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院
東京	東京都立駒込病院
東京	青梅市立総合病院
東京	NTT東日本関東病院
東京	日本赤十字社医療センター
東京	日本大学医学部附属板橋病院
東京	武蔵野赤十字病院
東京	がん研有明病院
東京	国立大学法人 東京大学医学部附属病院
東京	日本医科大学付属病院
東京	聖路加国際病院
東京	帝京大学医学部附属病院
東京	東京医科大学八王子医療センター
東京	杏林大学医学部付属病院
東京	順天堂大学医学部附属順天堂医院
東京	昭和大学病院
東京	慶應義塾大学病院
東京	東京都立多摩総合医療センター
東京	公立昭和病院
東京	虎の門病院
東京	独立行政法人国立病院機構東京医療センター
東京	東京医科歯科大学医学部附属病院
東京	東京都立墨東病院
神奈川	神奈川県立がんセンター
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院
神奈川	横浜市立市民病院
神奈川	小田原市立病院
神奈川	川崎市立井田病院
神奈川	相模原協同病院
神奈川	聖マリアンナ医科大学病院
神奈川	東海大学医学部付属病院
神奈川	北里大学病院
神奈川	横浜労災病院
神奈川	昭和大学横浜市北部病院
神奈川	大和市立病院
神奈川	関東労災病院
神奈川	恩賜財団 済生会横浜市東部病院
神奈川	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター
神奈川	湘南鎌倉総合病院
新潟	新潟県立がんセンター新潟病院
新潟	新潟県立中央病院
新潟	新潟市民病院
新潟	長岡赤十字病院
新潟	新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院
新潟	県立新発田病院
富山	富山県立中央病院
富山	黒部市民病院
富山	富山大学附属病院
富山	厚生連高岡病院
富山	市立砺波総合病院
石川	国立大学法人金沢大学附属病院
石川	独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター
石川	石川県立中央病院
石川	金沢医科大学病院
石川	国民健康保険小松
福井	福井県立病院
福井	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院
福井	福井赤十字病院
福井	福井大学医学部附属病院
福井	独立行政法人国立病院機構敦賀医療センター
山梨	山梨県立中央病院
山梨	国立大学法人 山梨大学医学部附属病院
長野	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院 佐久医療センター
長野	国立大学法人 信州大学医学部附属病院
長野	諏訪赤十字病院
長野	飯田市立病院
長野	長野市民病院
長野	長野赤十字病院
長野	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院
長野	伊那中央病院
長野	長野県立木曽病院
長野	長野県厚生農業協同組合連合会 北信総合病院

都道府県	施設名
岐阜	岐阜市民病院
岐阜	高山赤十字病院
岐阜	岐阜県総合医療センター
岐阜	岐阜県立多治見病院
岐阜	大垣市民病院
岐阜	社会医療法人厚生会 木沢記念病院
静岡	静岡県立静岡がんセンター
静岡	静岡県立総合病院
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院
静岡	順天堂大学医学部附属静岡病院
静岡	静岡市立静岡病院
静岡	藤枝市立総合病院
静岡	浜松医科大学医学部附属病院
静岡	浜松医療センター
静岡	磐田市立総合病院
愛知	愛知県がんセンター
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院
愛知	海南病院
愛知	国立病院機構 名古屋医療センター
愛知	小牧市民病院
愛知	豊橋市民病院
愛知	独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院
愛知	一宮市立市民病院
愛知	公立陶生病院
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院
愛知	名古屋市立大学病院
愛知	名古屋第一赤十字病院
愛知	名古屋第二赤十字病院
愛知	藤田医科大学病院
愛知	岡崎市民病院
三重	伊勢赤十字病院
三重	松阪中央総合病院
滋賀	市立長浜病院
滋賀	滋賀県立総合病院
滋賀	大津赤十字病院
滋賀	彦根市立病院
滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院
京都	京都府立医科大学附属病院
京都	京都市立病院
京都	京都第一赤十字病院
京都	京都第二赤十字病院
京都	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
京都	市立福知山市民病院
大阪	大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター
大阪	市立岸和田市民病院
大阪	地方独立行政法人市立東大阪医療センター
大阪	市立豊中病院
大阪	大阪国際がんセンター
大阪	地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター
大阪	大坂赤十字病院
大阪	独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター
大阪	独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院
大阪	大阪医科大学附属病院
大阪	大阪市立大学医学部附属病院
大阪	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
大阪	堺市立総合医療センター
大阪	八尾市立病院
兵庫	兵庫県立がんセンター
兵庫	神戸大学医学部附属病院
兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院
兵庫	公立学校共済組合 近畿中央病院
兵庫	姫路赤十字病院
兵庫	赤穂市民病院
兵庫	公立豊岡病院組合立豊岡病院
兵庫	兵庫県立淡路医療センター
兵庫	兵庫医科大学病院
兵庫	兵庫県立丹波医療センター
兵庫	神戸市立西神戸医療センター
奈良	奈良県立医科大学附属病院
奈良	奈良県総合医療センター
奈良	天理よろづ相談所病院
奈良	近畿大学奈良病院
奈良	市立奈良病院
和歌山	紀南病院
和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター
和歌山	公立那賀病院
鳥取	鳥取県立厚生病院
鳥取	独立行政法人国立病院機構 米子医療センター
鳥取	鳥取県立中央病院
鳥取	鳥取大学医学部附属病院

都道府県	施設名
島根	松江市立病院
島根	島根大学医学部附属病院
島根	島根県立中央病院
島根	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター
岡山	岡山済生会総合病院
岡山	岡山赤十字病院
岡山	岡山大学病院
岡山	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
岡山	津山中央病院
岡山	岡山医療センター
岡山	川崎医科大学附属病院
岡山	金田病院
広島	県立広島病院
広島	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院
広島	広島赤十字・原爆病院
広島	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター
広島	東広島医療センター
広島	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院
広島	福山市立病院
山口	地方独立行政法人山口県立病院機構 山口県立総合医療センター
山口	国立病院機構 岩国医療センター
山口	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院
山口	独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院
徳島	徳島県立中央病院
徳島	徳島大学病院
徳島	徳島赤十字病院
香川	香川県立中央病院
香川	独立行政法人労働者健康安全機構香川労災病院
香川	三豊総合病院
香川	高松赤十字病院
香川	国立大学法人 香川大学医学部附属病院
愛媛	市立宇和島病院
愛媛	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター
愛媛	住友別子病院
愛媛	愛媛大学医学部附属病院
愛媛	愛媛県立中央病院
愛媛	松山赤十字病院
愛媛	社会福祉法人恩賜財団 済生会今治病院
高知	国立大学法人 高知大学医学部附属病院
高知	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター
高知	高知県立幡多けんみん病院
福岡	久留米大学病院
福岡	公立八女総合病院
福岡	地方独立行政法人大牟田市立病院
福岡	社会保険田川病院
福岡	飯塚病院
福岡	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター
福岡	北九州市立医療センター
福岡	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター
福岡	国立大学法人 九州大学病院
福岡	独立行政法人国立病院機構九州医療センター
福岡	福岡県済生会福岡総合病院
福岡	福岡大学病院
福岡	聖マリア病院
福岡	独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院
福岡	産業医科大学病院
福岡	戸畑共立病院
福岡	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院
福岡	福岡大学筑紫病院
福岡	一般社団法人朝倉医師会 朝倉医師会病院
佐賀	地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館
佐賀	国立大学法人佐賀大学医学部附属病院
佐賀	唐津赤十字病院
佐賀	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター
長崎	日本赤十字社 長崎原爆病院
長崎	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター
長崎	国立大学法人 長崎大学病院
熊本	熊本大学病院
熊本	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院
熊本	人吉医療センター
熊本	熊本赤十字病院
熊本	国立病院機構 熊本医療センター
熊本	済生会熊本病院
熊本	荒尾市民病院
大分	大分県立病院
大分	大分赤十字病院
大分	大分大学医学部附属病院
大分	大分県済生会日田病院
大分	中津市立中津市民病院
宮崎	宮崎県立宮崎病院
宮崎	国立病院機構 都城医療センター

都道府県	施設名
宮崎	国立大学法人宮崎大学医学部附属病院
鹿児島	国立病院機構 鹿児島医療センター
鹿児島	鹿児島県立大島病院
鹿児島	独立行政法人国立病院機構 南九州病院
鹿児島	県民健康プラザ鹿屋医療センター
鹿児島	鹿児島市立病院
鹿児島	公益社団法人昭和会 今給黎総合病院
鹿児島	出水郡医師会広域医療センター
鹿児島	社会医療法人博愛会 相良病院
沖縄	地方独立行政法人那覇市立病院
沖縄	沖縄県立中部病院
沖縄	国立大学法人 琉球大学病院

都道府県	施設名称
北海道	社会医療法人 製鉄記念室蘭病院
北海道	苫小牧市立病院
北海道	J A 北海道厚生連遠軽厚生病院
秋田	中通総合病院
秋田	市立秋田総合病院
栃木	独立行政法人国立病院機構宇都宮病院
群馬	群馬県済生会前橋病院
埼玉	上尾中央総合病院
埼玉	埼玉石心会病院
埼玉	小川赤十字病院
東京	日本医科大学多摩永山病院
東京	東京都済生会中央病院
東京	社会福祉法人 三井記念病院
東京	社会医療法人財団大和会 東大和病院
神奈川	国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院
神奈川	昭和大学藤が丘病院
富山	富山県済生会高岡病院
石川	恵寿総合病院
石川	独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
石川	公立松任石川中央病院
岐阜	松波総合病院
岐阜	朝日大学病院
静岡	沼津市立病院
静岡	焼津市立総合病院
愛知	春日井市民病院
滋賀	社会医療法人誠光会 草津総合病院
滋賀	近江八幡市立総合医療センター
滋賀	済生会滋賀県病院
大阪	高槻赤十字病院
大阪	箕面市立病院
大阪	Panasonic健康保険組合 松下記念病院
大阪	医療法人 八尾徳洲会総合病院
大阪	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院
大阪	関西電力病院
大阪	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院
大阪	医療法人 警和会 大阪警察病院
大阪	公益財団法人日本生命済生会付属日生病院
大阪	関西医科大学総合医療センター
大阪	医療法人藤井会石切生喜病院
大阪	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会富田林病院
大阪	PL病院
大阪	財団法人田附興風会 北野病院
大阪	市立ひらかた病院
兵庫	神鋼記念病院
奈良	大和高田市立病院
島根	松江医療センター
岡山	岡山市立市民病院
岡山	一般財団法人 倉敷成人病センター
広島	公立学校共済組合中国中央病院
山口	独立行政法人国立病院機構山口宇部医療センター
長崎	佐世保中央病院
熊本	国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院
熊本	大腸肛門病センター高野病院
熊本	天草地域医療センター
大分	独立行政法人国立病院機構大分医療センター
鹿児島	医療法人徳洲会大隅鹿屋病院
鹿児島	公益社団法人鹿児島共済会南風病院
鹿児島	鹿児島市医師会病院
沖縄	沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院
沖縄	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
沖縄	国立病院機構 沖縄病院

都道府県	施設名
東京	国立成育医療研究センター
神奈川	神奈川県立こども医療センター

謝辞

卵巣がん等の集計を行うに当たり、独立行政法人国立病院機構四国がんセンター病理科・臨床研究センターがん予防研究部寺本典弘先生にご意見を賜りました。この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

編集者

国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター	東尚弘
がん登録センター院内がん登録分析室	奥山絢子
がん登録センター院内がん登録分析室	馬越理子

がん診療連携拠点病院等院内がん登録
2015年3年生存率集計 報告書

2021年4月 第1刷発行
(非売品)

編集 東尚弘 奥山絢子 馬越理子

発行 国立研究開発法人 国立がん研究センター
がん対策情報センター がん登録センター
院内がん登録分析室
〒104-0045 東京都中央区築地五丁目1番1号
電話 03-3542-2511